

インタビュー | 大竹しのぶ | 宅間孝行 | 安田顕 | 柚木礼音 | 本谷有希子 | ほか。

ENTERTAINMENT
P H O T O
M A G A Z I N E

8

AUG. 2009
vol.140
750yen

演劇ぶっく

【表紙のヒト】

小林賢太郎 片桐仁 (ラーメンズ)

【大パルコ人】メカロックオペラ『R2C2 ～サイボーグなのでバンド辞めます～』
阿部サダヲ・皆川猿時・片桐はいり

【NYLON100℃】『神様とその他の変種』
犬山イヌコ・峯村リエ・山内圭哉・山崎一

【演劇集団キャラメルボックス】『容疑者Xの献身』
西川浩幸・岡田達也





昭和音楽大学 ミュージカル講座2009

8月4日(火)～8月6日(木)

[対象] 中学生・高校生 (既卒者含む)

[受講内容] 演技、ダンス、ステージング等
ほかに個人レッスン(別途申込)もあります。

[受講料] 25,000円(税込)

同時
開催

キャンパス説明会

8月3日(月) ※参加費無料(要事前予約)

[対象] 中学生・高校生 (既卒者含む)

お申し込み・お問い合わせ/入試事務室

☎ 0120-86-6606

[E-mail] nyushi@tosei-showa-music.ac.jp

昭和音楽大学

音楽学部 音楽芸術運営学科 ミュージカルコース
〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1
小田急線・新百合ヶ丘駅より徒歩4分

<http://www.tosei-showa-music.ac.jp>

昭和音楽大学

● 学校見学・随時受付中 ※要事前予約 ●

第2回 劇団EXILE 劇団員 オーディション

1次審査

(全員面接) あなたの夢を聞かせてください

1次審査日程(予定)

8/23(日) 札幌、宮崎、大阪、松山

8/29(土) 福岡、名古屋、仙台

8/30(日) 東京

※各会場、時間等詳細はHPをご参照ください。

応募資格

- 5歳～25歳の男性
- 現在、特定のレコード会社や芸能事務所などと所属契約していない方

応募方法

履歴書又はオーディション用紙に必要事項を明記のうえ(未成年の方は保護者の同意署名が必要)、写真2枚(全身・上半身各1枚)を貼付し、最寄りの1次審査会場に持参してください。

合格後

劇団EXILEとして活動

- 1分の面接が終わり次第、各自終了となります。
- 1次審査の結果、ならびに2次審査の詳細は合格者のみに当事務局よりご連絡をしますので、お問い合わせはご遠慮ください。
- 審査会場内に、オーディション参加者本人以外の立ち入りはできません。
- 応募に関する書類、写真などは返却いたしません。
- 未成年者は必ず保護者の同意が必要となります。保護者の同意署名がない募集は受け付けません。

オーディション詳細はこちらから

パソコンから ※応募用紙がダウンロードできます。

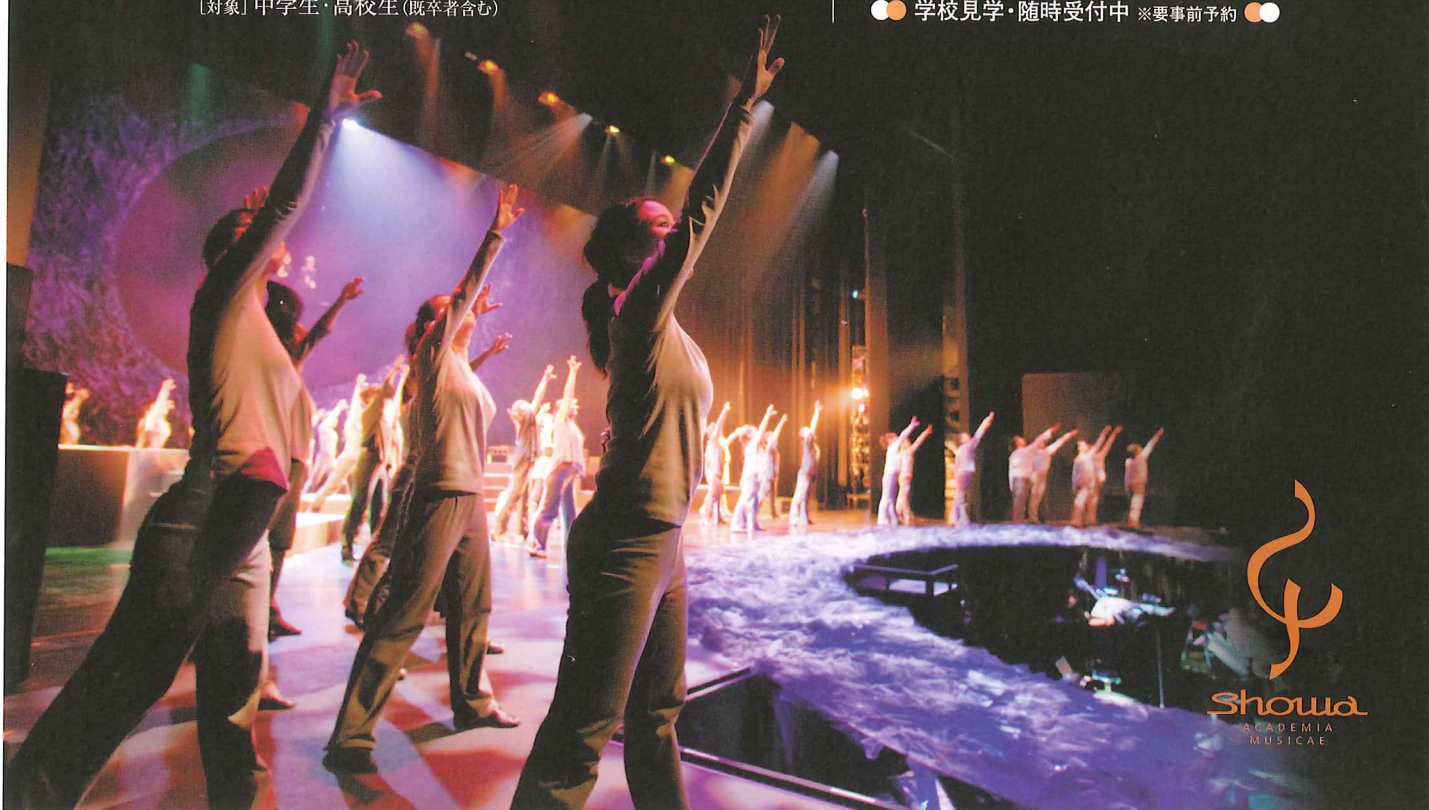
劇団員オーディション

www.gekidan-exile.com

携帯から

右記のQRコードまたは下記アドレスからアクセスしてください。

mobile.gekidan-exile.com



010

[大パルコ人]
メカロックオペラ

R2C2

～サイボーグなので
バンド辞めます～

阿部サダヲ・皆川猿時・片桐はいり



020

[イキウメ]
関数ドミノ

前川知大

026 [jealkb×コンドルズ]
Ballad of Lip

勝山康晴

032 [劇団、江本純子]
まじめな話

江本純子・町田マリー

034 [東京セレンデラックス]
流れ星

宅間孝行

036 [流山児★事務所]
ユーリタウン

流山児祥・関谷春子・遠山悠介

038 [北九州芸術劇場Produce]
江戸の青空

柳家花緑・松永玲子

056 キレなかった14才♡
りたーんず

柴幸男・篠田千明・中屋敷法仁、
白神ももこ・神里雄大・杉原邦生

共通質問

「最近気になっていること」

少しでも表現者の源に触れることができればと
考え、あらゆる世の中の出来事の中から、そし
て、ご自身の些細な出来事の中から、共通質問
「最近気になっていること」に答えて頂きた
した。本文とあわせてお楽しみいただけたら幸
い。

表紙のヒト●

小林賢太郎
片桐仁 (ラーメンズ)

[ラーメンズ]
TOWER

[シス・カンパニー]

楽屋

～流れ去るものはやがてなつかしき～

村岡希美

[NYLON100℃]

神様とその他の変種

犬山イヌコ・峯村リエ・山内圭哉・山崎一

[演劇集団キャラメルボックス]

容疑者Xの献身

西川浩幸・岡田達也

040 田辺茂範の取材簿

[ゴキブリコンビナート]

にぎやかどうぶつ横町

Dr.エクアドル

042 TAKARAZUKA 95th VOL.4

柚希礼音

046 NACSTYLE / PAGE.10

鈴木勝秀・安田顕

CLOSE-UP STAGE

大竹しのぶ・渡辺いっけい

北村有起哉・野田秀樹

048 CLOSE-UP STAGE

青柳 翔

ロングインタビュー

本谷有希子



059 特捜! えんぶスクープ関西版 吉永美和子

065 えんぶ情報館

束から1枚/久住昌之

素晴らしきギャグ人生2009/西川浩幸

栗根まことの人物ウォッチング/中村まこと

インディ高橋のPatchy小道具研究所R/40

077 連載「過剰な人々」を巡るささやかな冒険①

[チェホフ/桜の園] 宅間孝行・坂口真人

078 シバイのミカタ

男肉 du soleil / FUKAIPRODUCE羽衣

「鴨川ホルモー」/「夏の夜の夢」/「女信長」/ゴジゲン

080 フロム・リーダーズ/プレゼント広場

[表紙MODEL]
小林賢太郎
片桐仁
(ラーメンズ)

CONTENTS

静かじゃない大地

作・演出/G2

佐藤アツヒロ
田中美里
久ヶ沢 徹
福田転球
辻 修(動物電気)
内田 慈
浜田信也(イキウメ)
諏訪 雅(ヨーロッパ企画)

池谷のぶえ
久保耐吉

その植物は救世主か?
それとも悪夢か?



7月26日(日)
チケット発売開始!

東京公演 下北沢 本多劇場

2009年9月12日(土)～23日(祝) ※未就学児の入場不可

料金/前売:6,000円 当日:6,300円 (全席指定・税込)

チケット取扱い◆本多劇場(窓口販売のみ:11時～19時)◆電子チケットぴあ=0570-02-9999(Pコード:395-857)、http://pia.jp/t ◆イープラス=0570-02-9999(Pコード:396-288)、http://pia.jp/t ◆ローソンチケット=0570-084-657(Lコード不要)、発売日18時以降 0570-084-005(Lコード:59554)、0570-000-407(オペレーター対応)、http://l-tike.com

9月	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日
(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(祝)	(祝)	(祝)	(祝)
14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	14:00	14:00
19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00	19:00

☆10月3日(土)～4日(日)に福岡公演あり!

大阪公演 梅田芸術劇場シアター・ドラマシティ

2009年9月26日(土)・27日(日) ※未就学児の入場不可

料金/6,300円(全席指定・税込)

チケット取扱い◆電子チケットぴあ=発売日初日特電(10:00～18:00)0570-02-9507、発売日以降 0570-02-9999(Pコード:396-288)、http://pia.jp/t ◆ローソンチケット=発売日初日特電(10:00～18:00)0570-084-657(Lコード不要)、発売日18時以降 0570-084-005(Lコード:59554)、0570-000-407(オペレーター対応)、http://l-tike.com ◆CNプレイガイド=発売日初日特電(10:00～18:00)0570-03-9955、発売日以降 0570-08-9999 ◆イープラス=0570-02-9999(Pコード:396-288)、http://pia.jp/t ◆梅田芸術劇場窓口(発売日翌日以降10:00～18:00)

共催:梅田芸術劇場/お問い合わせ:梅田芸術劇場シアター・ドラマシティ 06-6377-3888

主催・企画製作・総合お問い合わせ:ジューズプロデュース
tel:03-5738-0637 http://g2produce.com

ラーメンズ、 東京タワーを 建てる!?

表紙のヒト

4月にラーメンズが本多劇場に建てた「TOWER」はその後、全国12カ所に次々と建てられ、6月にその姿を大きく変えてグロップ座に帰ってきた。小林賢太郎と片桐仁という、ふたりでしか生み出せない世界観。言葉のおもしろさ、生の舞台の可能性を見せつけた、ラーメンズ第17回公演「TOWER」。

そして、東京に凱旋したふたりは、日本一のタワーを訪れた!!



東京タワー 来塔記念

東京タワーとの 不思議なつながり

——東京タワーを制覇しましたね。

小林 はい。完全制覇です。なにしろ作ったのは我々ですから(笑)。設計したのは僕で、建てたのは仁さん。

片桐 たったひとりで頑張りました。小林 納期もきちんと守ってくれて。色も塗ってくれました。

片桐 本当は銀のほうが良かったかなと思っただけで、赤で塗り始めちゃったからね(笑)。

小林 東京タワーの根元に定礎みたいな

のがあって、着工が昭和32年6月29日になつてたんです。「TOWER」のツアー

千秋楽が6月28日なんですけど、その翌日なんです。千秋楽の翌日が東京タワー

を着工した日なんだと思ったら、不思議な気持ちになりました。

——前号での宣言どおり、片桐さんは各地のいろいろなタワーに行ってくださいたんです。

片桐 行きましたよ。本当にいろいろなタワーがあるんだなと思いました。仙台のけしきとか、ものすごく低いです(笑)。だから今日改めて東京タワーのすごさがよくわかりました。東京タワーってめちゃくちゃでかい(笑)。

ちやでかい(笑)。

小林 名古屋テレビ塔は?

片桐 180メートル!

小林 通天閣は?

片桐 103メートル!

小林 京都タワーは?

片桐 131メートル!

小林 神戸ポートタワーは?

片桐 108メートル!

小林 完全に全部入っています(笑)。

片桐 東京タワーはタワー界でも別格です。鉄骨で組んであるこの感じがタワーですよ。マンションとかビルをタワーっていうのはどうかと思います。

日々、変化し続ける 舞台のおもしろさ

——「TOWER」は育っていく公演だとおっしゃっていましたね。

小林 化けていると思います。具体的にセリフが変わったとか、ストーリーが変わったとかではなくて、見せ方としてどんどん隙のなにもに育っているといった感じですね。きょうも本多劇場で観たいただいたお客さんがグロップ座にまた観に来てくれたら、びっくりすると思います。

片桐 いやー大変ですよ。毎回。慣れてきてちやうどは楽になるかと思っただけで、なかなか。よりタイトになつていくというか、研ぎ澄まされていくので、慣れることはないですね。

小林 本番前にその日の改善点を片桐さんに伝えて、細かい隙を埋めていくという作業を積み重ねています。だから千秋楽までどうなるか、読めないんじゃないかなと思います。

——2年ぶりということをあまり意識していないとおっしゃいましたが、各地を回ってどう思いましたか?

小林 やっぱ、「お久しぶりです!」という感じはありましたね。札幌なんかは、「ようこそ」なのか、「おかえり」なのかよくわからなかったです。もはやホームみたいな盛り上がりっぷりでしたから。

片桐 やっぱお客さんの反応が、他のプロデュース公演で行った感じとは違いましたね。「ラーメンズで行っている」という感じ

がすごかったです。

小林 「よく来てくれました」と、開催そのものに対する敬意をいただいたり。すごく嬉しかったですね。

——今回初めて訪れた場所もありましたもんね。

小林 旅はやっぱり鍛えられますね。百戦錬磨になつていくような感じです。劇場の形も違いますから、臨機応変にやらないといけないですね。

片桐 旅はね……家に帰れないのでイヤなんです(笑)。今回は本当に長かったですからね。

小林 丸1ヶ月帰れなかったからね。

片桐 でも、お客さんあつたことですから。関西3カ所はびっくりしましたけど。大阪、京都、神戸と行かせていただいて。五重塔のネタがありまして、あれは京都でやりたかったですからね。明転して五重塔が出てきたとき、ものすごい反応でしたね。ざわつきが止まらなかった(笑)。

小林 盛り上がりすぎたかなってね。

片桐 「あれは東寺のやつですか?」と、アンケートに書いてありました(笑)。

僕たちふたりが ラーメンズです

——二人がソツと立っている冒頭は、すごく印象的なシーンでしたね。

片桐 「出た!」って感じですよ。

小林 「このふたりがラーメンズです」という感じで、ラーメンズに対する先入観や知識などのばらつきを、最初の1分間でギョッと狭めたかたんです。だから最初はしゃべらない、動かない。お客さんの頭の中にある情報を、一回、目の前にあるもので制御しようというのか。

片桐 お客さんがソツとする瞬間ですよ。あの瞬間はやっぱり緊張します。毎回気持ち引き締まりますね。会場全体が一緒にいるんだということがわかる瞬間です。

——そして次は箱を様々な形に変えていくコントに続いてきましたね。

小林 ふたりとも美大出身だからか、ビジュアルワークに対するおもしろがり方は共通しているんですね。なので片桐さんに説明するのは、他の俳優さんより早いで

す。

片桐 カットしちゃったんですけど、リチャードギアというネタがあつて(笑)。

小林 箱4つでリチャードギアを作ったんです。片桐がジュリア・ロバーツにちやうど似てるんで(笑)。

片桐 そうなんです(笑)。

小林 縦に積んだ箱の横に片桐さんが立つてポーズを取ると……四角い塔がリチャードギアに見えるんですよ。「プリティウーマン」の音楽をかけたなら完璧で、もうリチャードギアにしか見えません(笑)。

片桐 でもこのネタは、他のネタとまったくつながらなかったんですよ。必然性がまったくない。

小林 構成として成立しないものを外していったので、単体のギョウとしておもしろいものは他にも山ほどありましたね。

基本スタイルは 変わらないアナログ

——続けるコントは、見えないパーティー会場で起こった出来事を想像させて笑わすというスタイルでしたね。

小林 このコントは、最初の段階から最後まで固めなくてもいいんじゃないかと思つていました。だから変化し続けています。ただしルールはあって、使っていないものは糸本。あとはおもしろいことが起こった瞬間を隠すという、マスキングという技法を使っているんです。前後の様子で、裏で何が起きているかがわかる。本当はその瞬間が一番おもしろいはずなんですけど、それを隠すことでおもしろさをお客さんに委ねる。片桐 あのネタでは、あやとりをいろいろやりましたね。本番では、結まるはずのない場所が結まっちゃった……。

小林 糸本というのは、小道具として魅力的でした。それ自体がまた形を変えます。細い白い糸なんですけど、8000人の劇場でちゃんと見える。ラーメンズの黒い世界で光るんですよ。ラーメンズの基本はアナログです。デジタルの世界はものすごいスピードで進化していますね。でも、人間の手が2本あつて、指が5本あるっていうことはこの先も変わらないと思うんです。それができることを追い込んでやっていく

DRINK CORNER





小林賢太郎

こばやしけんたろう○73年生まれ、神奈川県出身。96年に大学の同級生片桐仁とともにラーメンズを結成。脚本・演出をすべて手掛けるコント職人。ラーメンズの活動以外にも、『K.K.P.』『Potsunen』『NAMIKIBASHI』『SymmetryS』『大喜利狼』など、様々な企画を立ち上げ、勢力的に活動中。http://kentakobayashi.net/

Q...最近気になっていることは?

A...どうすれば足が180度開くのが気になりますね。あれから3カ月、柔軟やってますよ。驚くほど成果が出ています。最初の東京公演のときに、でっかいベニヤ板を用意してもらって、足を開いて手を前に伸ばしてどこまでいくかを記録しているんですけど、毎回やるたびに更新しています。大人になっても身体って柔らかくなるんですね。



片桐 見たって! (笑)
小林 見たんだって! 透明人間じゃないのに (笑)。そのパロディクサミみたいなものが、今回の「語感」ともたつて同じような理由で素材になっているんです。誰もが思うことでもあり、言われてみれば確かにということもあり、見たわけじゃないのにあるあるが成立しちゃう内容だったりとか、そういうハードの部分がすごく重要なんです。あの公式を使って話題をのけていくというくらいでもふくらますことができる。「透明人間」と「名は体を表す」というコントは、ラーメンズが手に入れた新しいスキルです。

これは、ひとつのものを極めていくことにつながるんじゃないかなと。
「名は体を表す」という語感を大事にするコントもラーメンズらしいですね。
小林 あ、そのコントは、使っている内容そのものよりも、構成のほうが重要なんです。あれはよく見ると漫才なんです。漫才って、立って、マイクが真ん中にあるって、ひとつの話題について話して、いつのまにかコントに入って、最後に素のふたりに戻って終わるという形ですね。この手法は以前にも「透明人間」というコントで使っているんですけどね。「透明人間を見た!」というコントなんですけど (笑)。

ね。

—そして、片桐さんが妄想の世界に入り込む「女盗賊クリムソメサイア」のくだりに入っていくんですよ。
片桐 あそこは全力でやるようにしています。後悔したくないので (笑)。汗をかくだけか。あ、あとワイシャツを着替えるんですよ。

小林 本番では片桐さんを眺めながら、「君はそこでピークを迎えて大丈夫なのか?」と思ったりします (笑)。でも、生き生きしている片桐さんはおもしろいですよね。イルカを見るような気分です! (笑)
片桐 あやとりの段階で実は汗でびしょばいなんです。
小林 片桐さんは間違えると汗の量が増えるみたいです。
片桐 時間差でくるんですよ。汗つて、人は、いや、僕は (笑)。ウワツとて、少し経ってから汗が出てくる。

「ハイウエストクイズ」も傑作でした。
小林 なんでも良かったんですけど、「ハイウエスト」っていう言葉は、おもしろいですよね。ひらがなを書き続けていると、「ゆ」ってこんな字だったっけ? と思うでしょう? その現象のことを、ゲシュタルト崩壊っていうんです。同じ文字を見続けたり聞き続けたりすると、その意味が失われていくという現象。0秒でビジュアルが入ってきて理解できるもの、いろいろな条件はあったんですけど、「ハイウエスト」はトッブクラスです。「エリートゲシュタルト崩壊ワード」ですね。

片桐 (笑)。
小林 なんでもいけると思ってますよ。アイスコヒーで100回言ったら、たぶん75回目くらいで笑っちゃって言えなくなると思うんです。ラーメンズは一度、「新橋」で達成しているんですけど、やっぱり「ハイウエスト」は瞬発力が違いますね (笑)。
片桐 「ハイウエスト」は爆発的にうけましたからね。驚くくらい。

小林 あのネタこそ、稽古中に「これっておもしろいかな?」と我に返ると不安になるネタでした。直接的な笑わせ方ではないですから。おもしろさの種類には、笑われるのと笑わせるのと、お客さんが勝手に笑



片桐仁

かたぎりじん○73年生まれ、埼玉県出身。大学在学中に小林賢太郎とラーメンズ結成。その風貌とキャラクターで世界観を創りあげるラーメンズの怪傑。最近では、他プロデュース公演や、映画、ドラマなど、様々なメディアで活躍し、役者としての活動の幅を広げている。不条理アートを生み出す彫刻家としての顔も持つ。

次回予定◇「エレ片フェス2009」7/20◎横浜BLITZ、「ラウレターズ」7/26◎ル テアトル銀座

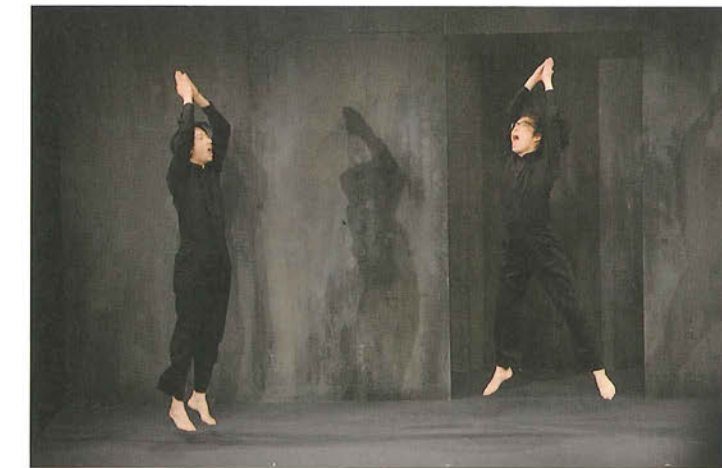
Q...最近気になっていることは?

A...今日の撮影のために眉毛を整えてもらったんですけど、眉毛って整えるんですね (笑)。そういうことも大事なんでしょうなとは思いつつも、どうしたらいいのかわからないですね。(※ちなみに片桐さんのタワ 訪問の様子は、オフィシャルサイトに掲載されています)



表紙のヒト

無機質な世界に男が2人。その立ち姿は、まるでタワーのよう。彼らが繰り広げるのは、変幻自在の箱アート。パーティー会場の裏方2人は失敗したり、あやとりしたり。語感と物の名前との関係を考えていたら、突然始まった妄想SFショー。クイズの答えはだいたい「ハイウエスト」で、タワーマニアの2人は今日も仲良し……など、あらゆる笑いのツボを突く6本。



作・演出 小林賢太郎 出演 ラーメンズ(小林賢太郎・片桐仁)
4/1~12 本多劇場、4/15~16 アートピアホール、4/20~22 サンケイホールブリーゼ、4/24~26 京都府立文化芸術会館、4/29~5/2 新神戸オリエンタル劇場、5/4~6 ぴあ-とびお劇場、5/8~9 アルファあなぶきホール 小ホール、5/11~14 アステールプラザ中ホール、5/16~17 山口情報芸術センタースタジオA、5/21~24 道新ホール、5/26~28 仙台市青年文化センターシアターホール、6/1~7 西鉄ホール、6/9~10 チトセピアホール、6/15~28 東京グローブ座 <http://www.rahmens.net/>

どこまで取り込むべきかと考えていたときに、日本の仏塔は外せなかったですね。五重塔はかっこいいですから。毎回片桐仁に、明らかなキヤクターものをやってみてもらうので、五重塔をどう扱おうかと思ったときに、「着られないかな?」と思って(笑)。五重塔があつて、その横に中に居る人、という二画面構成っていうのも前から考えていたんですよ。演劇の表現としてはすでにあるものなんですけど、縮尺が違うというのはあまりないんですよ。それをぜひともやってみようかなと思って。

片桐 五重塔の着ぐるみのできが素晴らしいんですよ。「そこまでやってくれなくて」というくらい。前の「TEXT」のときに出てきた、ジョッキーの馬を作ってくれた人が作ってくれたんですよ。

小林 造形力がすばらしいよね。こだわりとして、毎回明らかな造形物を入れたんですよ。でも、取り込めるものと取り込めないものがあると思います。五重塔は大丈夫だと思ったんです。今回のコントライブの中にひとつ具象として入れても壊さないという確証があつたんですよ。

片桐 あれはこだわりましたよね。

小林 スカートの丈とかにこだわりましたね。あれ以上長いとダメなんです。ちょっとエロスを感じるくらいに丈にして欲しい(笑)。いつかアレを着て、片桐さんにイッアスモールワールドの中に溶け込んで欲しいですね。

片桐 (笑)。運ぶのもデリケートで、つか

い木箱を作って運んだんですよ。地方でも微調整をして直したりして。まさか自分が五重塔になるとは(笑)。

小林 なつたねえ。上とか見るではなく、下。そしてラストは、今までの登場人物たちがつなげる感じが美しかったです。

小林 あれはもう、もはや僕が作った感じはしないです。作られましたね、『TOWER』に。やるべきことをやったらあなただけという感じですよ。

片桐 あのコントはすごく忙しいんですよ。裏はF1のピットみたいに変わります。

小林 前号の取材で、『TOWER』は最高傑作と言ったんですけど、それは完成予想図で、「そうなるはず」という気持ちで強かったからなんです。でも、今はまだ渦中という感じで、冷静に見られていないかもしれません。やるのがまだ山積みなので、終わってしばらく経たないと、これが最高だという客観的な意見は言えないですね。今はやるべきことを全部やるだけです。

——今回が17回公演ですからね。積み重ねてきましたね。

小林 やっぱラーメンズは一番むずかしいですね。高地トレーニングみたいな感じというか。自分を守ってくれるものが何もないので、そういう意味ではいいフィールドだと思います。

片桐 ラーメンズの片桐仁というのは、すごく考えますね。やっぱ、一番気が引き締まる場所ですね。





炸裂! 炸裂! 宮藤官九郎節!!
メカロックオペラ『R2C2 ～サイボーグな
のでバンド辞めます～』は、宮藤官九郎の
“細胞”がとことん詰め込まれた一作。富澤
タクのキャッチーな曲に乗せ、あちこちに飛
びまわるバカバカしさ人間らしさ。そして、
時折チラリズム的に見え隠れするテーゼ。こ
れは、近未来に託そうとする、“何か”にまつ
わる物語だ。35年後の2044年なんて、あま
り想像したくはないけれど、この細胞に関す
る記憶は、忘れないでいようと思う。

大パルコ人

メカロックオペラ
R2C2
～サイボーグなのでバンド辞めます～
作・演出・出演◇宮藤官九郎
出演◇阿部サタヲ 森山未来 三宅弘城 菅川雅時 近藤公園 平岩紙 片桐はいり 松田龍平
4/27～5/31 PARCO劇場、6/4～14 イオン化粧品 シアターBRAVA!

西暦2044年、渋谷。1人の男が30年振りに冷凍睡眠から目覚めた。男の名は
パルコム田村(阿部サタヲ)。かつて一世を風靡したロックバンド「パルコムズ」
のボーカリストだった男だ。彼は、あらゆる音楽が消えてしまった未来の渋谷
に愕然とする。この時代の音楽とは、セラピーなど治療の意味しか持ち得な
い、極めて記号的なものだったのだ。そして、“記号的音楽”の第一人者として活
躍する天才音楽家・クアトロ田村(森山未来)こそが、パルコムの真の息子なの
だ。一方、クアトロがプロデュースした、戦場でロックを歌い戦意を掻き立て
る「ロックンロールサイボーグ2号/通称R2C2」(松田龍平)は、不良品として正
常な機能を果たせなかったせいか、深い自我の目覚めと共に、研究室を飛び出
し、街を徘徊する。パルコム、クアトロ、R2C2。彼らは、この世界が失った“音”を
取り戻すことが出来るのだろうか――。





▲クアトロは、破天荒なロックスター・バルコムから父親らしい愛情を感じることが出来なかった。そのトラウマがクアトロの偏執的な性格を生み出すことに……

▶天才音楽家兼実業家のクアトロ田村(森山未来)は、びっく(ドンキー)のオーナーでもある。皆川S太郎(皆川猿時)は、その店の雇われ店長を務めている

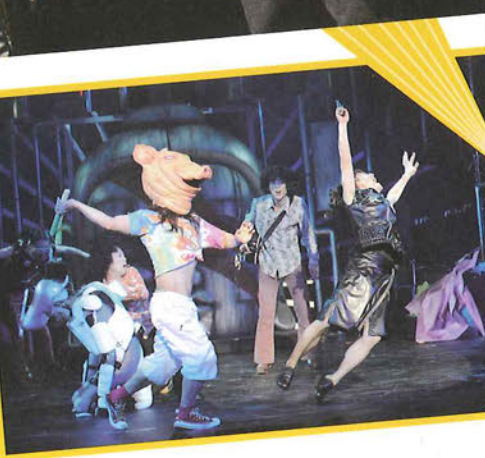
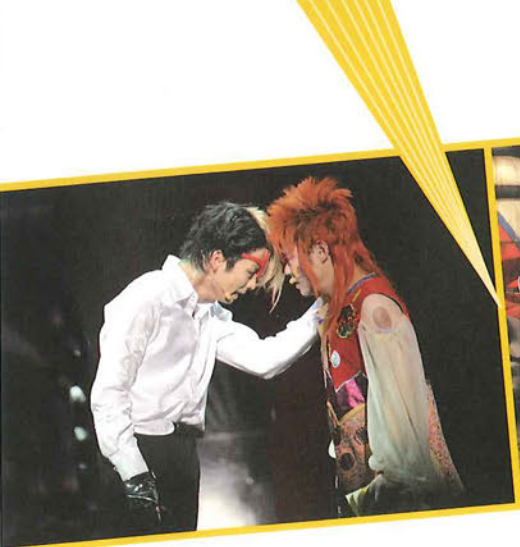
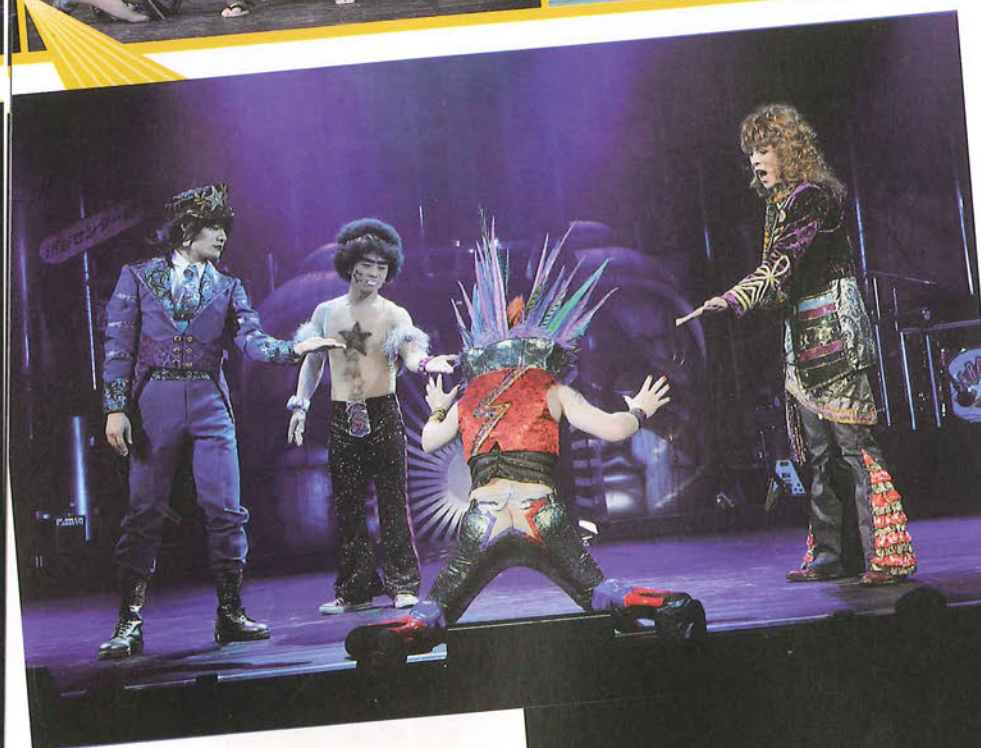


R2C2

～サイボーグはのせ!バンド辞めろ～

▲かつて一世を風靡したロックバンド、バルコムズ。右から、アックス斎藤(ギター)・宮藤官九郎、バルコム田村(ボーカル)・阿部サダヲ、インザルーム丸井(ドラム)・三宅弘城、コウケンテツ(ベース)・近藤公園

▼整備工ジョン(三宅弘城)と整備工ヨウコ(片桐はいり)は、ロックンロールサイボーグ2号・R2C2の整備を担当していたが……



「学園祭」の楽屋から

阿部サダヲ、皆川猿時、片桐はいりの鼎談となった今回の取材。劇団員2人十大人計画常連1人の組み合わせだけあって、常に笑いつばなしのクロストークを展開されました!「男子校」「学園祭」「バンド」等のキーワード通り、学園祭の楽屋からそのままお届けするような、産地直送系インタビューです。

男子だけのバンド!

皆川 僕ね、痩せちゃいましたよ今回。5キロ。ふっ、舞台の本番入ると太るんですけどね、ストレスで。

片桐 ストレで太るって、食べるから?

皆川 はい。寝る前に。昔、宮藤さんに「痩せたら殺すよ」って言われたのを思い出して、頑張ってるんですけど。初めてかもしれない、宮藤さんの芝居で痩せたの。

片桐 食べるのに?

皆川 食べるのに。

片桐 私もし、稽古中とか狂ったように食べてたじゃん。

皆川 はい、いいの食べてた。お弁当とか。

阿部 木の箱の弁当とかね。

片桐 絶対妥協しないと思ったの、食べることに。自分の体を酷い目にさせてるんだから、体にちゃんとギャラを払おうと。そう決めてとにかく食べたんだけど、全然太らなかった。というか、痩せちゃった。見も知らぬ筋肉がついた。

阿部 凄いやー。出っぱなしでももんね。裏で着替えてるか、出てるか、でしょ? 何役やってるか分かんないもん。稽古場でしゅええ見たよ。

片桐 見てないじゃん。大体、視線を感じたことが無いよ笑。いやでも……あれですよ。今回は、この2人に感動してますよ。

阿部 はいりさんが? 何言ってるんですか(笑)。

片桐 だって2人とも、毎日色んなこと考えて、勝手にアドリブ言うでしょ? それを宮藤君が大笑いするから、その関係を見ているだけで、「男の友情だなぁ」って。

一同 (笑)。

片桐 今回は、男子校の学園祭に参加したような感じ。

阿部 いい例えですねそれ。

片桐 それで、要は男子だけのバンドだから、私はそこに入れないんですよ。公演に入る前に、阿部君から「宮藤さんの本が早いのは、本は自分1人で書けるものじゃない」と思っているから。宮藤さんが書いてきた本が完成じゃないんだ」とか、感動的な話を聞いたりして。

皆川 阿部君酔っぱらってたでしょ?

片桐 全くしらふ。だから「バンド内恋愛愛みたいだな」と思ってた。

練習すれば上手くなる!

——バンドという例え話が出た所で、メカロックオペラらしく、劇中の音楽関連のお話を。

片桐 皆川さんの歌に関しては、「人は練習すれば上手くなる」と思った(笑)。

阿部 あれだけ歌の練習してるの、初めて見たな。

皆川 本番入ってから練習してます。

阿部 鏡で口の開き方とか見ながら、ずーとやってるんですよ。

片桐 でも、(英語の歌詞に)発音記号が書いてあってさ、これ読めるの? 聞いてたら「分かんない」だって(笑)。

皆川 そういう所あるのよ。頑張ってるのに「分かんない」って悲しいです。いや、でも、ちゃんとしないとヤバイなと。

阿部 やっぱ、(歌った後に)拍手が来るのと来ないのでは気持ちが違うの? 拍手が来た回が勝ちだとして、相当負け越してるよね。

皆川 うん。負けた記憶しかないね。

——(笑)。片桐さんもソロがありましたね。

片桐 歌はもう、全然。歌う仕事とか今までほとんど受けてないです。でも、今回はライブ要素やショー要素が強い感じだったので、盛り上げ役みたいな気持ちで、楽しみながら歌わせてもらってます。

——例えば、俳優としてステージに立つのと、歌い手としてステージに立つのは、違う高揚感があるものなんじゃないですか?

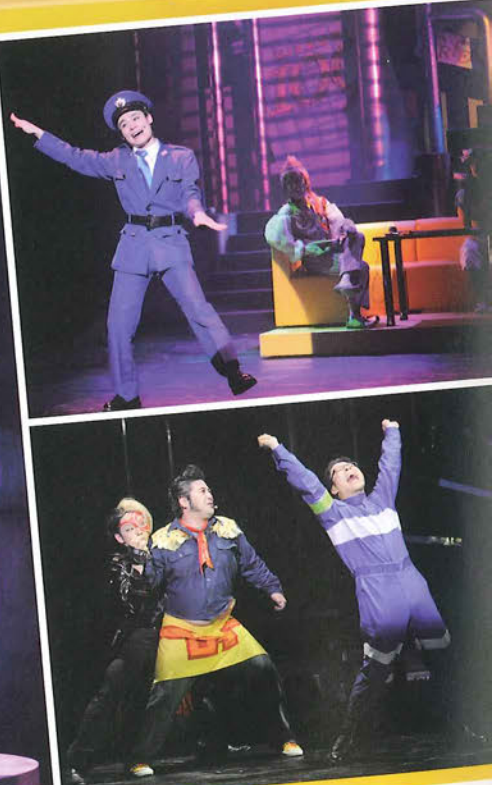
阿部 どうですかね。カーテンコールで歌う時も、お客さんが立ったりする見方があるじゃないですか。俺が初めて新感線Rを観に行った時、サンシャイン劇場が総立ちになったんですよ。あれを見た時にちょっとシビクを受けて、そういうのも面白いかなと思ってたんですけど、なかなか難しいですね。

——今作のスタンディングオベーション率というのは?



▶30年の冷凍睡眠から覚めたバルコムは、バルコム再結成を目指し、バンドメンバーを集め始める。右から、丸井ミ（インザルーム）丸井の娘で音楽家、恋人／三宅弘城、サイボーグだがバルコムに参加したいと言ったR2C2（松田龍平）、斎藤味（アックス）斎藤の息子、宮藤真（九郎）、バルコム田村

◀バルコムとクアトロの、最初で最後の親子セッション。曲は「ロックスターはオンリーユー」



R2C2

～サイボーグはのび、バンド解けず～

阿部サダヲ [中央]

あべさだを○70年生まれ、千葉県出身。92年『冬の皮』より大人計画に参加し、以降ほとんどの公演に出演する。パンクバンドグループでボーカルを担当するなど、その歌唱力には定評がある。今作では、伝説のロックスターと呼ばれていた「バルコム田村」を演じた。

次回予定◇グループ魂『あの娘の町には行かないゾア-09』7/21◎Zepp Osaka、8/5◎Zepp Tokyo ◇『SETSTOCK'09』(グループ魂出演)7/26◎国営備北丘陵公園 ◇rockin'on presents『ROCK IN JAPAN FESTIVAL 2009』(グループ魂出演)8/2◎国営ひたち海浜公園 ◇映画『ぼくとママの黄色い自転車』(河野圭太監督)8/22公開 ◇DVD『キモッチ』(声の出演)ネット限定で発売中 <http://www.daijobu.co.jp/home/kimo/>

皆川猿時 [右]

みながわさと○71年生まれ、福島県出身。94年『愛の罰』より大人計画に参加。パンクバンドグループでMC・ヴォーカルとして活躍する。今作では、俳優「皆川猿時」役と、未来の息子である「皆川S太郎」役など、多くの役を演じた。

次回予定◇大人計画『サッチャンの明日』9/18～10/11◎シアターラム、10/14～20◎OBP円形ホール、10/23～25◎北九州芸術劇場 中劇場 ◇映画『蟹工船』(SABU監督)公開中 ◇NHKドラマ『オトコエ12』(レギュラー出演)8/29よりO.A. ◇映画『なくもんか』(水田伸生監督)09年11月公開予定

片桐はいり [左]

かたぎりはいり○63年生まれ、東京都出身。82年『プリキの自衛団』に参加し、94年の退団まで計25本の作品に出演する。大人計画関連公演への出演は、96年、日本総合芸術協会『ドライブイン カリフォルニア』が初。以降、松尾スズキ作品、宮藤官九郎作品に数多く出演している。今作では、「Dr.ミスターカーン」、「整備工ヨーコ」役を中心に、多数の役をこなす活躍をみせた。

次回予定◇DVD『片桐はいり4倍速』(松尾スズキ監督)7/17発売 ◇DVD『片桐はいり4倍速』発売記念イベント7/11◎テアトルタイムスタジアム



Q...最近気になっていることは?

A...【阿部サダヲ】子役の子に大人になって欲しい願望があります。だから、気になるというと、あるCMに出てくる女の子。ちっちゃい時がものすごく好きで、「完璧だ、この子」と思ったのに……最近ちょっと大きくなっちゃって、ちょっと寂しいというか……。

【皆川猿時】小倉一郎さん。知れば知るほど凄い人です。同じメガネを60個くらい持っているとか。

【片桐はいり】「今回の公演でついた筋肉をどうしてくれるの?」ということを考えています。何をしようか考え中なんですけど、今は山登りしか思い浮かばない。やっぱり、筋肉は弱らせたくないんです。

自ら働く主役

阿部 サダヲさんはいかがですか? 主役として、主役だつたら、でも働くんだな、この人達は、そういう点でいうと、お2人とも真面目なんですかね?

皆川 真面目になっちゃいますね。

阿部 うん(笑)。

片桐 真面目でいうか、好きなんですけど、阿部 いや、好きですよ。ボケたいし、笑いをとることもよく好きだから。動かさない人の周囲をちょろちょろするのがすごく好きなので、(松田)龍平君みたいにゆくりした人の周りを動くのは気持ちいいです。大人計画にあんなにいろいろなタイプじゃないですか、龍平君も、(森山)未来君も。だから、やって楽しんでるんですよ。

自身が演じた役について

皆川 僕は皆川S太郎という役で……なんですかね、いつもよりも考えなかつたです。

片桐 それは皆川だから? 自分について、皆川 特に自分だからって訳でもないんだけど、ほんと久しぶりに何も考えず。

片桐 でも、どの役をやっている時でも、必ず何かのコーナがあるもんね。

阿部 元の台本から1番増えているのは皆川君のシーンじゃないですか。

片桐 それから、宮藤君のハンバーグ愛は、イコール皆川愛としか思えない。びっくりドンキーのシーンで、ハンバーグが置いてあるんだけど、皆川君が寝るとほんとそっくりなんだよね、ハンバーグと。

同 あはは(笑)。

片桐 片桐さんも、役数が多かったですね。

片桐 いや、今だからこそ思うのかも知れないけど、楽しかったです。ちよつと見ただけじゃ絶対分かんないだろうけど、こでやつくぞー! みないのが、だんだん楽しくなり始めて。何だろう? 集団スポーツをやっている気持ちなのかな。チームが勝てば嬉しいや、みたいな。

皆川 そうですね、わかるな。

片桐 チーム的ですよ。ゴールキーパーみたいな気持ちになる時あります。「お前、行ってこい!」みたいな。

阿部 「まず走れ、森山!」みたいな。

片桐 そうそう(笑)。

以前、ウーマンリブを取材した際、皆さん同じようなことを仰っていました。スポーツみたいだつて。

片桐 この間、峯村(リエ)さんが観に来た時「女子が中心でも男子校みたいだ」って言ってたけど、宮藤君の芝居は男子校だね。ちよつと思議な感じがするけど。

皆川 主役を放棄した感じが。

ここはチャーホフの「かもめ」を上演中のある劇場。その楽屋では女優が2人、舞台化粧に余念がない。そこに主演女優と、かつて彼女のプロンプターを務めていた若い女優が登場。若い女優は主演女優に「主役を返せ」と詰め寄る。



そこは楽屋
華やかな舞台に出る前の素顔が
観客の前では語られない思いが
さらされる場所
演じることに魅入られた女優たちの姿を通して
たくさんの時代を生きたものたちの
満たされない情熱が、夢が、
つかのま甦る場所

楽屋

シス・カンパニー

流れ去るものは
やがてなつかしき

作 清水邦夫 演出 志満勝久
出演 小泉今日子 蒼井優 村松道子
5月10日 14時 シアター・クリエ





分かりやすくなった ドミノの世界観

4年ぶりの再演でしたが、初演の思い出はあります。

再演にあたって台本を読み直したら、めちゃくちゃっていて、雑という印象。ただ作品自体が持っているテーマだったり、世界観みたいなものは力があつたし、初演のときの評価も非常に良かったです。

初演では、少々まとまりに欠けた感はありませんでしたが、前川さんの書きたいプロットがいろいろと垣間見えて、ワクワクしました。

プロットがいっぱい入り込んでいて、盛りだくさんでしたよね(笑)。だから良くも悪くも、1時間40分をパワーで押し切った感じがすごくあつた。同じことをしてもしょうがないし、完成度を上げるためにも、まずは必要な部分を潰して、よく作業をやりました。物語の構造自体はまったく変わっていないんですが、登場人物を3人減らして、物語を整理し、芝居の運びを自然にするためにリライしました。

初演からキャストが半分以上入れ替わりましたが、今回役者陣に求めたことは何かありましたか？

ネタが超能力モノですから、まずこの物語にどうリアリティを持たせるかを考えなくてはならなくて。本読みの際に「いろんな読みかたをしてみよう」と読みあわせを何回もやって、全体のバランスを取ることに重点を置きました。実は稽古段階で、ある程度まで出来上がり、でもこれ以上は面白くならないだろう、となったときに、「じゃあ、全部変えよう」「みたいなことを、2回ほど行ないます。だから役者側も「面白いのかこれ？」っていう不安感が、すごくあつたでしょうね。また超能力という非現実的な話ですから、役者が演じるときも、熱が入りすぎると陳腐化してしまう危険性があつたりと、演出する僕にとっても本当に難しかったです。

今回は横道というキャラクターが目立っていましたね。

お客さんの視点で、やっぱり横道だと思ふんです。「何言ってるんだ、コイツら？」っていう、その感情の代弁者。冒頭でドミノという大ネタをドーンと出して、それを横道が笑い飛ばすことによって、お客さんの抵抗をまずなく

す。その横道がドミノを次第に信じるようになる流れと、お客さんの感情とが重なってくる、この荒唐無稽な話にリアリティがもたらされる、という狙いです。だから横道が、ドミノをいつから信じるかのタイミングは大事なポイントでした。

理由付けをでっち上げていく面白さ

『関数ドミノ』の構想は、どういうところから？

僕がわりと、被害妄想の塊みたいな人間なんです。どういうわけか、かなりの確率で鳥のフンを食らう、とかね(笑)。そういう事象に理由付けをする面白さがあるし、確率的に起きにくいはずのことが起きる、って日常でも意外とよくある話で。物語中盤でも触れていますが、ドミノという機能があるかないかは問題じゃなくて、そういうふうな世界を捉えることもできるよ、と。社会に対する個人の接しかたの問題ですから、今起こっているトラブルに対して何らかの理由付けをすることで、心の平静が保たれるのであれば、それはそれでアリじゃないか、という宗教的な発想です。

現代の人は、何かにつけて、理由を欲しがりますよね。不条理でも、それが理由であれば納得する、という。

あんまりよくないとは思いますが、胸に落ちることを言えば、そこで考えるのを止めてしまいうから。

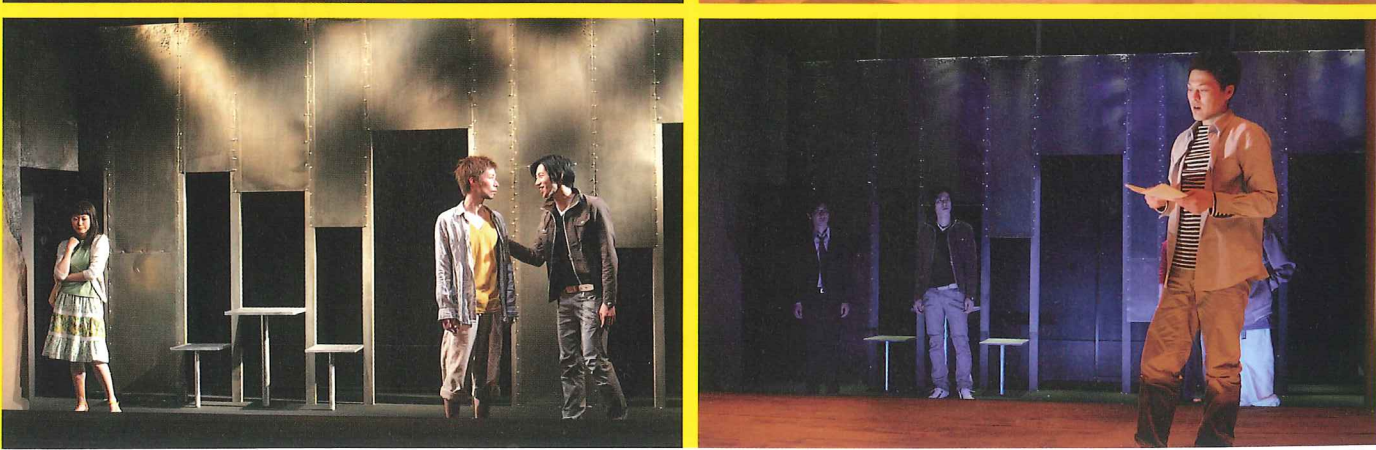
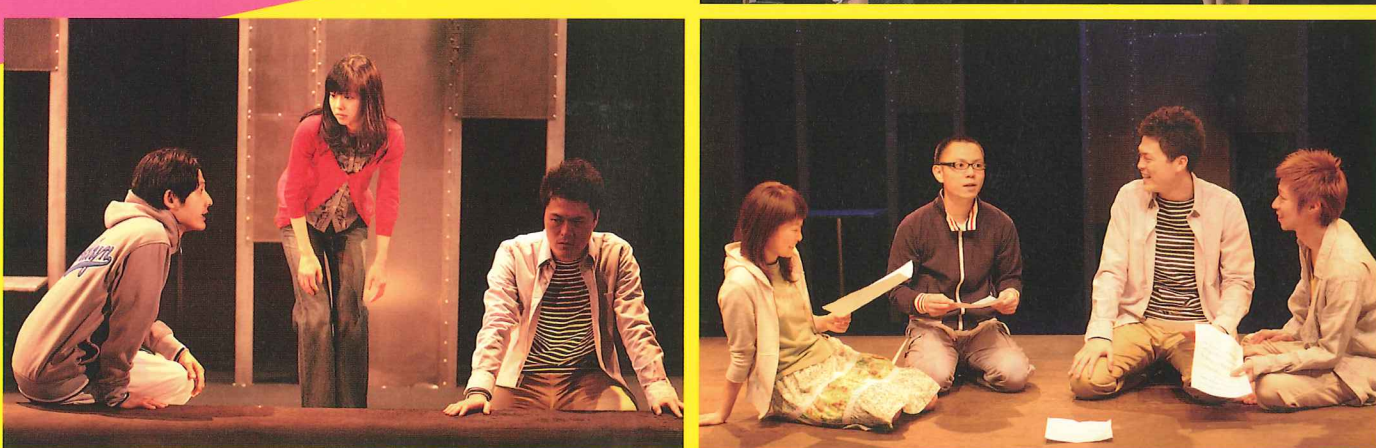
もしドミノがいるとしたら、前川さん自身は誰に近い反応をするんでしょうか。

真壁じゃないですかね。「チッ、なんだよ」っていう。すべてが誰かの影響を受けている、だから何をやってもムダだとなったときには、何もやらないんじゃないかって、じゃあ恐れずになんでもやるか、という、ヤバイ方向に行っちゃうと思います(笑)。

演劇的な面白さを意識するように

以前に比べて、最近の作品は分かりやすくなったと思いますが、やはりエンターテインメント性は意識されていますか？

ややこしいことを分かりやすく、という意識



関数ドミノ

イキウメ

演出：前川知大 出演：浜田信也 盛隆一
作演出：横方健児 森下創 富田道雄 安井順
岩本孝子 横方健児 森下創 富田道雄 安井順
平ともこ 古川時史 大久保芳
5月8・24日 赤坂田村ビル

ドミノという存在から、世界を捉える

誰の心の陰にもある、嫉妬や被害妄想。成功していく人々に理由があるとしたら？ 期間限定の「神様」ドミノは本当にいいのか、いないのか。05年に上演された、大好評を博したイキウメの代表作『関数ドミノ』が、進化を遂げて帰ってきました。

森魚(浜田信也)は友人田宮(諸方健児)とともに、交通事故に遭遇する。田宮に衝突したはずの車がなぜか大激し、助手席に乗っていた女性が重傷となったのだ。保険会社の横道(安井順平)に呼び出され、目撃者とともに事故状況を再確認するものの、事故の謎は解けない。が、とある話が浮上する。それは森魚が、本気で求めることがすべて現実となる「ドミノ」だ、という話。そしてそれを検証する実験が、森魚の知らないところで既に始まっていた……。

Q...最近気になっていることは？

A...乾物と干し野菜です。ヒマさえあれば、家でひたすら干しています。乾物は野菜を適当な大きさに切って一週間ぐらい干すんですけど、干し野菜は、朝干して夜取り込むだけでも、味が凝縮して甘みも出て、おいしいんです。干して水分を飛ばして、水分を加えると旨みが増えるって、あれはもう魔法ですよ。料理が好きなので、忙しくなると料理ができなくなるのがストレスです(笑)。

まえかわともひろ○74年生まれ、新潟県出身。03年イキウメの旗揚げに参加。以降、劇団のすべての作品の脚本・演出を手がける。09年2月、第16回読売演劇大賞優秀作品賞・優秀演出家賞を受賞。近年は外部公演においても、活躍の場を広げている。

次回予定◇「奇っ怪〜小泉八雲から聞いた話」(構成・脚本・演出)7/3〜20◇シアタートラム◇「狭き門より入れ」(作・演出)8/17〜9/6◇PARCO劇場 他、名古屋、大阪、福岡◇イキウメ「タイトル未定」12月◇紀伊國屋ホール、HEP HALL、西鉄ホール

前川知大



神様とその他の変種

作・演出 ケラリーノ・サンドロヴィッチ

出演 犬山イヌコ、みのすけ、峯村リエ、大倉孝二、三宅 孝、長田宗麻、藤田秀世、植木夏十、水野美紀、山内圭哉、山崎一 他
4/19〜5/17 本多劇場、5/21 愛知県勤労会館(つるまいプラザ)、5/23・24 イオン化粧品シアターBRAVA!
5/26 アステールプラザ 大ホール、5/30・31 北九州芸術劇場 中劇場

『神様とその他の変種』とは、ケラ&ザ・シンセサイザーズの楽曲タイトルを、そのまま用いたもの。ケラリーノ・サンドロヴィッチ自身も「歌詞をそのまま芝居にしようというわけではない」と書いていたが、その双方に流れているものは、「静寂なる祈り」だ。掛け違い、すれ違い、偽り、対立……。ざらついた“突起”に日常を掻き回されるヒトビトが、果てに辿り着く祈りの境地。言葉や一般常識の合理性から逸脱させた「異色作」、そこに含ませた“色”は、まぎれもなく2009年ニッポンの色だった。

女3(水野美紀)は、引きこもりがちな小学生の男3・サウケンタロウ(みのすけ)の家庭教師としてサウ家を訪れる。ケンタロウの母親である女1(峯村リエ)は、どこか狂気を匂わせる謎めいた人物だ。少し気弱で物分りの良さそうなケンタロウの父親・男1(山内圭哉)や、認知症が進む祖母・女5(植木夏十)、近所の動物園で飼育係をしているユウチャン・男4(大倉孝二)なども含め、その「裏側」が気になるヒトビトが多数登場する。ケンタロウにまつわる人達が、とある「災難」に巻き込まれる中、ある日、ススキサチオの母・女2(犬山イヌコ)とサチオの父・男2(山崎一)が、サウ家にやってきた。どうやらケンタロウとサチオの喧嘩に関して、サウ夫婦に物申したいようなのだが……。



演劇ぶっく BACK NUMBER

vol.133 (08.6)

【表紙のヒト】古田新太／【演劇集団キャラメルボックス】「きみがいた時間ほくのい時間」上川隆也・坂口理恵／【全方向から見せまう大特集】／【Potsunen 2008】「Drop」小林賢太郎、野口毅、徳澤青弦／【コンドルズ】「UFO」近藤良平、勝山康晴、小林顕作

vol.134 (08.8)

【表紙のヒト】池田鉄洋
「MIDSUMMER CAROL ～ガマ王子VSザリガニ魔人～」山内圭哉
【演劇と映像のカンケイ】板尾創路、堺雅人、石原さとみ、志賀廣太郎
【ロングインタビュー】宅間孝行
【シアタークーン】「どん底」
皆川猿時・犬山イヌコ

vol.135 (08.10)

【表紙のヒト】
井ノ原快彦×上田誠(ヨーロッパ企画)
【新感線RX】「五右衛門ロック」
森山未來・橋本じゅん、いのうえひでのり、インディ高橋の小道具研究所
【演劇集団キャラメルボックス】
「嵐になるまで待つ」
渡邊安理・細見大輔・土屋裕一

vol.136 (08.12)

【表紙のヒト】宮藤官九郎
「現代能楽集Ⅳ」The Diver」野田秀樹
／【ナイロン100℃】「シャープさんフラットさん」三宅弘城・新谷真弓、大倉孝二・小池栄子／【K.K.P.】「TRIUMPH」小林賢太郎／「から騒ぎ」小出恵介／【Studio Life】「マージナル」笠原浩夫、青木隆敏

vol.137 (09.2)

【表紙のヒト】松たか子 宮沢りえ
「ウーマンリブ」／「七人は僕の恋人」
伊勢志摩・矢野美和公・猫背椿・田村たがめ・平岩紙・峯村リエ・遠山景織子
「クリス」生田斗真
【NACSTYLE／PAGE.7 拡大版】
森崎博之・安田顕・戸次重幸・大泉洋・音尾琢真

vol.138 (09.4)

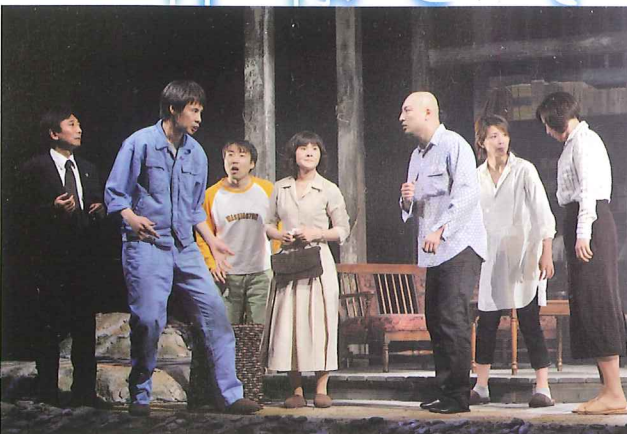
【特集】発表！読者が選ぶぶんぶチャート2008／【NODA・MAP】「バイパー」橋爪功・大倉孝二／「セッサーオカダ」空箱／岡田義徳・高橋一生／【アトリエ・ダンカン】「風が強く吹いている」黄川田将也・和田正人／「下荒井兄弟のスプリング、ハズ、カム。」／ボツドル「愛の渦」江本純子・三浦大輔

vol.139 (09.6)

【表紙のヒト】蛭川幸雄・ウエツ瑛士
「蜂崎峰」勝地涼・木村了・高田聖子、古田新太／「夜の来訪者」段田安則・坂井真紀・八嶋智人／「グリーンフィンガーズ」相葉雅紀／「ムサシ」／「下荒井兄弟のスプリング、ハズ、カム。」／ボツドル「愛の渦」江本純子・三浦大輔

演劇ぶっくのバックナンバーのご購入、定期購読【年間6冊、4500円(送料込み)】のご希望は、演劇ぶっく編集部にご申し込み下さい。

株式会社えんぶ 演劇ぶっく編集部
〒164-0011 東京都中野区中央5-46-5 池田ビル2F
TEL:03-3229-2424 FAX:03-3229-2423



強力な俳優たちが演じた 強力な夫婦の裏側

いつもと違う、この要素

なさそうで、ある夫婦

公演の当日は、KERAさんの「異色作になった」と書いていましたが、出演者の皆さんに、その実感はありましたか？

犬山 試みのひとつとして、「別役(実)さん」的な言葉を強く出しているのかな？と感じました。

山崎 特に言い回しがね。

犬山 いつものKERAさんとは違うし、面白いけど。ただ、お客さんがどう思うかは……。

山崎 すごく不安でした。この感覚を、ちゃんと分かってもらえるかどうか。

犬山 面白がってもらえるかな。

山内 それに、台本が繋がって出てこなかったこと、初めてなんじゃないですか？

犬山 ああ。

山内 「このシーンとこのシーンの間に、後で何かが入ります」みたいな。

峯村 昔あったんですけどね。

犬山 ナンセンスものの時は、どこにどんなシーンが入っても成立すると思いますけど、今回は、ストーリーの流れもあつたし、「飛び飛びで台本が上がり、稽古を進める」ということは、他の現場でもよくあることなんですか？

山内 あんまりないと思う。

山崎 (笑)。

峯村 KERAさんの場合は、何が起きても「うひょー」と軽く思わないとやってられない所があるのか(笑)。

山内 それを楽しめるかどうかで、かなり変わってくると思います。僕は楽しかったですけど。「これってどう繋がるのやろ」とか想像したり。

——それぞれ夫婦役で共演されていましたが、舞台上でのお互いの印象は？

山内 ここにいる皆さん、先輩なんですね。何をやらせてくれるから、むしろ「こっちが取りこぼさんように」と必死でした。自分だけ悪目立ちせえんように、とか。1人だけ漫画みたいにならんように、とか。

峯村 (笑)。

山内 そういう意味で、リエさんは安定された方なんですね。あと、単純に僕とリエさんの夫婦がおもしろい。商店街で買い物してたら指さされるでしょ？

一同 あは(笑)。

山内 それで、子供がみのすけさん。

峯村 辛い家族だな(笑)。でも、言われたから返す訳じゃないけど、私、結構芝居が揺れると思うんです。本番入ってから「色々試すと思うけどごめんね」と言っていたんですけど、がしと受け止めてくれたので、すごい方だなと感じました。

——スズキ夫妻(犬山・山崎)はどうでしょう？

犬山 舞台で夫婦役をやるのは初めてだよな？

峯村 何回もやっていると。犬山と共演すること自体多いから、その印象が強いんだと思う。俺は、やりやすいですよ。本当に、「こう出たらこう来てる」というのが分かるんです。具体的にどうっていったんやないけど、そういう感覚が分かるから。

犬山 「具体的にこうしよ」という話はないよね。

——この2組の夫婦、どんな夫婦だと思う？

犬山 やつてるところに「あー」ということはある。だから、「こんなこと、100%あり得ない」なんてことはないんだあつて。

——「キーワードは「むずかしい」」

——拝見して、「俳優への要求がとて高い芝居なのでは」と感じたのですが、山内 簡単ではないですけど……。だって、会話として成立してへん所がいっぱいあつたし、俺、いまだに探している箇所あります。日々揺れたりするから。

山崎 やりながら変わっていくというのはあります。

山内 やっぱ、成立させるのは難しい。「面白い台詞やな」と思ったらどうして面白くない言っちゃったりする。でも、そうするとすごく薄っぺらくなったりして、今回、稽古場で久しぶりに棒立ちしましたもん(笑)。どうやっていかに分かんなくて、峯村 私、棒立ちした(笑)。まず、言葉遣いが難しい。

犬山 リエちゃんは敬語がよくわからなくて、なっちゃったよね。自分に敬語使っちゃった(笑)。

——今作の言葉は、明確な特徴のひとつですか？

峯村 別役さんっぽいシーンがあるじゃないですか。1場の、2人(犬山・山崎)の所とか。「大変だろうな」と思っています。

山崎 実は、あそこはそうでもないんだよ(笑)。そもそも、別役さんは好きなんです。僕、あの感覚は分かります。

犬山 楽しいよね。楽しいんだけど、ちょっとしたことと変わっちゃうのが難しい。だから……「むずかしい」。

山内 難しいけど、お客さんが入ると俄然楽しいです。

峯村 私、「おもしろい会話をしつても、乗っちゃいけないシーン」というのがあつて。そこで乗らないで、その言葉の面白さを伝えるというのが、今でも「むずかしい」感じですよ。

犬山 具体的にどこが「むずかしい」と言うよりも……全部ですね。「面白いはずなのに静かになる瞬間」とか、その状況が逆に楽しくなったりして、「これって何だろう？」って考えたりとか。だから、全部が「むずかしい」です。

山崎一

【左上】

やまざきはじめ○57年生まれ、神奈川県出身。早稲田小劇場からパライノア百貨店を経てフリーに。ケラリーノ・サンドロヴィッチ演出作品には、「カラフルメロディでオハヨ」「SLAPSTICKS」「カメレオンズ・リップ」「労働者M」「どん底」など数多く出演している。

次回予定○映画「はりまや橋」(アロシ・ウルフォー監督)公開中 ○こまつ屋「組曲虐殺」10/3～25○銀河劇場 ○「農業少女」(作:野田秀樹/演出:松尾スズキ)10年2月○東京芸術劇場 小ホール

山内圭哉

【右上】

やまうちたかや○71年生まれ、大阪府出身。92年、リリパット・アミーに参加。99年に同劇団を退団し、01年にはPiperへ加入する。09年1～2月にはwat mayhem「バク侍、斬られて候」にて、脚本・演出・主演の3役を担当し話題に。今作への客演や、転劇劇場への演出など、積極的に活動している。

次回予定○Piper First Live 2009「Deep Piper in Rock」7/22○大阪BIGCAT、7/30○東京・LIQUIDROOM ○劇団☆新感線「盗賊鬼」9/30～10/27○新橋演舞場、11/9～26○梅田芸術劇場

峯村リエ

【左下】

みねむらりえ○東京都出身。86年より劇団健康に参加し、ナイロン100℃には旗揚げ公演より出演。NODA・MAPやウーマンリブなど、外部客演も数多い。近年では映画出演にも積極的で、スクリーンでの活躍も目立っている。

次回予定○日本テレビ 土曜ドラマ「華麗なるスパイ」(レギュラー出演)毎週土曜21:00～0.4.

犬山イヌコ

【右下】

いぬやまいぬこ○東京都出身。85年、KERAと劇団健康を旗揚げ。後のナイロン100℃も含め、KERA作品には欠かせない看板女優として活躍する。声優、ナレーター、ラジオDJ、歌手など、その活動範囲は幅広い。

次回予定○映画「ビルと動物園」(齋藤孝監督)7/19より公開

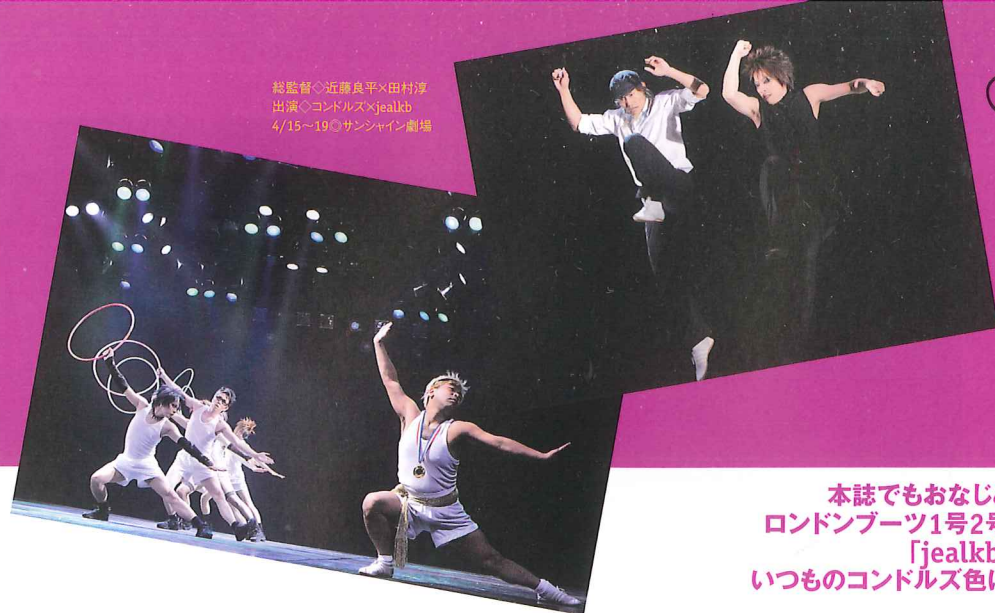
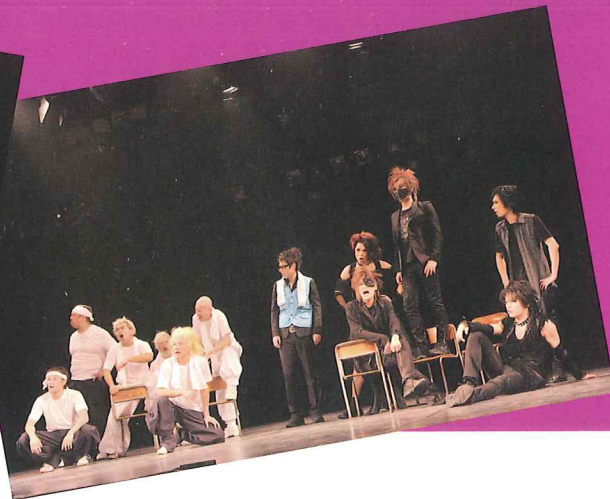
Q…最近気になっていることは？

A…【山崎一】豚インフルエンザですね。流行らなきゃいいな。役者がかかったりすると大変ですから。

【山内圭哉】表紙がテカテカになった演劇ぶっく。全体的に不況と言われている、このご時世にねえ。だから、編集部が気になっています。

【峯村リエ】ほうれん草！ちゃんと土の香りがするほうれん草を探してます。何もつけないで食べちゃうんですけど、すごく美味しいんですよ！

【犬山イヌコ】デジモノ全般。元々好きなんですけど、ちょっとした間にどんどん進化するじゃないですか。ブルーレイとか、「分かんないからもういいや」と思ってたんですけど、使ってみたらやっぱり便利だったんで、これからは気にしていきたいです。



jealkb×コンドルズ



本誌でもおなじみの学ランダンスカンパニー「コンドルズ」が、ロンドンブーツ1号2号の田村淳率いるヴィジュアル系ロックバンド「jealkb」とコラボレーションダンスショーを公演した。いつものコンドルズ色に、個性の際だったバンドのメンバーが加わり、舞台は揺れそて豊かに広がった。

衝動的でパンキッシュな
勢いの舞台をつくる。

田村淳さんが舞台を観て話が進んだ。

——異色の組み合わせですが、公演に至ったいきさつを教えてください。

広告批評という雑誌の対談に呼ばれて、田村淳さんと対談したことがあつた。そういうところからゆるく始めましたんですね。でも、お互い「公演するんですよね」「そうなんですか、がんばりましょう」なんて言いながらなかなか話が進まなかったんです。本格的に動いたのは去年の11月。『アンタッチャブル』という、うちの公演を淳さんが観に来てくれて、えらく気に入ってくれたところで一気に話が進みました。

——コンドルズのどろが気に入ったんでしょうかね。

とにかく淳さんが言っていたのは、自分たちもやりたじことがいろいろあつて、それを全部実行していて、説明しつらい集団、を目標していたんだが、ニドルズを観たら、自分たちより先にそういうことをやってる人たちがいた、というふうに言ってくれました。

——実際に公演をするにあたって、どういう手順で進めていったんですか。

とにかく時間がなかったんです。僕たちは3月いっぱいアジアツアーがあったし、*World Circus* さんたちもツアーがあった。4月あたたまから2週間しかないというもので、このころから始まったんです。単純に言うところ、オートマを用意してそれに乗っかってもらう形にしたんですが、一番の狙いは2週間しかないところを逆手にとるところですね。衝動やバッキッシュな勢いで舞台までもってつちやおうという作り方をしました。

あれ、俺たちって
踊れてねえ？

——いつものコンドルズもそういう部分が多少あ

社会的なメッセージを強く出したい。

——今後の活動はどんなふうになりますか？

るんでしょっつ？

そうですけど、最近はずがにもうちよつと練習するようになりましたから（笑）。

——構成はコンドルズがつくって、それにjealkbが入っていく。

——彼らのキャラクターを生かしつつ構成をしていったという感じがしました。

い、というのはこちら側とてありません。ただ、あのう、私たち本番が信じられないほど強いんです。それそれ場を与えれば一発で持っていくし、そうでもないところでモアドリブをババァかますし。場所さえ用意すれば彼らは何でもやってくれるという感じでした。

——今回の公演を観て、改めてコンドルズは二芸を持っている人たちの集団だと思いました。

「メーバーも気付いたんです。よ、今更じい、うか、今だからかもだけど、あれ、俺たちって踊れてねえ?」と。自分たちの立ち位置をわかっていないわけじゃないですけど、ダンス界では、一部の人を除いて、俺たち別にうまくな〜しなとか思ってたんです。今回やってみると、俺たちけっこう踊れてると気がかされるわけです。そうするとますますムキになって僕や顕ちゃん(小林 顕作)も踊っちゃったりして笑。長年やり続けていると踊れるようになってるんだなと気がかされる。ベストキッド状態ですよ。やっているうちに空手強くなっちゃってた、みたない。不思議な体験ですな。あれ以来、みんな練習に熱心に来るんですよ(笑)。オクダ(サトシ)さんなんて今で、最近ずつと見てるだけで全然やらなくなってるのに、最近いっ気にも更なっているんじゃないかな(笑)。

勝山康晴「コンドルズ」

夏のアー作品は『Ninivasi』(ナインライフズ)といつて猫はインドでは9回生まれ変わるといわれているところからとったんです。今年09年だし、全国9カ所回るツアーですし、何年度も生まれ変わるししよとく生きてやるというメッセージ性の強いタイトルをつけました。不況だけど、まだからこそ頑張つてトラライしてみようぜ！みたいな思いをこめて、N O D A・M A Pの出演やB・L公演の効果もあって、もっともつとやりたいうようにやるって思ひ切りが良くなりましたね。昔だったらこそ恥ずかしいからやめようかな、というシーンも、やるだけやつて

みよつてなつたんです。い意味でつハードルを越えな感じがしてます。上手く行かないときもありますけど。少なからずやりきる強さについていうのを、good workからは学びました。やりきつちゃう方が楽しいだらうなと、世の中のこの状況に対してメッセジ性をバーンと出してしまふのは青果(アヲ)語ですけど、そこはあえて、社会派なんて言葉はもうないですけど、今はこうじゃねえかという社会的なメッセジを強く出していくのが今すごく興味のあるところです。当たり前のごときなんだけど、だってやっぱり、舞台活動だと社会活動の環じゃないですか。



Q...最近気になっていることは？

A……超個人的なことですけど、猫(笑)。僕は今まで犬とか猫にまるで興味がなくて、今回『Ninelives.』の公演のチラシ撮影で猫カフェに行ったら急に和んじったんです(笑)。事務所でも猫を飼おうか真剣に悩んでいるぐらいですからね。1人で仕事しているときに、後ろで猫がニャーニャー言ったら楽しいな、なんて考えてます(笑)。





挑戦し続ける劇団の、ここ数年来でも最もインパクトの強い挑戦ではないだろうか。大ヒットミステリー「容疑者Xの献身」を、演劇集団キャラメルボックスが舞台化する――。

この事実以外の説明など蛇足ではないか？とすら思えるこの挑戦は、サスペンスの面白さはそのままに、キャラメルらしい美しさ、儚さ、切なさなどが注ぎ込まれた、劇団を代表する「ヒューマンドラマ」に仕上がった。

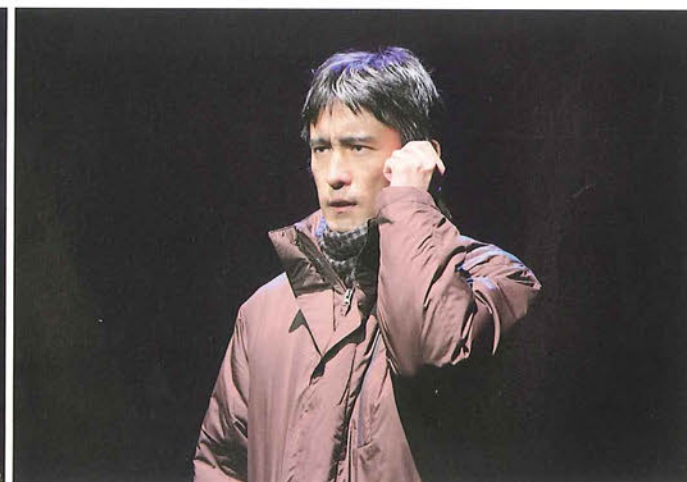


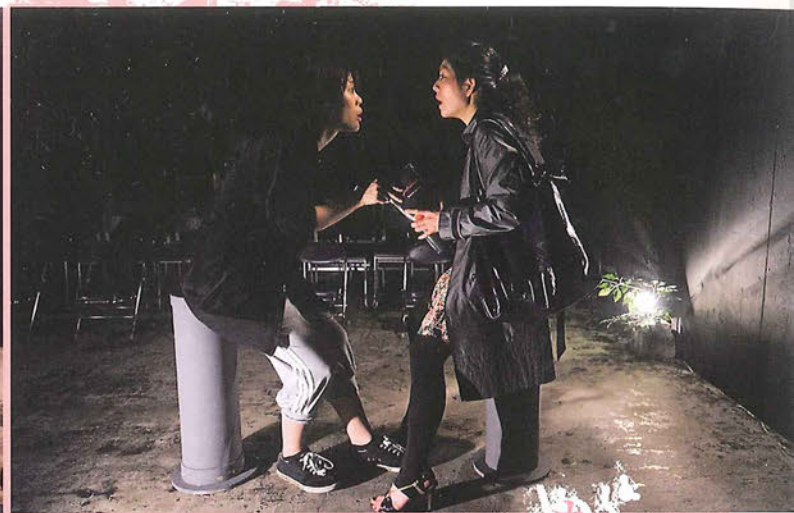
容疑者Xの献身

演劇集団
キャラメルボックス
2009スプリングツアー

原作：東野圭吾「容疑者Xの献身」(文庫版)
脚本：演出：成井豊
出演：西川浩幸、岡田達也、西田幸太郎、高橋歩、川原和久、大森美起子、前田綾二、三浦剛、筒井俊作、實川貴子、石原香織、4/18・26◎新神戸オリエンタル劇場 4/30・5/24◎サンシャイン劇場

運命のその夜、石神哲哉(西川浩幸)は研究室で不審な物音を聞く。アパートに住む花岡明子(西田幸太郎)の部屋で何か騒動があったように、声をかけた右隣に激しく動揺を見せる婦人へ、彼は冷静に叫ぶ。「私が力になる」と。アサ・警視庁捜査課副警部(高橋歩)は現在抱えている事件への助言を求め、大学時代の友人である帝都大学理学部物理学科准教授、湯川学(岡田達也)を訪ねる。その事件とは、隣田川の河川敷にて、婦人の元夫である電機関係(石原香織)の遺体が発見されたというもので、当然、婦人も容疑者としてリストアップされている。だが、彼女の隣人の名を聞き、湯川は愕然とする。その男こそ、大学時代に最高の仲間を失った天才数学者と称された、石神哲哉その人であった――。





本当に伝えたいことをシンプルに

毛皮族とは違う方向性の媒体を

——今回は劇団、江本純子の旗揚げ公演となります
まず最初に、なぜ劇団、江本純子を立ち上げようと思
ったのかをお聞かせください。

日本。毛皮族がやっているのは基本的に娯楽作品なので、そういふイメージから離れたところでもうちょっとと自由に作品を作りたいなと。毛皮族の作品だといろいろい装飾がついたりエンタテインメントになってしまつて、そのときに本当に伝えたいことがなかなかシンプルに伝えられないということがある。もちろん毛皮族は毛皮族でそういう方向性でいいんですけど、自分が社会に対して本当に伝えたいことを考えたときに、もっとシンプルな方法で素直に伝えることのできる媒体をもっと作ろうと思つたんです。

——旗揚げ公演で町田さんとの2人芝居をやるうと思ったのはなぜですか。

江本 新しい芝居を始めようと思って、誰に由ってもらったかと考えたときに、最初にバツと思っていたのが結局山田マリーだったんで「手堅い」やばり一番信頼できるし、変な言い方をすると「手堅い」でしか笑え、まず最初ですから失敗したくないじゃないですか笑。それに、毛皮族とは違う芝居をやるときに、町田と2人だけでたほうが逆にわかりやすいかなと思って。

町田 最初、江本さんから「新しいことをやろう」と思ってたとメールが来たんです。「呼びたい役者さんを2〜3人呼んで、毎月のように続けてやろうじゃないか」と思いました。それを、「いいじゃない! 面白そうじゃない、新しいことをやるのはいいことだ」とメールを返したら、「1回目に出てほしいんだけど」と来て「笑」。「ええ、ちょっと待つて、私? 毛皮族になっちゃうよ」と。でも江本さ

さんが新しく始めることなので、私ごとやかく言うことじゃないし、本人がいいならそれでいいのかなど。第1回公演じゃなくて、第0回公演というふうにしてくれたことで、私が出る意味ができたし、それならいいかなど。

江本 エピソード0みたいな感じでね(笑)。本格始動する前のね。

——稽古期間はそれほど長くなかったそうですが、稽古はいかがでしたか。

町田 2人だけなので、ある意味やりやすかったですね。稽古場では作品の内容や役柄について結構話し合いました。稽古しているというより話している時間の方が最初は長かったですね。

江本 作品についての共通認識や伝えていきたいことについてちゃんと話し合いましたね。それは毛皮族ではあまりやらないことで。毛皮族はとにかく面白いことだけ考えてやってください、というやり方だから。

町田 毛皮族だと嬉々としたものが面白くなってきた。芝居もわざと雑にやったりするんですが、今回は人物の関係を密に作っていくことに重点を置いた芝居だったのを、それを理解してやったりもできる作品を解釈している話し合ったり、本番中も毎回1秒1秒真剣にやっていたかといふ緊張感もやっております。楽しかったですね。お客さんの反応も毎回違っていました。

俳優が背負っているものを芝居に出す

——2人の会話から過去の出来事や互いの関係性が浮き彫りになるという会話劇で、現在と過去とを交互に描くことで現在の切なさを際立たせたりと、緻密な構成だなと思いました。

江本 織密……初めて言われました。そう、そういうことを言われたくなんです(笑)。去年から映画の脚本の仕事をして、いろいろ学んだんです。脚本を書くことにすく面白さを感じて。今まではセリフですべてを説明してしまうことが多かったんですが、今回 それをやめました。芝居の間合いや空気感をお客さんに感じてもらおうと。

町田「稽古中も、説明的なセリフはこれは言わなくてもわかることだから」とカットしたり。それは今までにないことでしたね。

——作品の解釈についてお2人でいろいろ話し合われたようですが、この作品で伝えたかったことは？

江本 最終的には、町田が演じた花代の「私バー」に
のからという最後のセリフにつきますね。前向きなよ
うな、意地悪なような、狂つていんような。解釈はお客さ
んが自由に捉えて下さつていいんですけど。花代が睦
子を警察に通報するの、表面上は意地悪な至んだ
行動に見えるけど、それは花代なりの相手に対する愛
情表現であつて、透明バーの思い出がある2人にとつ
ての、それがまじめな話であるというか。

町田 の暗部というか、心の動きみたいなものがちゃんと流れている脚本です。すごく人間らしい人物像を2人分描ってくれたことは嬉しかったですね。7日を楯岡でもやるんですけど、また再演もしたいし、好きな本です。決定稿が上がったとき「面白い本を書い
てくれてありがとう」と言いました(笑)。

脚本になったということもあります。今後でも劇団、江本純子ではこういう作り方をしていくかと思えます。本ありきでというよりは、出演する俳優が持っている魅力や、背負っているものを芝居に出せたらいいなと、このシリーズはコンセプトに続けていきたいですね。

A...[江本純子]ipodです。最近は肌身離さずです。私は常に音楽を聴く習慣ってまったくなかったんですけど、去年私の生誕30周年記念公演をやったときに、お客さんがプレゼントして下さって、使ってみるといいですね、コレ。現代人がみんなイヤホンしている意味がわかった。今までは「どうして外の音を聞かないの?」と思ってたんだけど、これはすこし集中できる。本番前もこれがあると集中が途切れないですね。

[町田マリー] 日本史です。私、中学までしか日本史をやっていないんですが、最近急に興味が出てきて、博物館とか行ったりしてるんです。縄文時代や石器時代から戦後ぐらいまで、その土地の歴史が身近に見れたり、武将の人たちが書いた直筆の手紙を見て、すごい楽しいんですよ。いろいろなところに足を運んで、日本の各地の歴史を知りたいですね。

町田マリー〔左〕
まだ未だまり。79年生まれ、千葉県出身。女優として活躍。他の舞台出演作に、演座「続・タオトルバベンチ・カルメル」・戦場座「続・アロキッド」・NHK「白蛇」。

次回予定：メジャーリーグイブセ・シリ
◎赤坂ED/HEATER◎中国の不思議
◇映画：美代子阿佐谷（各賞分）主演◎

江本純子〔左〕

えもとじゅんこ 78年生まれ、千葉県出身。00年に毛皮族を旗揚げし、主宰として作・演出を手がけ、出演もしている。外部舞台や映画にも多数出演しており、肉秀太郎監督作品「下町又の死」では主演を務めた。近年ではテレビドラマや映画の脚本や、小説も執筆している。

次回予定◇劇団「江本純子福間公演 まじめな話」7/17・19◇紺屋2023◇次回予定◇劇団「江本純子第2回公演 常に最高の状態」7/29・8/2◇キナリーE
演者◇毛皮族俳優特選ふれる改訂版◇10/9◇駅前劇場◇毛皮族公
演者◇毛皮族俳優特選ふれる改訂版◇10/9◇駅前劇場◇毛皮族公
演者◇毛皮族俳優特選ふれる改訂版◇10/9◇駅前劇場◇毛皮族公

3月◇東京芸術劇場





宅間孝行

Q...最近気になっていることは?

A...ベタですが、9月に行う東京セレンデラックスの名古屋・大阪公演ですね。大阪はBRAVA!という2階席まである大きい劇場なので集客が心配ですね(笑)。名古屋は初上陸で、初見参の人たちには非常に集客の厳しい土地柄と聞いているので……。どちらもステップアップのきっかけかなと思って、勝負することにしました。

たかまたかゆき◎97年「東京セレン」を旗揚げ。01年「東京セレンデラックス」に改名。主宰、座付作家、演出家、俳優をつとめる。映画「同意会」では監督、脚本、主演をつとめた。現在、NHK連続テレビ小説「つばさ」に出演中。

次回予定◎東京セレンデラックス「流れ星」9/20～23◎名古屋・テレビアホール、9/30～10/4◎大阪・イオン化粧品 シアターBRAVA!

自分の大切なものを捕まえるながら

「見ありがちな熟年夫婦の情景は、本当は人には見せてはいけない生活。もう一度人生をやり直すために過去の自分に会うのは、SFではしてはいけない約束。人生の戦の数だけ傷を負った大人には、それくらいのご褒美が必要か。誰もが胸にしまい込んだ想いを解き放ち、ひととき夢を叶えてくれた『流れ星』。」

その場所にある生活感

思い切りのいい省略や場面転換。舞台ならではの魅力にあふれた作品でしたね。僕はセリフのイメージがちゃんとできていないと本が書けないんです。『流れ星』は東大の近くにある下宿屋さんに美術さんと取材に行つて、セットの画を描いてもらつて、ここで人がどういふふうに住んでいるかというのをイメージしながら書きました。僕は会話から台本をつくるのではなく、この場所だと当然こういう会話があるだろうとか、その場所に自然と生じる生活感を大事にしています。それはちょっと珍しいかもしれませんが、ある程度台本や演出家のイメージがありつつ、舞台美術は舞台美術で進行するのが一般的なんです。自分としてはそこを生きる人たちがしているであろう会話や動きが好きなんです。基本的に会話劇だと会話をするのが芝居になりますが、僕の場合、会話というよりも、そこで生きている中で織り込まれている

役者と一緒に作っていききたい

昭和が舞台でしたが、下宿、学生運動、詩集売り、ヒッピーなど、きつとデフォルメしながら、雰囲気が出ていました。どこでそのにおいみたいなものをつかまえてくるのですか。当時の風俗を見ておもしろいというのから入つて。本やネット、映像などの資料でなんとなく自分の中でイメージを膨らませていきました。人物もすごく個性的で、立体感がありました。よく思うのですが根本的に、本質的なものは今とそんなに変わっていない。ただ女の方は今よりも少し女らしさやべり方をしている。「うだわ」とか今でこそセリフにしゃやうとウツぱい女の子言葉を使つていて、男の人にも「うだわ」みたいな言葉を実際使っているんです。きつと。今回だと下宿屋の娘の夏子に

うつまさんとタッグを組んでよかったな

今回ご自身も主人公の夫役を老年と若い頃の2役演じていらつしやいます。うつまさん、ありがとうございます。僕は僕の中のもの、最低限やつてほしいことで、そこに俳優がいろいろアイディアを持ってくれば、どんどんいい物になっていくと考えていますから。基本的に自分が役者だという意識があるので、なんとか役者にやつてほしいという思いはあります。それは難しいですね。でも宅間さんの頭の中は見えないです。僕は僕の中のもの、最低限やつてほしいことで、そこに俳優がいろいろアイディアを持ってくれば、どんどんいい物になっていくと考えていますから。基本的に自分が役者だという意識があるので、なんとか役者にやつてほしいという思いはあります。

「最後、セリフは彼女でないと決まらないうつまさんになっていきます。先日、高畑淳子さんが観に来て、ものすごく感激してボロボロ泣きで「うつまさんがうらやましい」と言ってくれました。やはりそこですべて集約されてくると思います。女優さんが自分にあてて書いてもらった役で、とてもいい芝居ができたこんな最高のことはないじゃないですか。そうしてもらえたら僕としても押し付けてきたうつまさんとタッグを組んでよかったな、成功したなという思いはあります。彼女の言が、今まで積み重ねてきたものを集約していると思います。うつまさんにも言っているんだけど、この芝居がたどる9割がいまひとつでも最後のうつまさんで全部ひっくり返るから、うつまさん次第です。逆に言えば、それまでが完璧でも最後にうつまさんがこけたら終わりです(笑)。



東京で下宿屋「徳秀館」を営む熟年夫婦。夫の死後、妻のもとに現れたのは、「4つの願い」を叶えてくれる魔法使い。夫との結婚生活を後悔していた妻は、人生をやり直すため夫と出会った頃に戻る。そこは個性的な下宿人たちが賑わっていた40年ほど前の「徳秀館」だった。



流れ星

東京セレンデラックス

演出 宅間孝行
出演 うつまさん 高畑淳子 小野 永田 豊信
協力 佐々木 俊彦 山田 浩二 小野 永田 豊信
美術 佐々木 俊彦 山田 浩二 小野 永田 豊信
照明 佐々木 俊彦 山田 浩二 小野 永田 豊信
5/20/16 14:00 シアターサンモール



北九州芸術劇場
Produce

江戸の青空

Keep On Shakin'



脚本○千葉雅子 演出○G2
出演○西岡徳馬 須藤理彩 中村まこと 松永玲子 戸次重幸 有門正太郎 中井出健
関香ア 小西遼生 いとうあいこ 松尾貴史 柳家花緑 植本潤 吉田鋼太郎
5/24~6/7◎世田谷パブリックシアター、6/11◎アステールプラザ 大ホール、6/12
~14◎北九州芸術劇場 中劇場、6/19~21◎梅田芸術劇場 シアター・ドラマシティ、
6/22◎愛知県勤労会館(つるまいプラザ)、6/24~25◎札幌市教育文化会館、6/27
◎リカーとびあ劇場、6/29◎イズミティ21 大ホール



時は江戸。基会所で舞に列する魚屋の勝五郎(戸次重幸)の元に、喧嘩屋の妻・お久(須藤理彩)が飛び込んできた。鮎は立つが一向に高いに出ようとしないう勝五郎にお久が案を煮やすのも当然。この2人の喧嘩を収めた元彦根藩士・柳田格之進(西岡徳馬)は、江戸での生活に困窮し、先祖伝来の仏像をくす屋の清兵衛(中村まこと)に引き渡す。基会所での騒動も一段落し、各々が去っていった後、萬屋の手代・文七(小西遼生)は、自身の犯した重大な過失に気付いた。先だってお得意先から集金したはずの50両という大金が、懐からすっかり消えてしまったのだ……。こうして、『芝浜』、『柳田格之進』、『江戸の茶碗』、『文七元結』などと、有名な江戸古典落語の数々が、大胆に再構築され、物語は紡がれていく。

Q...最近気になっていることは?

A...【松永玲子】宝くじ。私、宝くじが大好きなんです。宝くじを買った話を共演者の人達にすると、冷やかな目で見られちゃうんですよ。何故かと言うと、「(俳優とは)運で仕事をしているような職種なのに、もし当たったら、そこで運を使っちゃう気がして怖い」ってことらしいんですけど……何を言ってるんだか。そんなの、1等当たったら辞めるに決まってるじゃん!! その為の6億でしょ!? 真剣ですよ、そりゃ。

【柳家花緑】そうだなあ……。今のまま続けていけることが一番幸せなんです。だから、今が面白いからこそ、より良い出会いがあるといいですね。なんか僕、運が良いんですよ。仕事でも良い出会いが多くて。今もそうなの。だから、いま気になることと言うと、松永さんと共演できたことが、自分の中では一番面白いことです。

柳家花緑

やなぎやかく○71年生まれ、東京都出身。中学卒業後、祖父である五代目柳家小さんに入門。94年、戦後史上最年少の22歳で真打昇進を果たす。演劇への出演も数多く、主な出演作に『押除屋』(04年)、『もとの黙阿弥』(05年)、『宝塚BOYS』(07年、08年)等がある。

次回予定◎独演会『花緑ごのみ』7/10◎長岡リリックホール シアター、『花緑ごのみ』7/31◎さいたま市市民会館うらわ 大ホール、寄席・8月上席(8/1~10)◎新宿・末廣亭、『花緑ごのみ』9/18◎ひこね市文化プラザエコーホール、独演会『花緑飛翔』10/1◎銀座プロサラム中央会館、音楽朗読劇『HYPNAGOGIA』10/15~19◎アサヒアートスクエア、『花緑ごのみ』10/24◎黒部市国際文化センターコラール

まつながれいこ○大阪府出身。94年『1979』よりナイロン100℃に参加。舞台やTVで活躍する一方、エッセイストなどの顔も持ち、幅広く活動中。学生時代は落語研究会に在籍しており、藤乃家心斎橋(ふじのやみなみ)の高座名で活躍。この『落語シリーズ』への出演は、07年『地獄八景：浮世百景』(G2演出)に続き2度目。

次回予定◎劇団、本谷有希子『来来来』7/31~8/16◎本多劇場、8/18◎リカーとびあ劇場、8/21~22◎サンケイホールブリーゼ、8/25◎北九州芸術劇場 中劇場 ◎三田村組『HOME』10/1~11◎中野ザ・ポケット

松永玲子



落語の「緑」が取り持つ出会いを

有名な古典落語の数々を、50両という大金を中心、大胆かつ丁寧に再構築した今作。この作品で、落語『御神酒徳利』に登場する夫婦・善六とおさきを演じたのが、落語家の柳家花緑と、ナイロン100℃の松永玲子だ。柳家花緑は勿論のこと、学生時代に落研に在籍していた松永玲子も、共に落語に縁のある人物。これは正に、粋な縁により共演した2人と言えるのではなかろうか。では前口上は程々に、いよいよ真打の登場です!

「善六さんが一番可愛かった」と思ってた帰ってからもいい

花緑 松永さんと共演できると知った時は嬉しかったですね。去年の秋、本多劇場の楽屋で「私は花緑さんの奥さん役みたいよ」と言われて、僕が「是非出てくれ!」と口説いたのを、昨日のことのように覚えています。それで今、松永さんと2人であてもないこうでもない、夫婦のシーンをやっているんですけど、松永さんに指摘されて気付くこともありますが、ものすごく助かっていますね。それがこう、夫婦関係としていい図式なんだこれが。

松永 なんかね、今回みたいに2~3人で喋るシーンを中心に構成された芝居だと、各パートごとにチームが分かれていくというか、「私達のチームも他のチームに負けるまい!」みたいな気持ちになるんです。だから、お客さんには「柳家花緑演じる善六さんが一番可愛かった」と思ってもらいたいです。

花緑 松永さんは、2人のシーンを「可愛いか可愛くないか」で指摘してくれたりして、それをもすごく面白かった。でね、あるとき善六が強くなっちゃったよね。

松永 しっかり者になった。

花緑 「普段の花緑さんがそういう人だからなんじゃない?」と言われた時、そうかも。松永さんは、逆に普段はね?

松永 普段は、人が決めてくれる方が楽なタチなので。

花緑 普段の感じだと、(松永玲子演じる)おさきと善六はキャラクターが逆転しちゃうんですけど、それはそれで収まり所が面白いんですよ。「瞬だけ」という場面があって。だから今ね、弟子と師匠みたいな関係。師匠に指南してもらってる、みたいな。僕はそれが凄く嬉しい。

落語家ではなく、役者として居たい

花緑 今回、嘶家が観に来てくれたけど、みんな評判いいんです。

松永 (春風亭)昇太さんは、花緑さんの(舞台からの)落方を見て「腕を上げたね。あいつは体が動くからな。俺があんな落方方したら怪我しちゃうよ」って、そこを凄く褒めてたけど……そこ……笑。

花緑 ははは(笑)。(立川)談春さんは「役者だねえこいつは。最後出てくる所な、あれ『宝塚BOYS』やったから歩けんだあいつ」って、そういう訳じゃない(笑)。別にあれ位のステップなら出来るし。

松永 嘶家さん達はね、下半身が上手に動いていることに感動するみたい。

花緑 そうそう(笑)。動きなんだよね。それと、春風亭正朝師匠は「芝居はいいな。俺も芝居をやりたいな」って。これは最高の褒め言葉だと思いました。僕は落語家だけど、落語家としての場に居たいんじゃない、役者として居たいんです。僕のことを知らないお客さんに「このカンパニーの中に落語家がいるらしいけど、誰だったんだろう?」と言われるのが僕の理想なので。

——素朴な疑問なんですけど、「演劇に出演すること」と「落語を披露すること」、具体的にどのよう違いがあるのでしょうか?

松永 私の中では全然違いますよ。落語はひとりでしょ? 演劇はチームプレイじゃないです



人生を変える程の強烈なパワーが

——今のお話の流れで、例えば花緑さんが今作を肯定するとしたら、どういう点に着目しますか?

花緑 やっぱり、落語を使っただけで出来たというの、落語家じゃない人達だからこそだと思っんです。落語家だと、落語の良さ、美意識を分かっているの、安易に変えたくないという想いが強い。だからこそ、ここまで出来るのは素晴らしい。落語家の発想で言うって、演劇で野暮に見えるんですよ。

松永 うんうん、うんうん。

花緑 ひとり出来ることを大勢でやって、それで持ち帰る印象はどうなの?と。落語家ひとりのパワーの力が感動させられる夜もあるんじゃない?って。けど、実際にお芝居をしてみて思うのは「芝居でなきゃ伝わらないことがあるな」ということ。この、立体的に見せてくれる迫力と感動は、演劇でないと得られないと思います。演劇も落語も、良いものを観た時は強烈に良いですよ。人生を変える程

の強烈なパワーが、演劇にも落語にもある。特に僕なんか、両方渡っていきけるというこの贅沢感。幸せですよ、今(笑)。

松永 松永さんも両方いけますしね。

花緑 いやいや、渡っていきません。うち(演劇)には渡ったけど、向こう(落語)には戻りたくない。

花緑 いや、僕と知り合ってしまったのは、これはもう運命ですよ。戻ってましようよ。プライベートレッスンしますから。

松永 きゃー(笑)。

花緑 きゃー(笑)。

松永 きゃー(笑)。

花緑 きゃー(笑)。

松永 いや、二人会って、無理無理無理無理。私お茶子やりましますから。

花緑 二人会って、僕が前後挟むから、ゲスト的に真ん中。

松永 無理無理無理無理、やだやだやだやだ。お茶子やるから!

花緑 ダメ。うち、弟子6人もいるんだから。弟子にやらせるから。やりましようよ。

松永 へー……。客で行かせて(苦笑)。

田辺茂範の取材簿

ロリータ男爵

第二回ゲスト

Dr.エクアドル (ゴキブリコンビナート)

TITLE 『にぎやかどうぶつ横町』

DATA
作・演出・美術・作曲 Dr.エクアドル
出演 Dr.エクアドル アグネス・マートン 若人あきこ 藤井清喜 よしちか2 病気マンビニール100% タイヤモンド☆FUYUKAI ごとうはるか 植松ペーコン 4/10〜13 新宿タイニイアリス

STORY
主人公のユキオは、行方不明となった母を捜し歩く中で、いつしか目的を忘れ、動物園に雇われ見せ物となった。動物がユキオと鶏のみの動物園には訪れる客は少なく、客足は対立するセックス・ディズニールランドへと流れていった。そんな中、セックス・ディズニールランドのキャラクターたちが、性欲が抑えきれずに暴走を始める。

どうぶつよりも奇想天外

第二回目に新米インタビューア田辺茂範が直撃したのは、ゴキブリコンビナートのDr.エクアドルさん。今回の作品は、劇中に牛や羊、ヤギ、豚、ガチョウ、鶏などリアル動物が登場するにぎやかな舞台。この人たちの何を以てかすか分からない興味と恐怖は、幼少時に動物を間近で見た時の感覚と似ているのかも知れません。

人間だって動物だもの

田辺 これまでも動物を劇中に出してましたが、今回はいつも以上に動物をたくさん出しましたね。

Dr.エクアドル 空間(劇場)によってどういう事ができるかという考え方が最初にあつて、そこからストーリーを決めていくんですけど、今回はタイニイアリスと言うコンパクトな空間の中で、一回どこまで動物を出せるかトライしてみようと思っていました。

田辺 もともと動物を出そうと思っただけでどうですか？

Dr.エクアドル テーマパーク的なものの演劇化、あるいは演劇のテーマパーク化というのが劇団の創立当初からあつて、その中で動物園というのがテーマパーク的なアトラクションとしての着想にあつたと思います。

田辺 では、動物も仕掛け的な道具のひとつとしての考え方はありますか？

Dr.エクアドル 僕らの作風は、理性とか知性とか、虚飾とかが抜けた状態の人間、つまり動物化された人間を描く事を主眼に置いてまして、そういう意味では普通にペットの扱いとして舞台に出てくる動物とはちよつと違ったニアンスにはなってるかと思えます。

田辺 では、ライブで言う生っぽさとは別に、生き物の生っぽさも意識している？

Dr.エクアドル はい。「生」のものを「生」としてより強く感じてもらう為には、ひとつは立体感で、ひとつは距離感だと思つていて、ウチの作風のひとつに舞台と客席の関係が特徴的(境界がない)という点がありますが、それもその意識が元になっているとは思っています。

田辺 生のもつて、拒絶しちゃう人が多い気するんですけど、特にゴキブリの場合は、キケン、キタナイ、キツイの3Kを売りにしているの、抱かせる感情って不愉快な方向に向く気がするんですけど。

Dr.エクアドル なるべく不愉快だけで終わらない様にしようとは思つてますけど、ホラー映画でも残酷なシーンがあつても、「嫌だ」と言いながらみんな喜んで観ている訳ですから。

田辺 じゃあ、基本は喜ばせたい？

Dr.エクアドル 勿論です。エンターテインメント、娯楽を提供したいと思つてます。

ミュージカルの必然

田辺 最近の作品は、劇中の歌の比率が増えて来た様に感じますが。

田辺 動物が出てきたり、仕掛けが多いのですが、そういうものをどんどん投入していくと、芝居の安定感がなくなりますよね。そこを楽しくしているお客さんって多いと思うんですけど、そこは狙っているんですか？

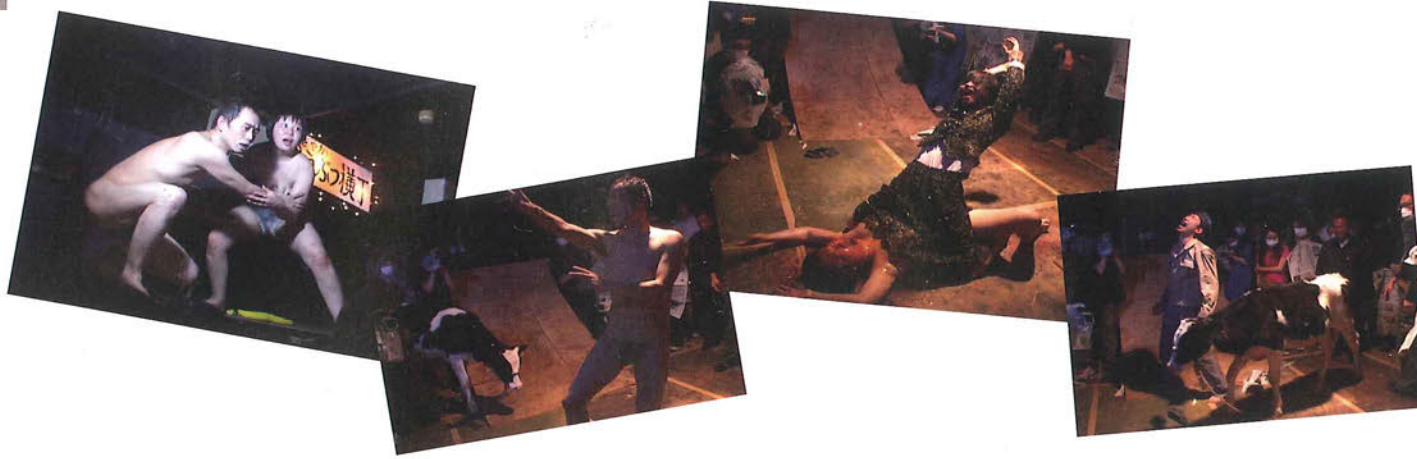
Dr.エクアドル 狙ってないですね。なるべくクオリティの高い、計算されたものを提供しようと思つています。

田辺 それは意外です！全く感じませんで。

Dr.エクアドル ある程度のクオリティを詰めていく作業ですごくエネルギーが必要なんです。でも、自分たちが一番したい事は何かって言ったら、動物や仕掛けみたいな無茶な事なんです。なので、クオリティを上げる作業はどうしても一番後回しにしたいですね。

田辺 矛盾してますよね。ロリータ男爵とゴキブリって一緒に括られる事がありますけど、それって「そつがある」って言い方をすると、その「そつ」の部分だと思つていいんです。で、僕の場合は変にクオリティがあつてくると中途半端になるので、敢えて役者たちに負荷を与えたりして確信的に「そつ」を作り出しているんです。だから僕の中ではそれは成立しているんですけど、エクアドルさんの場合はそれがしつちやめつちやかな気がしますね。

Dr.エクアドル 何かに捕われて、何かひとと違う事をやりたくて、他の事がぎくしゃくきこなくなる、そういうものへの愛があるんだと思います。



左・田辺茂範 右・Dr.エクアドル

左・田辺茂範 たなべしげのり 1974年、ありふれた家庭に生まれ育つ。美大入学と同時にデザインに勉強を始めて演劇活動を始め、1995年、ロリータ男爵を旗揚げ。現在、演劇ぶっく新米インタビューとして活動中。キケン、キタナイ、キツイことが大好き。

右・Dr.エクアドル どくたーえくあどる 1966年、東北の寒村に生まれる。過酷なガテン系労働に従事するかわり、役者活動を始め、1994年、ゴキブリコンビナートを創立。全作品の作・演出を担当し、キケン、キタナイ、キツイの3Kミュージカルというスタイルを生み出す。

次回予定 〇ゴキブリ見世物小屋 7/13〜16 〇靖国神社

Q...最近気になっていることは？

A... [Dr.エクアドル] 景気です。今年は公演をもう1回やりたかったのですが、不景気のせいでできません。自分は舞台の裏方と建築現場の仕事をしているのですが、仕事の依頼が最近めっきり減ってしまい、次回公演の予定どころか……という感じです。たまにニュースでナントカ指数とか耳にして、聞いてみようかなと思うのですが、急に聞いてもよくわかりませんね。

[田辺茂範] 最近しみじみ、無趣味だなーと。ぼくは何をしているんだろう？ と思って考えてみたら、楽しみなのはナイターを見ることだけだな。最近、楽天をずーっと応援しているんですけど、田中マー君がどれくらいの成績までいけるのかなっていうのが、今の一番の興味ですね。

でも、「そつ」を意識して盛り込んでいくという気持ちではなく、「そつ」を犠牲にしなきゃいけない姿に感動する自分があるって、意図はしてないけど、あわよくばあざけり笑いながらも、なんでこんなにしちゃうもない事を傷だらけになりながらやってる自分たちに

感心してくれると、あるいは更なる疑問符でもいいですけど、そういうのがあればいいなと思つてます。

田辺 最後にインタビューとしての僕は100点満点で言うけど、100点満点でいいですか？

Dr.エクアドル はい。



宝塚歌劇団にとって95年目にあたる今年、100周年という大きな節目に向けて、さまざまな動きが始まっている。その動きのなかで、新しい風を吹き込むスターや公演を紹介していくこのシリーズ。第四回は、この6月26日に新しい星組トップスターとして初日を迎えた柚希礼音。初舞台から10年、恵まれた資質を生かして、つねに王道を歩き続けてきた大型スターの登場である。

YUZUKI REON

ゆずきれおん○宝塚星組男役トップスター。大阪府出身、双子座、B型。99年「ノバ・ボサ・ノバ」で初舞台。のち星組に配属。舞台映える容姿とダンスの実力で大型新人と期待される。01年「ベルサイユのばら2001」の東京新人公演でアンドレ役。03年「パウ・ワークショップ」の「おーい春風さん」で初主演。同年「王家に捧ぐ歌」で新人公演初主演。以後、新人公演主役やパウホール主演を数々クリア。07年パウホール「Hallelujah GO!GO!」に主演。3月から主演男役安蘭けいのお披露目公演「さくら」の「シークレット・ハンター」から二番手男役に。以来、07年の日生劇場「Kean」、本公演「エル・アルコン」第一、08年「赤と黒」と活躍し、同年の「スカーレット・ピンパーネル」のショー・プランやパウホール公演「ブエノスアイレスの風」の評価で、松尾芸能大賞の新人賞を受賞。今年2月～4月公演「My dear New Orleans」で安蘭けいと遠野あすかを送り、星組男役トップスターに。ダンス、歌、華やかな容姿を備えた大型スターである。

次回予定○星組公演「太王四神記 Ver.Ⅱ」—新たる王の旗立ち—〜韓国ドラマ「太王四神記」より〜
6/26～7/27◎宝塚大劇場 8/14～9/13◎東京宝塚劇場



柚希礼音

YUZUKI REON

いよいよスタートする新しい星組の顔

長身に華やかな顔立ち、そしてバレエの素養とまさに宝塚スターになるために生まれてきたような柚希礼音。99年の初舞台以来、つねにスポットライトを浴び続けてきた柚希だが、いよいよ星組トップとしてスタートを切った。お披露目は今年初めに花組が公演した「太王四神記」の「バージョニア」。韓国の人気ドラマを宝塚のミュージカルとしてアレンジし好評だった作品で、星組のカラーに合わせてよりエンターテインメント性を強めて構成されている。その作品の内容と新生星組の真ん中に立つ抱負を柚希礼音に聞く。

人間愛で王になるタムドク

「太王四神記」は、もちろん花組版も韓国ドラマもご覧になってると思うのですが？

細かいところや人物の内面を、より深くドラマで勉強させてもらった感じでした。私の役のタムドクは、ドラマではベ・ヨンジンさんが演じていらっしゃいますが、演技が深く参考になりました。戦乱ものですから殺陣もたくさんありますね。そうなんです。稽古場でも大変な殺陣ばかりなので、あの豪華で大きな衣装を着て、本当にちゃんと動けるか

など、今から心配です(笑)。しかも出づつばり、夏場の公演なので汗でメイクが落ちないかも心配です(笑)。

タムドクの人間像はどんなふうにつまえますか？

野心があつて王になりたい人ではないんです。でも高句麗の国の人々が二千年待ち続けていた「チシンの王」が自分だと知ってからはその責任を引き受けて、人間愛で王になつていきます。戦いがあるとしても、なんとか戦わないうちに人の命を大事にしようとするので、みんなが慕つてついてくるんです。ラストシーンでタムドクが「4つの神器に頼らず自分の力で王になる」と言うところは、本当に素晴らしいなと思うところ。とても共感の持てる人なので演じがいがあります。

恋愛もありますね。宝塚版はキハとの結びつきがとてもよく描かれていますね。

タムドクもキハも本当に孤独だったんだと思います。タムドクは王として育てられるなかで自分を偽らないといけなかったし、キハは火天会という組織にさらわれて働かされていて、偶然のように2人は出会うんですが、そこからは信頼関係ができて本当の恋になつていく。その過程もわかりやすいですし、タムドクがキハを大事に思う気持ちもよくわかります。

王座をめぐるライバルのヨン・ホゲとの関係も、お互いに内心は複雑で面白いですね。

仲良かった2人が様々な出来事によって敵対していくのがツライ。花組版では子ども時代があつたんですが、星組では少年時代として1シーンだけ出てきます。そこだけしか仲が良かった時代は出てこないで、そこをヨン・ホゲ役の風橋かなめと「印象に残る場面にしよう」と言っているんです。

男役を楽しむ心が大切

柚希さんにとって昨年の「スカーレット・ピンパーネル」の成果が大きな

自信になったと思うのですが。

最初はショー・プランという人間がなかなか理解できなかったし、歌も難しいものばかりでしたから、稽古中は本当に死ぬ程大変でした。頭のなかではできても、表現力が追いつかなくてうまく出ないというところばかりで。稽古場で演出の小池(修二郎)先生にも多くのものを求められていましたから、初日が開いて誉められていたのもなかなか信じられなくて。宝塚大劇場の千秋楽あたりになると「何かを乗り越えられた気がする」と思えたくらいです。

そのいあって、高い評価を受けましたね。

自分ではすごく高い壁でしたけど、与えられなければ乗り越えるチャンスもないわけですから、本当に素晴らしい機会をいただいたと思っています。

そして今年の春には、トップコンビの安蘭けいさんと遠野あすかさんを送る公演がありました。前トップの安蘭けいさんから託されたものは？

安蘭さんのそばにいて一番ありがたかったのは、やらなきゃいけないことになんがらもやらせてくれたこと。「宝塚の男役で本当に楽しんだよ」ということを、言葉ではなかなか伝えてくることができません。そばで見ていた安蘭さんの姿からは、退団したら男役というのはできないから、だから今を楽しむ、男役をやれている時間を心から楽しむ、という気持ちが手に取るように伝わってきました。今、それを私も実感できています。今は安蘭さんのおかげだと思います。

ゴールではなくスタート

いよいよトップになって初めての稽古場が始まったわけですが、真ん中という実感はありますか？

それがまだあまり……(笑)。稽古初日に真ん中に座らせていただいたときに、ちょっと実感したんですが、すぐタムドクになるに精一杯で、まだよくわかっていないという(笑)。

4月星組東京公演「アビメント」柚希礼音



「アビメント」を演じる柚希礼音(左)

トップとしてのありかたでも、安蘭さんに学んだことはありましたか？

安蘭さんは、まず下級生たちががんばっているのを見ていて、最後の最後に「言ってくたさる言が」ともあ

りがあったんです。それに無理にひっぱらうとか教えようとしてなくて、ご本人が舞台上でどんどん進化していく、それを見ていけばみんなも自然に進歩していか、私も新人公演の頃は引っぱらうとか、へんに力が入っていたときもあつたんですが、これからは相手役の夢咲ねねや、二番手の風橋と支え合いながら、組をまとめていければいいなと思っています。

夢咲さんと風橋さんとのトリオは新鮮ですね。

夢咲とは1作組んでいて、お互いに素直に何でも言い合おうねと言っています。役によってどんなコンビの色が変わっていけばいいな。風橋は二年

下ですが、雪組にいる頃から仲がよかったので、今回星組に来てくれて嬉しいです。すごく感覚とか考えかたが近いところもあるし、一緒に舞台を作れるのが楽しみです。

星組のトップとして目指すところは？

どんどん進化していきたいし、トップになることは全然ゴールではないので、本当にスタートという気持ちでこれから進んでいきたいと思っています。

Q...最近気になっていることは？

A...健康のことですね。やはりいちばん大事なのは体力ですから。よく眠れるし元気なんですけど、今以上にいろいろ気をつけながら本番を乗り切っていきたいと思っています。



4月星組東京公演「My dear New Orleans ～愛する我が街～」安蘭けい、柚希礼音

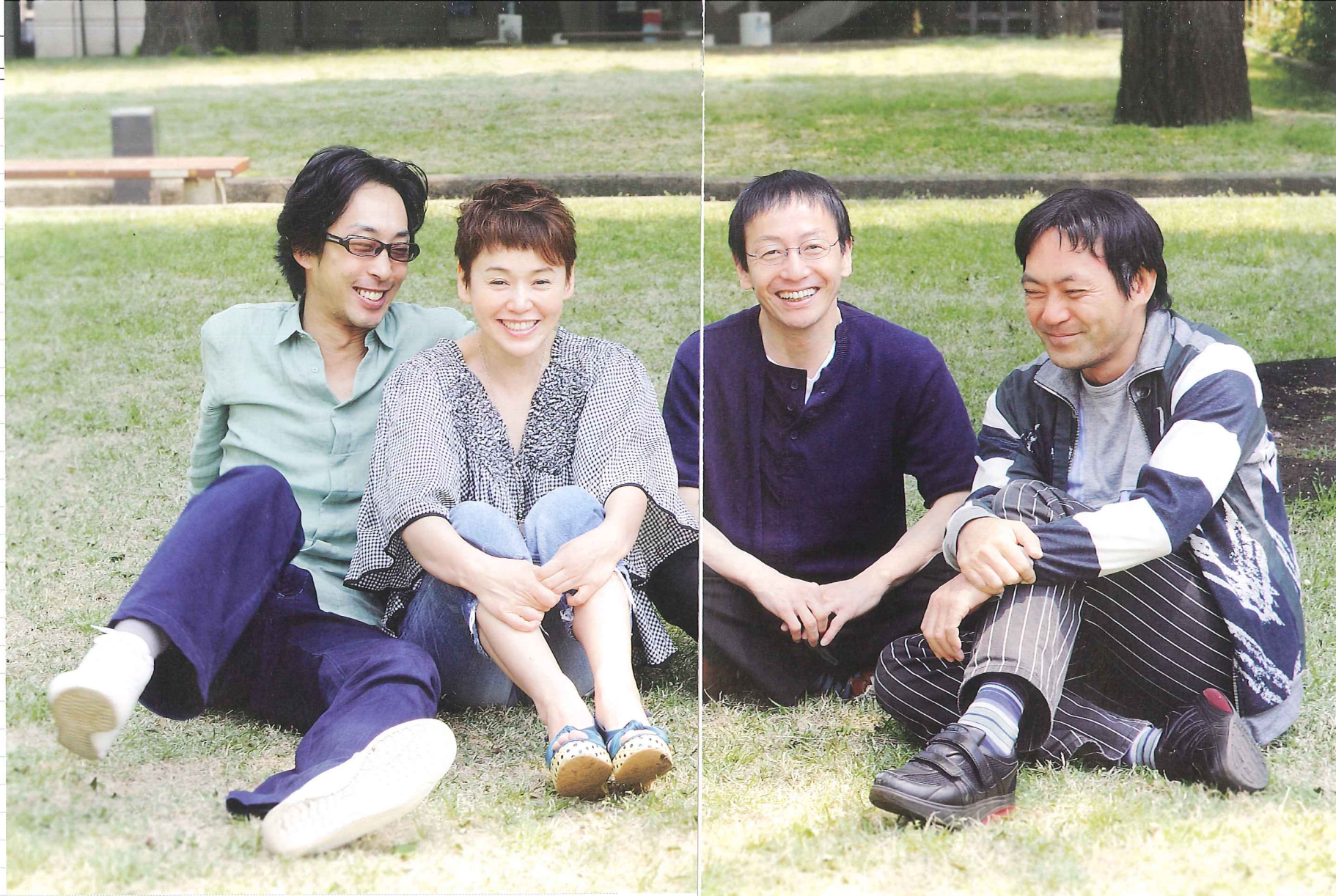


「太王四神記」Ver.Ⅱのイメージ画像

大竹しのぶ、渡辺いっけい、 北村有起哉、野田秀樹

精神の海に潜っていくために

罪を犯すものの心の闇を描いて、08年にロンドンと日本で公演、大評判となった野田作品『THE DIVER』。その日本バージョン『ザ・ダイバー』がいよいよこの夏、上演される。実際にあった事件を邦楽と能の様式美で昇華し、何層にも仕掛けられた精神世界のドラマが、豪華な役者陣によってまた新しい顔を見せてくれそうだ。



渡辺いっけい

わたなべいっけい 62年生まれ、愛知県出身。学生劇団だった劇団六新感線で活動したのち劇団状況劇場に参加。退団後、野田秀樹やケラリーノ・サンドロヴィッチの作品など、さまざまなプロデュース公演で活躍している。最近の舞台作品は『あれから』。テレビは『ガリレオ』(CX)、『京都地獄の女』(EX)、『闘炎の辻』(NHK)などにレギュラー出演。

野田秀樹

のだてき 55年生まれ、長崎県出身。76年に夢の遊眠社を結成。解散後は英国留学を経て、93年にNODA-MAPを設立。以後次々と話題作を発表する。歌舞伎、オペラの脚色・演出も手がける。さらにロンドン・東京で全編英語による『THE BEE』、『THE DIVER』を上演し、国内外で好評を博す。08年4月より東京芸術劇場の芸術顧問に就任。09年夏から芸術監督に就任。

大竹しのぶ

おおたけしのぶ 57年生まれ、東京都出身。75年映画『青春の門』(東宝)ヒロイン役でデビュー。以来、気鋭の映画監督、舞台演出家の作品には欠かせない女優として、映画、テレビ、音楽等、ジャンルにとらわれず才能を発揮している。最近の舞台作品は『太鼓たたいて笛ふいて』、『睦の母』、『女教師は二度抱かれた』など。第55回芸術選奨文部科学大臣賞、第32回菊田一夫演劇賞ほか、映画や舞台で数々の賞を受賞している。

北村有起哉

きたむらゆきや 74年生まれ、東京都出身。98年『春のめざめ』(串田和美演出)と『カンゾー先生』(今村昌平監督)にて同時デビュー。ジャンルを問わない高い表現力で幅広く活躍中。近年の主な舞台は『ハイパー』、『青猫物語』、『道元の冒険』、『トゥランドット』など。テレビは『結婚カツ』(フジテレビ)にレギュラー出演。第7回朝日舞台芸術賞山修司賞、第15回読売演劇大賞優秀男優賞を受賞。

(右から)

公演情報

NODA-MAP 『ザ・ダイバー』



作・演出・出演◇野田秀樹
出演◇大竹しのぶ 渡辺いっけい 北村有起哉
8/20〜9/20◎東京芸術劇場小ホール
お問い合わせ
東京芸術劇場 事業係 TEL 03-5391-2111

✔プリミティブな空間

ロンドン版と大きく変わる部分はありますか？

野田 基本的な筋などは一緒です。ただ、言葉は翻訳っぽくなるといけないので直しています。それからイギリスと日本の文化的な違いもあって、日本なら通じやすい具体的な事柄については、よい説明はいらないかもしれない。

具体的な事柄というのは？

野田 たとえば名前とか。日本人には、佐々木と聞けば現代人、源氏はそうでないといわれるけど、イギリスでは源氏は11世紀のころいう人って説明を入れたりしていた。あるいはサラリーマンがデパートの場所が東京デパートランドなんだけど、イギリスでは「ただの冗談でしょ？」って(笑)。大人同士が行く場所じゃないという感覚だから成立しない。そういう部分は日本なら通じやすい。それが、文化的にどうかは別として、皆さんはロンドン版『THE DIVER』を観ていかがでした？

渡辺 上演時間は意外と短いんですね？

野田 たぶん1時間20分くらいだったと思う。

渡辺 それなのに印象としてすごく濃かったのは内容や役者の密度がすごかったからだと思うんです。そういう密度で僕らもがんばらないといけないなど、ラストがまたすごいインパクトで、ゾクゾクする。

北村 休憩時間という意味では、ババッと細かく動いたり急にゆったりしたり、そのメリハリがとても面白くて、それが密度の濃さにつながる。あと日本のはまた世界の所作をイギリスの俳優さんがやられているのは僕はあまり観たことがなかったから面白かったですね。

大竹 以前の『THE BEE』も4人で、今回はあれとはまた世界が違うけど、少人数で演じるすごさとか、瞬間で空気を変えられる演劇

というものの強さを感じました。
野田 小さいころだとより演劇的なことができるというか、たとえば役者が回転しただけで役も空間も変えてしまえるというのは、ある程度距離が近くないと成立しにくいですから。もちろん大きいところは照明とか映像とかを含めて全然違うダイナミズムがあって、それはそれで面白いんだけどね。でも小劇場は本当にプリミティブな、演劇が演劇であつた原点を見せる面白さで。そういうことが僕が芝居が面白いと思った理由の1つでもあるわけだから。

✔それぞれの立場

キャサリン・ハントの演じたヒロイン役を演じるのが大竹さんですね？

野田 キャサリンとはまったく違うものになると思ってます。キャサリンは西洋のリアリズムから入った役者で、身体を使い方も含めてものすごく緻密に計算して作る。大竹さんは全然計算しないで、立つてから考えていく。でもそれは考えてないわけではない、計算を信じてないだけ。

大竹 計算外の楽しみがいなと思ってるんです。応読もときには無意識に流れを計算してるし、それを自分のなかに入れてるんですが、初めて立つて相手と向き合ったときに、計算外のことと起きるのが面白い。そして稽古でだんだん出来上がって、またお客さんを前にすると、とてもないことが起きたりする。それが演劇の面白さだと思うから。

渡辺いっけいさんは警察署長の役ですね。

野田 いっけいの目つきは似合いそうだね。意地悪なんだけど、世の中の正論でもある人だから。演劇って犯罪者の側に寄りがちで、この作品もそういう部分があるんだけど、でも彼は「お前は人を殺してるんだから、ひどい人間なんだよ」ということをしゃべり続ける。この部分がきちんと成立しないと、犯罪者をただ擁護するだけの芝居になるから。

それはすごく大事ですね。

渡辺 相手が太竹さんなら不足なんじゃないです。

野田 大竹さんのほうは不足なんじゃない？(笑)。俺がいっけいと最初に会ったときで27歳くらいで、あの頃からへんなふてぶてしさはあつて、それが失礼じゃなくて、でもちょっと失礼で

もあつて(笑)。最近「よろしくお願ひします」みたいなヤツばかりでつまんないから、昔のいっけいみたいな役者がもつと増えてほしいね。

北村さんの役は検察官と光源氏ですが、源氏の恋愛が事件の核になっていますね。

北村 源氏はエゴイストに見えるでしょうね。でも本人としては正当化できると思ってるんです。それだけにやっぱり人物として背骨を通すというかつまり彼の恋愛観が大事だと思つていて。

野田 有起哉の恋愛観ね。
北村 違いますよ。オレの恋愛観なんてどうでもいいですよ(笑)。自分と重なる部分と重ならない部分とあるので、それを生かしたいと(笑)。この間、法廷に立たされてる夢を見たんですよ。「お前はどつちなんだ」って悩んでると、裁判官が「静粛に」みたいな。「どちでもいいじゃんか」って言ったところで目が覚めたんですよ(笑)。

大竹 すごくわかりやすい夢(笑)。
野田 ちょっと役に立ってよ(笑)。
✔犯罪者へのスタンス
大竹さんのヒロインは、考えると切ないですね。演劇で犯罪者を演じることの面白さは確かであつて、でも野田さんがおっしゃってたように犯罪者が正当化されるとよくないなという思いもあるんです。以前、テレビで犯罪者とか、そういう人の母親役をやったときに同情的な反響がたふさんきたんです。でも何千万の人がそう思ったとしても、殺された側の悲しみはあるわけだから。今回も現実にあつたことが元になっているだけに、演劇の世界ではあつても、そういうことを踏まえていきたい。できれば、女としてひどいことされたからしかなかったと思わないような、ちょっとへんなところも出せればいいなと思ってます。

野田さんが描きたいのも、犯罪者そのものではなく、タイトルに象徴される精神とか人間という「海」に「潜っていく」となんだろうね。
野田 よく殺人事件をしつて顔で解説する人とかいるけど、犯罪者の気持ちの流しは誰にもわからないし、人が人を殺す理由なんて誰にもわからないと思つて。本当は法律でも裁けないし、どれだけの量刑を与えるべきかというも

誰にも決められないと思つてます。ちょっと裁判員制度も始まるわけだけど、日本の人たちは議論して積み重ねることに慣れてないんだよね。誰かに煽られたり、強い意見に流されてしまふ。そういうふうにならないために、演劇の持つ想像する力が必要なんだと思つてます。

A...[渡辺いっけい]

日本のサッカーはいつになったら世界一になるのか、ですね。球を持った人間がシュートを決めようという気がないというか、譲りあってしまふ。なんとか自分が生きてるうちに世界一が見たい。でも自分もゴールを決めようという人間にならないと、こんなこと言っちゃいけないんですけどね。

A...[野田秀樹]

5分後にやるワークショップのこと。目先の仕事のことをいつも、どうやるのかなど考えています。

A...[大竹しのぶ]

身体をなんとかしたい。体力はあるけど筋力がまったくないんです。基礎体力はあるので息切れしたりしないから、かえって鍛えなくて、それがよくないな。キャサリンの鍛えた身体がうらやましくて、私もなにかやりたいなと思つてます。

Q...最近気になっていることは？

A...[北村有起哉]

アルコール度0.00%のビールが飲みたい。すごく美味しさと聞いて。アルコールが入ってなければ、稽古場とかでも飲めるでしょう。仕事しながらビールを味わえたら最高じゃないですか。

NACSTYLE

TEAM NACS 責任編集!?

今回の担当者: 安田顕

「演劇ぶっくにナックス責任編集のページを作ろう」ということで、ナックスらしいスタイルで自由に! を目指すこの企画・NACSTYLE(なっくすたいる)。今回は、矢代静一の昭和の名作『宮城野』で二人芝居に挑む安田顕と、演出家の鈴木勝秀との対談でお届けします。2回目の顔合わせということで、最初はどことなくテレビ感だった2人ですが、戯曲のことに話が及ぶと、お互いの考察に深々と頷いたり、さらに突っ込んだりと、真剣な面持ち。公演に向けて俄然エンジンがかかった様子で、トークは静かに、しかしアツク展開したのでした。

実は何度もあった、ヤスケンへのラブコール

鈴木●僕が安田さんを初めて観たのは、紀伊國屋(ホール)でやったシス・カンパニーの『猿のゆりかご』でした。

安田●ありがとうございます。

鈴木●そこで拝見したときにちょっと気になっていて、それからわりと何回か、キャストイングのときに名前を挙げたりしていたんです。でもナックスがとて人気なので、スケジュールが合わなかったり。

安田●(マネージャーに)どうして(予定を)空けてくれなかったんですか!? どうして僕にはそのお話が来ないんですか(笑)!

鈴木●いつか一緒にやらせていただきたいなと思っていたので、こういう形で実現してよかった。

安田●いやあ、とても嬉しいですね。しかしどうしてそういうお話が僕のところにはこないんだろ、ホントに。何も仕事が入らなくて、スケジュールがバカッと空くときもあるんです。北海道と東京を行き来していると、そういう瞬間が結構あるもんです。そのほざまのときのこの不安定な気持ち(笑)!

鈴木●役者・安田顕を先に知ったので、ナックスも生で観たことはなくて、でもウチの奥さんが北海道出身で、ナックスが北海道出身だという話も聞いていて「ずいぶん人気のあるグループみたいだ」というのは、知っていました。

安田●猿のゆりかごは、いまだに忘れられないくらい勉強になった舞台でした。演出家の青

う!」って。そういうところが重要なんです。似合わなかったら困っちゃうし。ポスターの写真を出す ※「ね、めちゃくちゃカッコいいでしょ。」

安田●覗き込んであららららら。へえ。鈴木●これを見て、何かひとつ感じられるでしょ。それが重要なんです。2人の感じもずくしくりきていて世界観が見える。それで声がいいし、もう大丈夫だな、と。

役へ近づくには、台本を覚えるまで読むこと!

安田●ニセ浮世絵師・弥太郎という役をいたいてポスター撮りで絵筆を持ったとき、持ち方も鈴木先生に……。

鈴木●先生って笑。スズカツさんって呼んでよ。

安田●スズカツさん。ありがとうございます。

鈴木●スズカツさんって言わないと鈴木さんってそこじゅうにいるから、いろんな人が振り返っちゃう(笑)。

安田●はい、スズカツさん(笑)。絵筆の持ち方をスズカツさんに教わったくらい。浮世絵師である自分っていうのが、まったく浮かばないんです。弥太郎は昼間はうん引きで、うん引きを引いて歩いているんですけど、そっちは浮かぶんですよ。

鈴木●はいはは。

安田●何か自分の中で共通するもの、共感できるものをひとつ見つけるんだとしたら、うん引きかな、と。

鈴木●うん引きから入るって、面白いと思う



安田顕

やすだけん○73年生まれ、北海道室蘭市出身。演劇ユニットTEAM NACSのメンバー。ドラマ、舞台を中心に、各誌の連載エッセイでも人気を集める。

次回予定◇「宮城野」9/17~23◎東京・草月ホール、9/26~27◎大阪・シアターBRAVA!、9/29~30◎名古屋・名鉄ホール、10/5~7◎北海道・札幌共済ホール ◇映画「大洗にも星は振るなり」今秋公開予定 ◇テレビ朝日系ドラマ「コルセンターの恋人」毎週金曜21:00~0A。

惚れたポイントは、声とビジュアルのよさ

鈴木●僕は、シス・カンパニーのキャストイングは、かなり信用度が高いと思っています。そこで克実さんや小松君というメンバーの中に入っていて、(安田が)ちょっとカッコよく見えるわけですよ、……なんて言ったら克実さん怒るけど(笑)。あとは僕の場合、声がすごく重要なんで、「いい声してるな」という印象があって。役者さんは、こはを喋る人、僕は芝居って、最終的に聴覚のメディアだと思っているところがあって、やっぱりいい声の役者さんにはすごく興味を持つんです。それとビジュアルも重視しているんで、見た目である種のイメージを喚起できる人ってすごく好きだし、ほかに紛れ込まないところがいいなと思います。

安田●いやあ、(しみじみ)と今日はいい日ですねえ。『宮城野』のお話をいただいたときは、前に鈴木さんの『写楽考』を拝見していました。お相手が草刈民代さん、演出が鈴木勝秀さん……俺でいいのかなって笑。

鈴木●ご本人のことはよくわからないんだけど、かつらをかぶせてみたら似合うなあっていう気がしていた笑。実際ポスター撮りをしたときに、すごく似合っていて、「あ、やっぱり似合

ますよ。僕は、世界中のあらゆる戯曲のあらゆる役はどんな人の中にもあると思っていて。うん引きから入って、弥太郎という人物を自分の中に発見する。その辺でリアルなものが出てくると思ってるので、何も心配していません。安田●ポスター撮りのときに覚えてるのが、脚本のト書きに「弥太郎がせせら笑う」というのがあったんです。スズカツさんに「ちらっと」「せせら笑う」という言葉の意味は……と訊いたその途中で、「いや、ト書きはいから、とにかく言葉覚えて」と言われました。言葉覚えてくるくらい読み込めば、作家の書いた言葉を超えられて、そのときに共通点も必ず見つかる。だから言い訳せず、とにかく、台本を覚えてください(笑)。

鈴木●演出家が脚本を渡すだけじゃ役者さんに申し訳ないから僕は作家の書いたものを、全部もう1回書き出してみる、ということをやります。そうすると舞台の具体的なビジョンやアイデアが浮かんでくるんですよ。

安田●写楽に対する興味って、ものすごくあるんですよ。

鈴木●いや、そうでもない(笑)。でも面白いと思いますよ。この作品は、写楽や宮城野という人物も含めて、時代物というより、現代にも通じるファンタジーなんじゃないかな。着物やかつらがありますが、所作などはキッチリ教えてくれるスタッフがいますから、一生懸命にやっていたら、特にはかに求めることはないですよ。

安田●ええと、たまには何か要求してくださったほうが、不安にならないっていいかな、と(笑)。

鈴木●よく言われます(笑)。



鈴木勝秀

すずきかつひで○59年生まれ、神奈川県出身。演出家、脚本家。87年に「ZAZOUS THEATER」を旗揚げ。主宰として構成・演出を務める。現在はフリーで活動。国内外の戯曲の演出やオリジナル脚本の執筆などを多数手がけ、精力的に活動を行っている。

次回予定◇「異人たちの夏」(脚本・演出)7/4~25◎東京・シアタークリエ、7/28~30◎大阪・シアタードラマシティ、8/2◎名古屋・中日劇場 ◇「ドリアン・グレイの肖像」(構成・演出)8/21~31◎東京・世田谷パブリックシアターほか



※1 「宮城野」宣伝写真



4人の店長オススメ本!?

「演モ書店へようこそ」が新装開店!
そこで、新たに人気演劇人4名が、演モ書店の店長に就任しました。
影響を受けた本、オススメの本を週替わりであなたに紹介します!



高橋一生



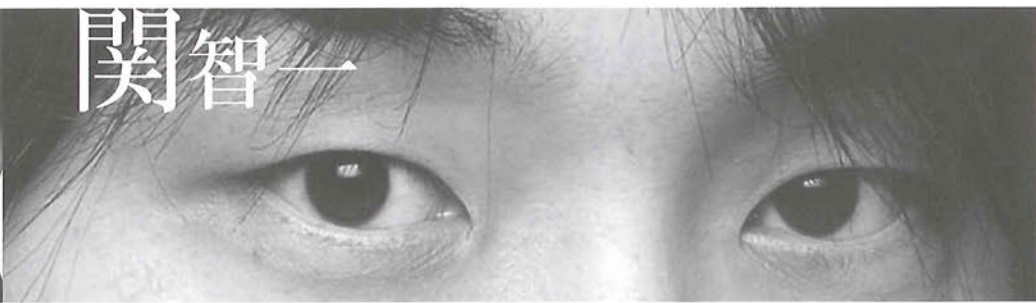
水野美紀



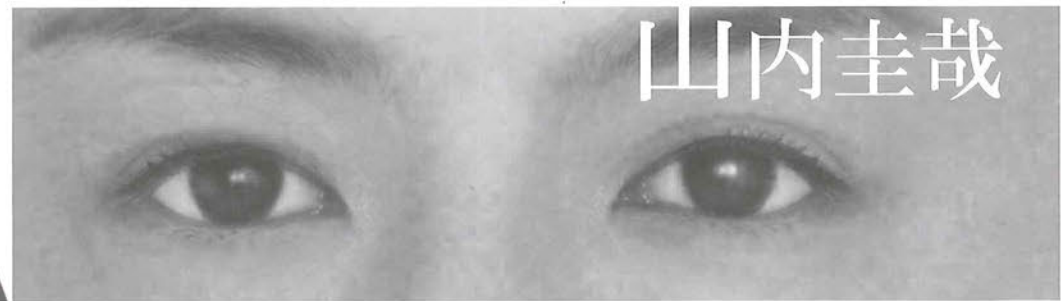
「photographer Junko Tamaki」



関智一



山内圭哉



「演モ書店へようこそ」リニューアルオープン!

演劇モバイルに
いますぐアクセス! ケロ!



3キャリアに対応



<http://engeki.cave.co.jp>

株式会社 ケイブ
cave <http://www.cave.co.jp>

ロサービスのご利用には、利用料が含まれます。ロサービス利用料の他に別途パケット通信料がかかります。通信料に関しては、契約回線業者にお問い合わせください。ロサービス利用料・料金・お申し込み方法等は、予告なく変更する場合があります。ロサービスの広告中に記載された企業・団体・サービス名およびそのロゴマークは、関連会社・関係の商標または登録商標です。日本広告掲載の写真、イラストおよび記事・情報内容の無断転載・複製・二次使用を禁止します。

CLOSE-UP STAGE

公演情報

「304」



8/27~9/10あうるすぽっと
原作◎蓬萊電太(モダンスイマーズ)
演出◎茅野イサム
出演◎青柳翔 津田健次郎 富岡晃一郎
小手伸也 岩倉沙織 平良政幸
お問い合わせ:0570-00-3337
サンライズプロモーション東京

演劇にのめり込んでいる自分が楽しい
リアルな同世代感覚で揺れ動く人間関係を描き人気の若手作家、蓬萊電太。
彼の5年前の伝説的な傑作が甦る。
その主役に抜擢されたのが、まだ初舞台から2作目という若手役者の青柳翔。
ミュージシャンになるつもりが、次第に芝居の面白さに惹かれ、
今ではすっかり演劇どっぷりの日々になってしまったという。
そんな青柳翔の演劇にかける思いを聞く。

青柳翔



あおやぎりょう 85年生まれ、北海道出身。2006年EXILE VOCAL BATTLE AUDITION をきっかけにEXPG札幌校で演技を学ぶ。2009年1月、「あたっくNo.1」古瀬中尉役で鮮やかにデビュー。その後、映画「クロース ZEROII」(09年)にも出演。二度目の舞台で主役に挑む。テレビは「EXILE GENERATION」の「居酒屋EXILE」に出演中。

次回予定◎09/10あうるすぽっとタイアップ公演シリーズ「304」

ちよつと前まで札幌暮らし
まず役者になった動機から聞かせてください。
最初は歌をやりたくて、EXILEのボーカルオーディションを受けたんですが、途中で落ちてしまったんです。そのときLDH(EXILE)のプロダクションのかたから、「芝居をやってみないか」とすすめて、札幌にあるEXPGというスクールに入って、芝居と歌とダンスを約2年ほど習っていました。そのなかでどんどん芝居という表現が面白くなって、今ではすっかり演劇にのめり込んでいます。
今年の1月、方南ぐみ企画公演「あたっくNo.1」に出演しましたね。あれが初舞台だったのか?
そうですね。まだ北海道から出てきて1カ月ちょっとで、何がなんだかかわらないまま出て(笑)。ちゃんとお客さんのいる舞台も、たくさんセリフを言うのも初めてでした。でも楽しくて、ますます演劇が好きになりました。
青柳さんは特攻を命じられた古瀬中尉で、ドラマの核になる役でしたが、伸び伸びと演じてましたね。
稽古場では苦しかったです。それまで映像用の演技しか勉強してなくて、演劇の現場に来たら全然通用しないのがすぐわかりましたから。稽古の苦しさには比べたら、本番は緊張はするけど手応えもあるし、ワクワク感もあるし、自分でも楽しんでやれているのがわかりました。
同じ舞台にJ Soul Brothers(現在はEXILE)から5人、出演してましたが、彼らに刺激されることはありましたか。
僕と同じで、芝居は初めてのメンバーばかりだったんですが、みんな向上心がすごくて、僕も負けていけないと思いました。彼らはグループだし音楽という帰る場所があるけど、僕は1人だし演劇しか生きる場所はない。だから絶対に負けられない。年齢でもキャリアでもいまだ下っ端でしたけど(笑)。

同世代の感覚を生かして

そして今回の「304」では主役。
最初は、その重さとかプレッシャーがちゃんとわかってなかったんですが、今はすごく責任を感じています。選んでいただいたことにちゃんと報いたい。それだけでなく結果を出さないとけないと思っています。

Q...最近気になっていることは?

A...白ワインです。お酒はもともと好きで、強いほうだと思います。なんでも飲むんですが、最近白ワインにはまっています。知り合いから、安くおいしいのがあるよと教えてもらったメーカーのものが本当においしくて。好きな小説を読みながら、すぐ1本くらい空いてしまいます。

その分析が「304」でうまく発揮できるというですね。
共演のかたたちが個性豊かな俳優さんで、まだ半年ちよつとの僕からみたら、何倍どころか何十倍のキャリアのかたばかりですから、遠慮せずにぶつつかっていきなさいですね。また稽古場で苦しんで、本番をたくさん楽しみたいですね。
たとえば女の子と遊んでいるときでも自分を客観視して「あ、いまドキドキしてる」とか、自己分析してしまふんです(笑)。怒られてるときは「いま自分はすごく悔しいんだ」とか、自分を見つめますね。
その分析が「304」でうまく発揮できるというですね。
共演のかたたちが個性豊かな俳優さんで、まだ半年ちよつとの僕からみたら、何倍どころか何十倍のキャリアのかたばかりですから、遠慮せずにぶつつかっていきなさいですね。また稽古場で苦しんで、本番をたくさん楽しみたいですね。

「304」は、蓬萊電太さんならではの人間模様がうまく描かれた作品ですが。
台本を読んで本面に面白いな。蓬萊電太さんの言葉はすごくわかりやすいのに深いんです。「あたっくNo.1」で演じた古瀬も、彼が抱えているものや時代背景にあるものを、どう感じながらやるか苦労したんですが、今回の松崎の役もどこか共通するものがあります。高校の同級生だった仲間仕事世話をしながら暮らしているんですが、「誰のことも信用しない」と言いつつ、心の中では信用している。表には出さないものを抱えているという点では似ている。
同世代の役ですが、青柳さんと重なるところはないか?とすごく考えさせられました。人間は誰でもある距離まではバリアがあると思うんですが、それを破るのが苦手な人が集まっている芝居で、それぞれマニアクで、そういうところを自分にあてはめると、日中、芝居のことを考えてるくらいにのめり込んで、自分も殻を持っているなと思うし、逆に芝居すること外で外とつながっているのかなと思うし。そんなにいつも芝居のことばかり考えてるんですか?
たとえば女の子と遊んでいるときでも自分を客観視して「あ、いまドキドキしてる」とか、自己分析してしまふんです(笑)。怒られてるときは「いま自分はすごく悔しいんだ」とか、自分を見つめますね。

本谷 有希子

LONG
INTERVIEW

プロットは嫌いだけど……

— 7月31日に幕を開ける劇団、本谷有希子第14回公演『来来来』についてお聞かせ願います。

あと10日くらいで稽古が始まるので、まさに今、台本を書いているところです（取材日は6月上旬）。今回はプロットを先に作って完了させました。といつも、かなり久しぶりにプロットを書いたんですよ。まわりのスタッフにはプロットを薦められていたんですけど、「そんなレベルに乗った書き方はイヤだ」って言うことも聞かずにワガママを通していたんですが……。小説（※1）でもそうだし、前回の『幸せ最高』でもそうマジで！（※2）も全然プロットは用意してなくて、むしろ「そんなもんいらん」って気持ちで書いたんですけどね。だけどやっぱりいきなり書き進めると大雑把になるというか、雑な筋が生まれることの反省があつて、もうちょっと作り込めるようにしようと思つて今回はプロットを用意することにしたんです。結果として細かく設定できて、全部で23場というところまで決まりました。そのおかげで美術の打ち合わせも早めに進めます。空間の取り方も早いうちにスタッフで話し合

うことができたのはよかったです。役者さんの動きも、大まかに決まってきた。進行が順調だから「ねえ、プロットがあるついでしょ？」便利でしょ！」って舞台監督や演出助手に言われるんですけど。

— プロットを書くのが嫌いだたのはなぜですか？

たぶん劇作家の多くが感じると思うんですけど、マシーンみたいな自分に陥るのがイヤだからじゃないかなって思っています。プロット通りに進めていくことに窮屈さや面白くないさを感じるんですよ。『そんな予定通りに人間は動かないじゃん』って思うんですね。そういう生理とどう向き合うかというのはプロットに関して思いましたね。だけど今回は大筋があり、辿りつきたいラストも定めつつ、プロット通りに気持ちが進まなかったら、外れてもいいことにしたので、自由度は高かったと思います。それから、私は基本的に一個のことでしか考えられないタイプなんです。筋のことを考えると筋だけ考えてしまう。キャラ設定にしても笑いにしても、人物造形にしてもそう。そういう書き方なんです。今回みたくプロットがあると、書いていく過程で1回目は筋を書いて、2回目は人物造形に注ぎ込んで、3回目は笑いを足していって

……。

— 分けて書くことで脚本にグレイションが乗っていくような。

そうですね。一遍にやろうとするからすべて中途ハンプになるわけで。

ニトリナルな街で上演したい

— 初の本多劇場（※3）というのも楽しみです。だけど本谷さんと下北沢（※4）とは縁遠いイメージがあります。

もちろん全然避けていたわけじゃないです。時期が合ったのが今だったってくらいです。そもそもシモキタにすつくく思い入れがあるわけじゃないんですよ。劇団を始めたばかりのころはシティー派を気取ったかったということもあり（笑）、新宿あたり（※5）の方がいいんじゃないかなってくらいの気持ちでした。街と演劇の関係性が濃すぎるのがちょっとどきどきするんです。もつとニトリナルな街で上演したいという願望はあるかもしれない。本多はみんな作り手の評判が凄くいいので楽しみたいです。ね。

— 唐突ですが岸田戯曲賞（※6）受賞、おめでとうございます。

あ、ありがとうございます（笑）。賞をとったことで心境は？

最初は複雑な感情を抱きながら賞

をもらっていたんです。まあ、獲る前後は穏やかじゃないですよ。（候補者は）選評されるだけの立場だし。時間が経つて、素直にありがとうございますという心境。柔らかな気持ちで受け止めているところです。

ほしいものは全力で

— 戯曲賞だけでなく、賞というモノに対してどのような思いがありますか。冷やかなのか、逆にやっつたかい！と思うのか。例えば小さい頃はどでしたか？

やっつたかいってタイプだったと思いますよ。試験にしてもマラソン大会にしても、数字でシビアに評価されるでしょう。いつも一等賞を狙っていました。だけど文学や演劇は数字で表現できるジャンルじゃないですから。ただ、基本的にはめっちゃめっちゃ負けず嫌いです。小中学生のとき、バドミントンを習っていたんですよ。そこで何かの大会があつて、大人とダブルスを組むんですけど、その大会で私と組んだおばちゃんが結構ミスするんです。私、勝ちたくてしょうがないから本気になつていて、おばちゃんのミスが許せなくなる。「なんであんなもんが取れないんだー」とかマジで怒っているんですよ。そしたらおばちゃんが「有希子ちゃ

私の感じる切実さ、を書いている

自己愛に満ちた奇矯な登場人物らがうごめきながら生じるいびつな人間関係。それが大きなうねりと化し、物語は予定調和を超える。観る者にどこか違和感を与えながら、ラグビーの試合のようにダイナミックに迫ってくる作風。本谷有希子の物語は、いつだってエキセントリックだ。だけど、そこに縋るリアリティが存在し、それがどんどん増殖していく力に溢れている。

劇団を結成し早や9年。着実にそのキャリアを獲得していく本谷有希子。そのか細い身体のごくエナジーを秘めているのか？ 今、演劇界でもっとも次の作品が待たれる作家のひとりであり、ますます期待の膨らむ小説家でもある。その出自から現在の心境までを語り尽くした約120分のロングインタビュー。

小説（※1）

本谷さんの小説デビューは02年、『江利子と絶対』が群像増刊エッセイに掲載された。以降、小説版の『断崖』なども『生きているだけで愛』は第135回芥川龍之介賞候補作に選ばれた。

『幸せ最高ありがマジで！』（※2）

昨年10月21日、11月9日、本谷有希子作、演出で上演されたハルマロデウス公演。出演者は永作博美、近藤公園、榎原善らが名を連ねた。本作で第53回岸田戯曲賞を受賞、本多劇場（※3）

演劇ファンに存在の規模劇場、オープンは82年で、唐十郎の『秘密の花園』でこけら落とし公演が行われた。ナイロン100℃と大人計画を、この劇場で人気を獲得した劇団は数知れず。

下北沢（※4）

東京都世田谷区の北東部に位置する区域。小田急線と京王井の頭線の乗り換えであり、演劇の街として知られる。本多劇場のほか、駅前劇場、OFF OFFシアター、サズナリなどがある。これらの劇場はいずれも本多劇場グループが経営している。ライハウスや古書店も多く、若者たちで溢れかえっている。

新宿あたり（※5）

劇団、本谷有希子の第14回公演「断崖」は、悲しみの愛を見せるは、新宿区高田馬場にある「フロンティア」で上演された。

岸田戯曲賞（※6）

正式名称は「岸田十郎戯曲賞」。演劇界の芥川賞と呼ばれ、劇作家の登竜門的存在の賞。白水社が主催しており、これまでの受賞者には唐十郎、野田高梧、鴻上尚史、松尾スズキらが名を連ねる。





「ヤクザの抗争みたいですね(笑)。幼少のころのことをもう少し教えてください。ご家族についてお聞かせ願います。

父は公務員で、昔は美術館で働いていましたが、今は博物館に勤務しています。職業は芸芸員で、中身は夢見がちな男です。母は父と対照的に超現実的な人間で、社交性が高くて家にいないタイプ。いつも働きに出ていましたね。昼間は喫茶店でパスタ出しています。それと6歳下の妹がいます。彼女はいまも実家に住みながら、地元で働いています。母が20歳しか離れていないので、若いんですよ。私や妹のお下りの服を平気で着るような……。父も23歳差なので、割と若いんですけど。最近帰ったら、父親は顔がゴロコロしてきましたね。で、母は父を「コロケ」と呼んでいます(笑)。父は母親のことを「ピーナツ」と呼ぶんです。輪郭が似てるからだ。夫婦がお互いを食べ物で呼び合ってるんです。バカだなー(笑)。

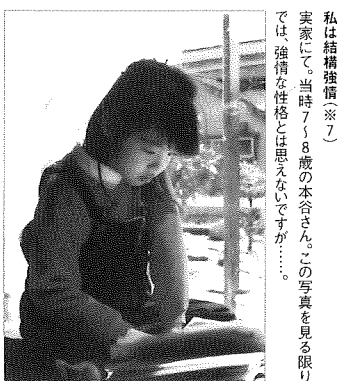
思春期に抱いた 自分の中の「陰」の部分とは……

——本谷さんは妹っぽく見えなくてもいいんですが、自分を「姉キヤ」だと思つことはありますか？
演出家には姉貴や兄貴の要素は必要じゃないですかね。人に従ってもらう術を持っている点では、姉とか兄の方がスキルが高いですから。私は「おうアレ持つて来いや」って簡単に言つて、妹はラジコンみたいな認識してた(笑)。やつぱり指図されるのが絶対にイヤなんです。姉だからというより性

格的なことかな。私は小さいころから結構強情(※7)で、そこがコンプレックスでもあつて……。理想像に柔かい人つてのがあつて、そうありたいと思うんですが……。

——子どものころのキヤクターは？
小学生のころはスポーツもできて発言権もあつてみんなに頼られる存在だったと思います。ムードメーカーというか、天真爛漫だと思っていましたね、そのころの自分は。運動神経抜群で人氣があつて、遊園地に行つたらまずジェットコースターに乗って「ウオーツ」とか言う人だと、自分のこと思ってたんですけど、中学に入つてどうやらそうじゃないってわかった(笑)。よくよく考えるとジェットコースターなんて全然乗りたくないことに気づいたんですよ、私。自分で自分を「こんな感じの乗り物に乗りたくない自分だろ」ってくらいに思い込んでいたんです。だけど、心の声に耳を傾けると、お化け屋敷に行きたがっているわけですよ。自分の性質は、陰の部分もあつて、自分には陽しかないと思つたけど、そうじゃないのだった。

——陰の部分に気づいた中学時代はどんな日々でしたか？
といつても女子テニス部で、3年のときは部長をやつていました。陰の自分を知らながら校内では中心的存在でもあつて、相当楽しんでたと思いますよ。当時は敢えて部長ぶらないことによる親しみやすい自分みたいなものをイメージしていましたね。で、そのころ、『幽☆遊☆白書』(※8)にハマり始めたんです。テニス部の部長をやりにがら、やつぱり本質的にはオタクなんです。



私は結構強情(※7)実家にて、当時7〜8歳の本谷さんの写真を見る限りでは、強情な性格とは思えないですが……。『幽☆遊☆白書』(※8)富樫義博のマンガ作品。90年から94年まで週刊少年ジャンプ(集英社)にて連載された。コミックス全19巻。主人公浦飯幽助が予期せぬ交通事故で死の世界をさまよひながら、霊界探偵として活動する。人間界と魔界、霊界を行き来する世界観で人氣を得た。92年から95年までアニメシリーズも放映された。全112話。

魔界(※9)もとは魔界でも有名な、宝具専門の盗賊。人間の胎児に憑依融合し、南野秀として生きる。直情的な幽助・桑原・飛影の間を取り持つ冷静なキャラクターで女性人氣が高い。二期本気で蔵馬さん(※10)と恋をしました(笑)と本谷さん。飛影(※10)生まれてすぐに天空を漂う氷河の国から魔界の森に投げ落とされた過去をもつ。盗賊に拾われ、飛影と名づけられた。そして自身も盗賊を生業とするようになる。霊界の双子の兄でもある。

フアンロード(※11)80年に創刊された日本アニメ雑誌の草分け的存在。誌面のほとんどが読者による投稿原稿(イラスト等で埋め尽くされ、雑誌全体が読者のような体裁で人々を得た。ネタの種類の「メ」以外にも芸能や時事にも通じており、多種多様なテーマを掲げていた。03年に発行元だったラポートが倒産したことにより一時休刊したが、大都社が発行を引き継ぎ、誌名をそのままに復刊。しかし、09年3月14日発売号を最後に大都社は発行が身を引き起こすことが決定された。今後は銀英社が携帯サイト「フアンロードモバイル」として引き継ぎ、他社で復刊するために奔走している。

すよね。今という腐女子だと思います。まわりから「本谷気持ち悪いっ」なんて言われながらも、(週刊少年)ジャンプを切り抜く姿を容認してくれたり(笑)、環境的には恵まれていました。それでも別に変な視線を浴びることがなくて、楽しかったんですよ。何かそういうことがダサイんじゃないかって、こんな空間にして、部内を巻き込んでいったんですよ。

蔵馬さんの絵を 色紙に書いてもらつて 千円払つた記憶があります

——テニス部の部員数は？
30人くらいはいたかな。陽のクラスメイトとも仲良くしつつ、オタクな女子とも気が合つて交流もできた意味ではすごい人間的にバランスの取れた女子中学生でした。ある日オタクな友だちが「本谷の好きな『幽☆遊☆白書』がたっさん読めるところがあるよ」っていうから、「え、なにに？」「コミケっていうんだよ」なんて交流を深めながら、私も連れて行かれたんです。そこでマンガを書いている別の学校の子を紹介された。蔵馬(※9)さんがたっさん描かれているから、私は最高な気持ちでたっさん買って帰ったんです。で、家で読むと飛影(※10)と蔵馬がセックスしたりするコミケ作品なわけですよ(笑)。中学生には刺激の強い絵でした。そのころ私、痛いくらいに蔵馬さんが好きだったので「こんな蔵馬さん見たくない！」と泣き叫びましたね。連れて行ってくれた子が書いた小説にも、飛影と蔵馬さんのボーイズラブが描か

れていました(笑)。だけどみんな中学生ですよ。処女のくせにもの凄いエロティックな描写ですから(笑)。学校に絵がうまかつた友だちがいて、その子に蔵馬さんの絵を色紙に書いてもらつて千円払つた記憶があります(笑)。フアンロード(※11)とかに投稿して、いつもハガキが載る常連でした。彼女が結構濃い人たちと一緒にいたんですよ、今思えば。

ダサイイコールダメの価値観

——高校に入り、演劇部に入部するんですよ。どこかで興味はあつたんですよ。きつと。ただ、何かのお芝居や映画を観て、感動して志したということはないんです。自己顕示欲じゃないけど、自分を見て欲しいという気持ちの塊だった。だけどいざやるとなるとすごく羞恥心を抱いて、出たくないふりをしてしまつたり、一歩引いてる感じになつたり。どっちつかずの態度をとるわけですよ。出たいんだか出たくないんだか、って感じだった。出ちゃうとダサイと思つてたんですよ。まあ、相当にナルシストです。カッコいいとは思われないけど、出たしまつとカッコ悪くなるから屈折してますね(笑)。だからなんだろう、カッコいいことやダサイことにすごく敏感でしたね。ダサイイコールダメの価値観で頭がいっぱいだった。センスいい子はセンスいい子で集まっているし。——本谷さん、オシャレだと思えますけど。高校では、そんなに自分のセンスがよくないという引け目を感じていましたね。ニキビもあつたし、服のセンスにも自信がなかった。洋服は好きですけ

——高校に入り、演劇部に入部するんですよ。どこかで興味はあつたんですよ。きつと。ただ、何かのお芝居や映画を観て、感動して志したということはないんです。自己顕示欲じゃないけど、自分を見て欲しいという気持ちの塊だった。だけどいざやるとなるとすごく羞恥心を抱いて、出たくないふりをしてしまつたり、一歩引いてる感じになつたり。どっちつかずの態度をとるわけですよ。出たいんだか出たくないんだか、って感じだった。出ちゃうとダサイと思つてたんですよ。まあ、相当にナルシストです。カッコいいとは思われないけど、出たしまつとカッコ悪くなるから屈折してますね(笑)。だからなんだろう、カッコいいことやダサイことにすごく敏感でしたね。ダサイイコールダメの価値観で頭がいっぱいだった。センスいい子はセンスいい子で集まっているし。——本谷さん、オシャレだと思えますけど。高校では、そんなに自分のセンスがよくないという引け目を感じていましたね。ニキビもあつたし、服のセンスにも自信がなかった。洋服は好きですけ

——東京でお芝居を始めるきっかけは何だったのですか？
演劇部の先輩だった森尾舞(※13)さんが俳優座(※14)に受かつていたので、そういう道があることを知つて。そういう影響は受けたんですけど、演劇

部の仲間の同級生3人で「東京で芝居をやるう」と話し合つて決めたんです。ENBUゼミを知つたのも「こういう学校ができるらしいよ」って、森尾さんに教えてもらったのがきっかけです。高校3年のときいろんな劇団の養成所とかを見てまわつて、私が入りたい劇団がなく、森尾さんに相談したんですよ。それで教えてもらつて、「たぶんだけど、本谷は小劇場場だ思うよ」って。そのときの私、何もわかんないから、ああ、私、小劇場なんだって。周りの人も「お前は小劇場くさい」っていうから(笑)。今思うと当たつてたんですね。当時は俳優座、青年座(※15)、文学座(※16)くらいしかないと思っていたから。——1年を過ごしたENBUゼミ、松尾スズキ(※17)さんのクラスの同期にはノゾエ征爾(※18)さんなど今も演劇界で活躍している方がたくさんいらっしゃいますね。やつぱり、とても濃密な1年ではあつたなと思いますね。演劇の基礎とか、そういうことに触れた機会でした。役者の学校なのに、結局役者をやつていないし。演じる能力がないことを悟つて、役者を辞めることにした1年でした。やつぱり、人前に立つときにどう見せるかという雑念に囚われて、本質的に演技体にならない私は役者をやるタイプじゃないなど。雑念ありきの芝居で面白くする方法はないこともないと思いますけど。

人に恵まれる才能

——結成から9年。1回限りのつもりで始めたという劇団が、こまで続いた理由を自己分析

如月小春(※12)きさらぎに生る。56年、00年、劇作家・演出家・ラセイス。83年に劇団「NOISE」を立ち上げ、「DOLL」『MORAL』などを上演。野田高梧や渡辺り子・現・渡辺り子らとともに80年代演劇を牽引した。00年12月、くも膜下出血のため44歳で逝去。

森尾舞(※13)もりおま。78年生まれ。石川県出身。俳優座所属。劇団公演では三文オペラ・フュー・タミナル・ケなどに出演。05年11月から文化庁新進芸術家海外派遣制度でベルリンへ留学。04年の「新抜けども」悲しみの愛を見せ、「再演」で主人公の遺囑を好演した。

俳優座(※14)日本を代表する新劇系劇団のひとつ。44年に青山杉作・小沢太朗・千田是也を中心に結成された。加藤剛や栗原小巻らが所属している。

青年座(※15)54年、俳優座劇団員だった土方弘・氏家慎子・山岡久乃・東恵美子、森塚敏らが結成。津嘉山正種・高畑淳子らが在籍。西田敏行や竹中直人・鈴木浩介もかつて所属していた。

文学座(※16)俳優座、民藝とともに三大新劇団とも称される。37年、岸田國士・久保田万太郎・若田龍雄の発起で結成。現在は加藤武や小林勝也・江守徹・今井朋彦・内野聖陽らが在籍している。

松尾スズキ(※17)まつおすずき。62年生まれ。福岡県出身。劇団「大木計画」主宰。本谷さんはENBUゼミで松尾クラスに入り、演劇を学ぶが、いわば師匠のような存在だが最近さやく仕事でも二階であるの余裕が生まれました(本谷さん)。

ノゾエ征爾(※18)のぞえせいじ。75年生まれ。岡山県出身。劇団「はぎわら」主宰。本谷さんはENBUゼミで松尾クラスに入り、演劇を学ぶが、いわば師匠のような存在だが最近さやく仕事でも二階であるの余裕が生まれました(本谷さん)。

大隅の塔(※19)70年に大阪で開催された日本万国博覧会(大阪万博)の会場に、岡本太郎が制作したエニメント。テーマ館のシンボルとして建造され、万博終了後も引き継ぎ万博記念公園に現存している。塔の高さは65メートル。底の直径は20メートル。頂の直径は12メートル。

夏休み♪ うたのワークショップ

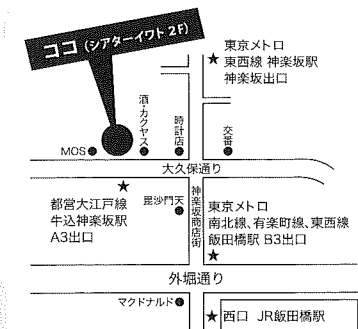


期間 8/12(水)~16(日)
受講料 35,000円
時間 10:00~16:00
楽しくてのびる場合もあります
締切 8/7(金)

大好きなうたにはあなたの物語がある
知らないうたからは物語が生まれる

歌好き、芝居好き、カラオケ好き、大歓迎!!
年齢や経験を問いません、広く一般からの
ご応募お待ちしております。
あなたの大好きなうたとそのエピソードを教え
てください。それをもとに歌芝居を作ります。
課題曲に林光さん、武満徹さん、谷川俊太郎
さんの作品を歌います。
発声や歌の稽古、芝居作りのワークショップを
通して、最終日にはひとつの作品として発表し
ます。発表のあと打ち上げ(16時以降)があります。

◆住友郁治(ピアニスト)
◆斎藤晴彦(俳優:黒テント)
◆黒テント劇団員
宮崎恵治、坂口瑞穂、平田三奈子、伊達由佳里



お申し込み方法

所定申込み用紙に記入の上、歌の楽譜とテープまたは
MD(あればカラオケのもの)、80円切手を同封して郵送
してください。定員になり次第締め切らせていただきます。

※申し込み用紙は郵送、電話、HPなどでご請求下さい。

お問合せ:黒テント「夏休みうたのワークショップ」係
電話:03-5225-3634 メール:btt@tokyo.email.ne.jp
住所:〒162-0832 新宿区岩戸町7番地
HP: www.ne.jp/asahi/kurotent/tokyo/

黒テント
アクターズワークショップ



本谷有希子

もとやゆきこ 79年生まれ、石川県出身。「劇団、本谷有希子」主宰。劇作
家、演出家、小説家。高校卒業後、ENBUゼミナールの1期生として入学し、
松尾スズキクラスで学ぶ。卒業公演のENBUラボ 松尾スズキクラス「大丈夫!
僕もモダから」のオムニバス公演のひとつ「Future is...」の脚本を担当し、
出演する。また、大人計画「ふくすけ」、宮沢章夫監督「alt.4」、ウレ
ッヂプロデュース「1989」に出演。庵野秀明監督のアニメ「彼氏彼女の事
情」に沢田亜弥役の声優として参加した。00年9月、「劇団、本谷有希子」
を旗揚げ。第1回公演はのちに再演、映画化もされる「肺抜けけども、悲しみの
愛を見せろ」。以来、全公演で作・演出を手掛ける。また、作家活動のほか
05年から1年間、ニッポン放送「本谷有希子のオールナイトニッポン」パーソ
ナリティを務め、知名度は全国区となった。07年は、『遭難、』で第10回鶴屋
南北戯曲賞を最年少で受賞。また、小説家としても活動し、02年に「江利子
と絶対」でデビュー。「肺抜けけども、悲しみの愛を見せろ」、戯曲『遭難、』が
三島賞候補、『生きてるだけで、愛。』(新潮社)が芥川賞候補にノミネートさ
れた。09年には「幸せ最高ありがとマジで!」で第53回岸田國士戯曲賞を
受賞した。

http://www.motoyayukiko.org/

「チャラヤバオモイ」演劇を 模索中(笑)

「『来来来来』で目標としていることを教
えてください。」

海外に行った目的にもよるだろうけ
ど、何気なく聞かれたのだったら劇作
家ですかね。海外では小説家よりも
劇作家のステータスが高い気がするか
ら。わかんないけど(笑)。日本だつた
ら、劇団主宰者ってことでしょうか。

ノは凄いという気持ちがあつて……私
アイドルも好きですけど、ビルボード
チャートとか、そういうことを面白がれ
る演劇人はそういないだろうと思うし
で、内容がぶっ飛んでいるような、チャ
ラくてヤバくてオモイ、「チャラヤバオモ
イ」演劇をしようかなーと……。模索
中です。

——来年、劇団は10周年。7月で30代に突入す
る(※26)本谷さんですが、演劇を続けていくう
えで、これからのスタイルは変えずにいくのです
か?

原案をいただいて脚本にしたり、脚
本提供したりと、いろいろなことをやっ
たけど、ある程度時間をおいて考える
と基本的に自分のホンは自分で演出し
たいという気持ちは強いかもしれない
です。私の感じる切実さ、みたいなも
のを書いていて、すごく微妙なニュア
ンスがやりたかったりする。スタイルを
変えるかはわからないですけど、書くとい
うことはやめないと思いますね、きっと。

——前回、劇団公演「偏路」(※23)は初のホー
ムドラマというキャッチコピーがありました。本
谷さんの劇は「肺抜けけども、悲しみの愛を見せ
ろ」(※24)も、家族や家庭をメインに
描いていますね。

新作もそれという家族の話ではあ
るんですけど、りょうさんが嫁いだの
は東北の魅惑的場所、新婚なのにダンナ
に逃げられ、姑や兄嫁と暮らすって
いう設定です。でも、率先して家族を書
くというよりは、社会派のモノを全然
意識していないからという方が分か
りやすいかな。戦争とか歴史、大所高所
の芝居はつけないし。それで、自分
が強くシンパシーを覚えるような状況

自分が強くシンパシーを 覚える状況を自分なりの 言葉にしている感覚

——本谷さんには小説家の顔もあり、まさに書
く日々だと思うんですけど。

小説の方が、かける時間は長い。台
本はナマモノだから、できるだけ短い時
間で書いた方がライブ感が出ると思う
ので。別に意識しているわけでもない
ですが、小説と戯曲で大別するとそん
な感じかなあ。ただ、気持ちがあるま
では時間がかかる。どうにも長時間は
集中できないです。

——そもそも書くことに強い欲求があるタイプ
ですか?

うーん(しばし沈黙)。どうしても
書かなきゃ自分が保たれないみたいな
感覚はないです。分りにくいかもしれ
ないけど、自分の声の温度を気にし
ながら書いています。固定観念
から逃れて、理屈じゃなくどうい
う言葉で書くのかってところに集中
していますから。自分だったらこうい
う言い回しをするとか、そこら辺にワ
クワク感をもちながらやっている。何
か、ワ

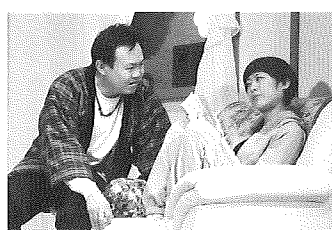
書きたくねえなあと 思うことも大切

——本谷さんには小説家の顔もあり、まさに書
く日々だと思うんですけど。

——書きたくねえなあと
思う。そう言いながらも書いているん
ですけど。基本的に、書きたくねえと
か言いながら書くくらいが好き。ワ
クワクしてる状態とは違った意味で。夫
婦じゃないですけどね、グチを言いつ
つ書いているくらいがちょうどいいの
です。「これが書きたいんです!」って気
分よりも、そっちの方が書くことに対
して情があるような気がします。別れ
れない(笑)。筆が進まない日はいつか
ツケがまわるぞ!」と思いながら、明日の
私に頑張れという気分を書くのはやめ
ます(笑)。

——書きたくねえなあと
思う。そう言いながらも書いているん
ですけど。基本的に、書きたくねえと
か言いながら書くくらいが好き。ワ
クワクしてる状態とは違った意味で。夫
婦じゃないですけどね、グチを言いつ
つ書いているくらいがちょうどいいの
です。「これが書きたいんです!」って気
分よりも、そっちの方が書くことに対
して情があるような気がします。別れ
れない(笑)。筆が進まない日はいつか
ツケがまわるぞ!」と思いながら、明日の
私に頑張れという気分を書くのはやめ
ます(笑)。

——書きたくねえなあと
思う。そう言いながらも書いているん
ですけど。基本的に、書きたくねえと
か言いながら書くくらいが好き。ワ
クワクしてる状態とは違った意味で。夫
婦じゃないですけどね、グチを言いつ
つ書いているくらいがちょうどいいの
です。「これが書きたいんです!」って気
分よりも、そっちの方が書くことに対
して情があるような気がします。別れ
れない(笑)。筆が進まない日はいつか
ツケがまわるぞ!」と思いながら、明日の
私に頑張れという気分を書くのはやめ
ます(笑)。



永作さん(※20)「永作博美
なごさくひろみ」70年生まれ、茨城県出身。アイドルニッ
ト r i b b o n を経て、女優活動を開始。映画「ドラマ
のほら、舞台出演にも積極的。『北北北』(※21)「恋愛戯曲」
「LAST SHOW」などに出演。映画「肺抜けけども、悲
しみの愛を見せろ」では和合将子役を演じた。

吉本ちゃん(※21)「吉本菜穂子
よしもとちゃん」77年生まれ、埼玉県出身。早稲田大学在
学中から芝居を始め、劇団「ヤリテ」企画の旗揚げに参
加。退団後はフリーとなり、劇団「本谷有希子」第7回公演
「石川隼雄参事」以来、全公演に参加する。事業上の「劇団
員」的存在。オフビートの声とミミカルな演技で各方面から
出演オファーの絶えない人気女優。

「偏路」(※23)

劇団「本谷有希子」第13回公演。07年12月14、23日◎紀伊
國屋ホール。出演は近藤正、馬淵英博、加藤路はか。

「砂利」(※24)

劇団「ダンブエ」に書き下ろした初の外部脚本提供作
品。07年7月6、31日◎スパイラルホール。出演は坂
東三津五郎、田中美里、片桐はいり、近藤芳正ほか。

ラジオ(※25)
05年1月より06年3月までパーソナリティを務めた「本谷
有希子のオールナイトニッポン」。下ネタ連発でリナーに衝
撃を与えたとともに、本谷有希子の名を全国区に押し上げ
た記念碑的番組。「本谷有希子のヤレな日本語講座」など、
深夜向けの企画多数。番組復活を望む声もあちら。

7月で30代に突入(※26)

本誌発売の直後、7月14日で30歳の誕生日を迎える本
谷さん。



【公演情報】
劇団「本谷有希子」第14回公演
『来来来来』
作・演出◎本谷有希子
出演◎りょう 佐津川愛美 松永玲子
羽鳥名美子 吉本菜穂子 木野花
7/31~8/16◎本多劇場
8/18◎【新潟公演】リョーとぴあ
(新潟市民芸術文化会館)劇場
8/21-22◎【大阪公演】サンケイホール
ブリーゼ、8/25◎【北九州公演】北九
州芸術劇場 中劇場



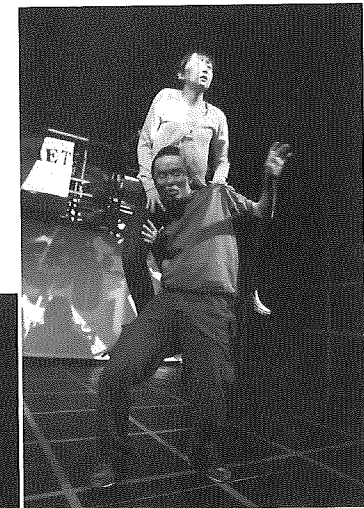
篠田千明

しのだちは○82年生まれ、東京都出身。多摩美術大学在学中の04年「小指値」旗揚げに参加。08年に劇団名を「快快」と改めた。小指値・快快公演においては、主に演出、脚本を担当している。快快では演劇公演のみならず、ダンス、映像、パーティー、イベントなどの企画も手がけている。

次回予定◎快快 ヨーロッパツアー「My name is I LOVE YOU」8月◎ハンガリー、オランダ、スロベニア◎快快 ドイツ公演「My name is I LOVE YOU」10月◎ドイツ◎「フェスティバル」キョー09秋11～12月◎F/Tステーションにて快快イベント開催◎快快シアターラム ネクストジェネレーション vol.2 Zeller Schwarze Katz [論文編] 10年1月◎シアターラム

Q...最近気になっていることは?

A...料理ですかね。今日はじゃがいもとレモンとオリーブを使ってスープを作ったんですけど、ちょっと失敗して凹みました。あと、数学の勉強してます。できれば微積分までもう一回勉強したいです。問題集が古文書みたいに見えてびっくりします(笑)。微積分までいったら数Ⅲもやろうかな。概念がね、抽象的すぎるんですけど、数ⅢCまでいくと。高校生が使うには高度すぎますよ。



14才の頃の自分の見え方

14才の頃の自分は、「こいついつか面白いく」と思っても

じゃないかと思っただけです。

じゃなかったら面白いく

じゃなかったら面白いく

じゃなかったら面白いく

じゃなかったら面白いく

じゃなかったら面白いく

じゃなかったら面白いく

じゃなかったら面白いく

企画を立てるから6人でいろいろ決めるのは大変だったんですけど、本番に入ると逆に楽になりましたね。みんな毎日いるし、一緒にスケジュールで動いているから打ち合わせもしやすいし。もうみんな26、27なんですけど、本番期間中は学生生活ばかりだったです。公演中、制作さんがロビー企画を進めたんですが、普通に誰かが企画を立てるんじゃないかと、聞かれています。人が自ら企画を出すようになったんです。そうやって有機的になってきたときは感動しましたね。初めはたのしいロビーだったのに、デモーションする担当の子がバレルを作り始めて、ロビーに名前がついて献立できたりとかが。今回、6作品全部観たというお客さんが予想以上に多くてびっくりしました。通し券も作ってなかったのに。やっぱり若い年頃の演出家6人、というのが大きいのかなあ。キャリアも作風もバラバラだし。年齢縛りにしてよかったなと。

あとは、お話自体が、街で普通に生活していたのにあるときから人間関係が立体的になっていって、どんどん街に広がっていくというもので、3D感を出したくて。そう、ガッツと広がっていく感覚で、単一の線よりも分解してブロックにした方が立体的になるんじゃないかなと。たとえば、しゃべっている言葉と線だけで、それを分解して音になることで、そこで語られる景色とかもレミタにパラパラになる。人間の体でつくってアナログですね。それをデジタル処理しないで、アナログのままやったら面白いんじゃないかと思っただけです。

今回は、音にこだわって、立体的に演奏しているみたい

な感じでやりたいなと思って。音って、時間を進行して重ねられる面白さがある。たとえば和音だつたらドミソという3つの言葉が入って、それが同時に鳴るじゃないですか。時間を縦に、同時に繋げられるのは面白かったです。途中から楽譜を書いているような感覚になっていきま

した。

今回は、音にこだわって、立体的に演奏しているみたい

な感じでやりたいなと思って。音って、時間を進行して重ねられる面白さがある。たとえば和音だつたらドミソという3つの言葉が入って、それが同時に鳴るじゃないですか。時間を縦に、同時に繋げられるのは面白かったです。途中から楽譜を書いているような感覚になっていきま

有機的に面白いく面白さ

企画を立てるから6人でいろいろ決めるのは大変だったんですけど、本番に入ると逆に楽になりましたね。みんな毎日いるし、一緒にスケジュールで動いているから打ち合わせもしやすいし。もうみんな26、27なんですけど、本番期間中は学生生活ばかりだったです。公演中、制作さんがロビー企画を進めたんですが、普通に誰かが企画を立てるんじゃないかと、聞かれています。人が自ら企画を出すようになったんです。そうやって有機的になってきたときは感動しましたね。初めはたのしいロビーだったのに、デモーションする担当の子がバレルを作り始めて、ロビーに名前がついて献立できたりとかが。今回、6作品全部観たというお客さんが予想以上に多くてびっくりしました。通し券も作ってなかったのに。やっぱり若い年頃の演出家6人、というのが大きいのかなあ。キャリアも作風もバラバラだし。年齢縛りにしてよかったなと。

今回は、音にこだわって、立体的に演奏しているみたい

な感じでやりたいなと思って。音って、時間を進行して重ねられる面白さがある。たとえば和音だつたらドミソという3つの言葉が入って、それが同時に鳴るじゃないですか。時間を縦に、同時に繋げられるのは面白かったです。途中から楽譜を書いているような感覚になっていきま

した。

今回は、音にこだわって、立体的に演奏しているみたい

な感じでやりたいなと思って。音って、時間を進行して重ねられる面白さがある。たとえば和音だつたらドミソという3つの言葉が入って、それが同時に鳴るじゃないですか。時間を縦に、同時に繋げられるのは面白かったです。途中から楽譜を書いているような感覚になっていきま

自分だけが面白いと思うものを作れたかった

人に伝えたいとは思わなかったんです。楽しくなかったわけじゃないんですけど、もともと女の子のトコとかにはいていないタイプだったんで、気が向いたときにクラスの子としゃべるとかという感じで。たとえば教室にいて人としゃべるとか、「あの道路の照明が綺麗だ」とか思っているとき、それをわざわざ伝えたいとは思わなくて、自分が見ている世界はただそう見えているというだけだった。そういうことを思い出して、今のタイミングで、自分が面白いと思っていることや考えていることをとりあえず出して形にしてみたいなと思ったんです。人に伝えるためにというよりも、純粹に観客を自分一人に限定してやるという

か。

今回は、音にこだわって、立体的に演奏しているみたい

な感じでやりたいなと思って。音って、時間を進行して重ねられる面白さがある。たとえば和音だつたらドミソという3つの言葉が入って、それが同時に鳴るじゃないですか。時間を縦に、同時に繋げられるのは面白かったです。途中から楽譜を書いているような感覚になっていきま

した。

今回は、音にこだわって、立体的に演奏しているみたい

楽譜を書いているような感覚で

今回は、音にこだわって、立体的に演奏しているみたい

な感じでやりたいなと思って。音って、時間を進行して重ねられる面白さがある。たとえば和音だつたらドミソという3つの言葉が入って、それが同時に鳴るじゃないですか。時間を縦に、同時に繋げられるのは面白かったです。途中から楽譜を書いているような感覚になっていきま

した。

今回は、音にこだわって、立体的に演奏しているみたい

な感じでやりたいなと思って。音って、時間を進行して重ねられる面白さがある。たとえば和音だつたらドミソという3つの言葉が入って、それが同時に鳴るじゃないですか。時間を縦に、同時に繋げられるのは面白かったです。途中から楽譜を書いているような感覚になっていきま

した。

今回は、音にこだわって、立体的に演奏しているみたい

な感じでやりたいなと思って。音って、時間を進行して重ねられる面白さがある。たとえば和音だつたらドミソという3つの言葉が入って、それが同時に鳴るじゃないですか。時間を縦に、同時に繋げられるのは面白かったです。途中から楽譜を書いているような感覚になっていきま

した。

今回は、音にこだわって、立体的に演奏しているみたい

な感じでやりたいなと思って。音って、時間を進行して重ねられる面白さがある。たとえば和音だつたらドミソという3つの言葉が入って、それが同時に鳴るじゃないですか。時間を縦に、同時に繋げられるのは面白かったです。途中から楽譜を書いているような感覚になっていきま

した。

今回は、音にこだわって、立体的に演奏しているみたい



主人公・男子1(岡部たかし)は14才。母親の一言に反抗し、気の強い不良っぽい出で出され、好きな女の子について妄想する、ごく一般的な中学2年生だ。夢はお笑い芸人になること。今日も親友と2人、いつもの場所でお茶を飲む。14才の少年と、37才になった元少年の、永遠の焦燥を一途に描いた物語。



少年B

作・演出◎柴幸男(青年団演出部) 出演◎井上みなみ 大橋友哉(喜歌芝居) 岡部たかし 玉井勝教 山田宏平(山の手事情社) 4/16～5/6◎こまばアゴラ劇場

劇作家・柴幸男。大地に立つ

若手演出家の柴幸男、篠田千明、中屋敷法仁の3名が立案し、82年生まれ5名、84年生まれ1名、計6名の演出家による連続上演企画となった「キレなかつた14才♡りたーんず」。企画タイトルは、97年に起こった神戸児童連続殺傷事件に起因しているそうだが、内容的には同世代の演出家達が自発的に巻き起こした演劇フェスティバルという意味合いが強いと思います。このページでは、若手演出家の「思ひ」をお届けするべく、「6名の演出家への連続取材」を決行。まずは、期待の若手演出家最右翼のひとり、柴幸男のインタビューから。80年代生まれの新世界、いよいよ到来です!!

この企画、改めて振り返ると? いや、いい加減な企画でした(笑)。いい加減に始めて、いい加減なまま終わったので、ある意味凄いなと。こういう企画で、どこでガッツと固まらなくて、頓挫しちゃったと思うんですけど、これに関しては「ぶっ壊れ」てしまっただけで、と終わりました。そこが面白かったし、不思議な企画でした。その中で自分は何をやろうかな? と考えた時、中学生男子の話をやろうと思ったんですよ。今回は、自分の表現衝動に正直になるという「フィルタ」を薄くして、そのまま吐き出す」ということを試してみたくて、そんなこともあり、僕らの作品には14歳の女の子に参加してもらったんですけど、いざ稽古に入ってみると、普通に上手な女優さんでした。最初は、その子が入ると、物語の意味や効果について考えたんですけど、14歳の雰囲気を出す役というより、むしろヒントを買ったりして、「みなみ、井上みなみさんを見習って下さい」とか言っていました(笑)。

自身について。戯曲について

あとこれはかなり前から言っていたことなんですけど、

い、いい加減な企画でした(笑)。いい加減に始めて、いい加減なまま終わったので、ある意味凄いなと。こういう企画で、どこでガッツと固まらなくて、頓挫しちゃったと思うんですけど、これに関しては「ぶっ壊れ」てしまっただけで、と終わりました。そこが面白かったし、不思議な企画でした。その中で自分は何をやろうかな? と考えた時、中学生男子の話をやろうと思ったんですよ。今回は、自分の表現衝動に正直になるという「フィルタ」を薄くして、そのまま吐き出す」ということを試してみたくて、そんなこともあり、僕らの作品には14歳の女の子に参加してもらったんですけど、いざ稽古に入ってみると、普通に上手な女優さんでした。最初は、その子が入ると、物語の意味や効果について考えたんですけど、14歳の雰囲気を出す役というより、むしろヒントを買ったりして、「みなみ、井上みなみさんを見習って下さい」とか言っていました(笑)。



柴幸男

しばゆきお○82年生まれ、愛知県出身。劇作家、演出家。青年団演出部所属。04年、「ドミ」にて第2回仙台劇のまち戯曲賞 大賞を受賞。07年、「反復かつ連続」にて劇王IVの四代目劇王に輝く。08年には、toi presents 3rd「あゆみ」にて1000人超の動員を記録した。現在、ENBUゼミナール2009年度春期演劇科専任講師を務めている。

次回予定◎カニクラ VOL.2(7/3&8) (作・演出) 7/15～19◎アトリエヘリコプター ◎青年団リンク ままごと「わが星」(作・演出) 10/8～12◎三鷹市芸術文化センター 星のホール ◎元祖演劇刀剣いさぎ座・龍昇企画「チャイニーズスーパ」(演出) 11月◎こまばアゴラ劇場

Q...最近気になっていることは?

A...借金か減らないこと(笑)。全然減らないんですよ。……いや、ちょっと待って下さい! それはひとこと気になるんですけど、色々言います。(考え込む)……演劇人の国民健康保険問題とか年金問題は気になりますね。みんなちゃんと払っているのかなあ? あと、超能力も気になります。次の公演(7/3&8)でテレパシーの話をやるので。あとは……地方に住んでいる人達は、演劇と聞いて何を思い浮かべるんだろう? とか、僕の作る演劇を観たらどう思うかを考えるんだろう? とか、そういう「地方の演劇環境」みたいなことにも興味があります。

柴幸男、今後の野望は?

野望ですか? (笑)。ひとつは、さきも言いましたが、力のある物語を書いて、それを演出で展開させた作品を作りたいというところ。それから、色々な土地で色々な人達と作品を作りたいというところ。最後に、自分のカンパニーを立ち上げたいところ。今年の10月に青年団リンク名義で「ままだと」というユニットを立ち上げるので、それを頑張りたいです。その3つが、今の野望……ですかね。

僕個人の物語は、もういいかもしれないですね。

そうやって、戯曲に力を入れて、演出をオソックスにして作りたいけど、今後はもう少し普遍性を持った物語に出来ないものか? と考えています。「もつと力強い物語が作りたい」という欲求が出たので、もつとと書きたいです。本日は、戯曲がもう2皮剥けて、演出で更にもう1回展開させられるような、融合させた作品が作れば良いなあと思っただけですが……はい、もつと頑張ります。

学芸会レベル

作・演出◎中屋敷法仁(柿喰う客)
出演◎伊東沙保 今村圭佑(Mrs.fictions) 萩野友里(青年団) 川口聡
川田希 大道寺梨乃(快侠) 武谷公雄 田中佑祐 永島敬三 三澤さき
4/16~5/6◎こまばアゴラ劇場



ここは平和な幼稚園。今日も今日とて、園児達の楽しげな声が聞こえてくる。そこに突然現れる謎の女。女は新米保育士に「えんちようせんせいに会わせて欲しい」と告げる。その女の正体は、とある事件をきっかけに幼稚園を追放された、最強の保育士ことみゆきせんせい(伊東沙保)その人であった! 自分の居場所はここだけ。と現場復帰を望みゆきせんせいに、えんちようせんせい(川田希)が出した条件はふたつ。ひとつは「給料はゼロ」、そしてもうひとつは「学芸会には二度と手を出さないこと」。みゆきせんせいが起こした事件とは、どうやら学芸会に關係しているらしい。苦渋の決断(特に学芸会の方)で、その条件を飲み、みごと現場復帰を果たすみゆきせんせいだったが、園児の中にひとり、「学芸会」を必要としている子供がおり……。果たして、みゆきせんせいは、禁断の「学芸会」を復活させてしまうのか? そして、子供達の運命は!?



学芸会と共に生き

この6名の演出家の中で、唯一の84年生まれ。現在25歳の中屋敷法仁は、自他共に認める「学芸会フリーク」です!……というか、そもそも学芸会フリークという言葉自体、滅多に耳にする単語ではないですが、ハイテンション&フルパワーで魅せる中屋敷演劇の根幹は、「物心がついた時からずっとやっている」と語る、学芸会にあるのかも知れません。

この企画を振り返って

全体的なことを言えば、参加したみんなの視野が、ただただ広がった企画なんじゃないかと思っています。お客さんにも何か与えられたと思うけど、実は6人の演出家や参加した俳優達が、一番得をした企画なのではないかと。学園祭って、お客さんより実行委員会の方が利益を得やすいと思うんですけど、今回はそういう感じじゃないかな。だから、今振り返ってみても、幸せな思い出が浮かんでこない。この企画は、自分のカンパニーから離れた出来のので、とにかくやりたいようにやってみようと思ったんです。で、色々考えた末、「好きな人と幸せな時間を過ごしたい、もっと仲良くなりたい。そして、劇場に来るお客様と温かい時間を過ごしたい」という気持ちを最優先することにした。

素敵な細胞を見せられれば

で、実際に「そういう時間を作ってみよう」ということになり、みんなで鍋をやったりお酒を飲んだり、稽古中も楽しい時間を作ることになった。稽古中も楽しい作品自体も学芸会モノにして、お歌を歌ったり手拍子をしたり、人間の細胞が喜ぶような作戦を多く使って、俳優さんの身体が活き活きすればいい、みんなの素敵な笑顔……というか、みんなの素敵な細胞が見せられればいい、という感じで作っていました。

学芸会のこと、野望のこと

僕は物心がついた時からずっと学芸会

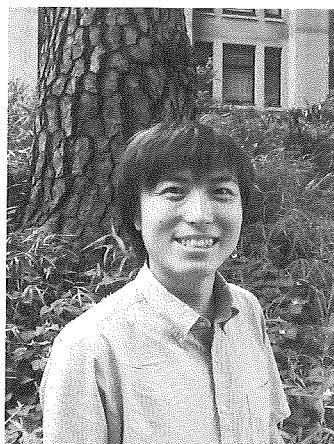
中屋敷法仁

なかやしきのりひと◎84年生まれ、青森県出身。演出家、劇作家。劇団「柿喰う客」主宰。高校在学中に発表した「悪作マクベス」にて、第49回全国高等学校演劇大会 最優秀創作脚本賞を受賞。大学在学中の04年に「柿喰う客」として活動を始める。劇団の代表作「恋人としては無理」で、08年にはフランス公演、09年には国内5都市を回る国内ツアーを行うなど、積極的に活動している。

次回予定◎柿喰う客 第15回公演「悪趣味」9/4~13◎シアターラム

Q...最近気になっていることは?

A...「貧困って、実は幸せなんじゃないか?」ということが気になっています。最近、大学生やサラリーマンの間で、お弁当好きな人が増えてるんですけど、みんなお金がないから、お弁当を作る人が増えてる。お金がないから、外食せず家に帰って食事を済ませる。それって、すごく幸せなんじゃないか?と思うんです。「貧困だけだと生きていこう」という方が、「モノが溢れすぎて生き方が分からない」というより良い状態なんじゃないかと。



ダンスも、ダンス以外も、何でも

主宰する団体、モモンガコンプレックスを「ダンス・パフォーマンス的グループ」と呼ぶ白神ももこ。その言葉通り、自らのスタイルをフキシルに捉えているのが特徴的だが、この公演でその意識が更に膨らんだという。今、彼女の自由な感性がダンスも含めたあらゆる「オモシロ」を、貪欲に吸収しようとしている——。やはり、今後も目が離せない存在だと思います、白神ももこは。

ダンスにこだわらず

今回は企画モノだということもあり、普段やらないこととかちょっとやってみたかったことを、やりたい放題やらせてもらった感があります。オーディションの段階から、演劇の俳優さんが多く参加することは分かっていたので、あまり「ダンスがどうだ」ということにこだわらず、ダンスというツールは使っただけで、ダンスに限らず面白いと思ったことをやろう!と考えていました。それに限らず、やれたかなあと感じています。

イメージしたのは、ふわふわの妖精

最初「自分が14歳の頃はどうか?」ということと、画用紙にメモしながら思い返してみただけで、ぱっと浮かんだのが「ふわふわ」ということ(笑)。なんか、普通だったな!って、尖つてもいなければ登校拒否もない、ほんととも考えてない14歳だったんです。で、そういうことで、意外と先生からあまり覚えてもらえなかったりするじゃないですか。むしろちょっと問題あるくらいの子の方が愛されたりして、そういう「相手」にされた感、透明感「みんないいことを考えた時、私は透明というより、ふわふわだったんじゃないか?」や



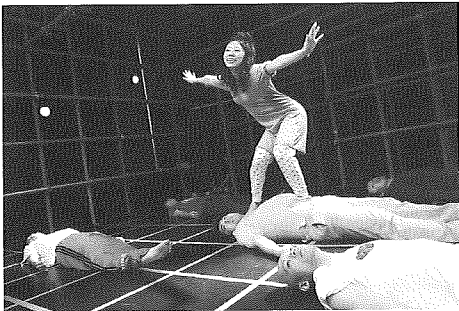
白神ももこ

しらがももこ◎82年生まれ、東京都出身。ダンサー、振付家。モモンガコンプレックス主宰。桜美林大学在学中に、ダンスパフォーマンス的グループ「モモンガコンプレックス」を結成。その独特の振付センスに注目の人は多い。現在は、キラリ☆ふじみのレジデンスカンパニーとして活動している。

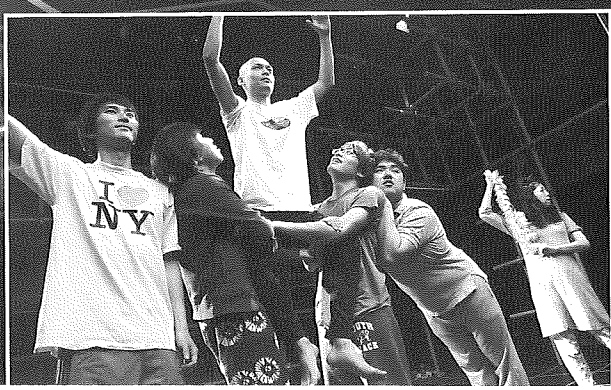
次回予定◎モモンガコンプレックス×キラリ☆ふじみ 劇場探検ツアー「わくわく☆探検記」8/29◎キラリ☆ふじみ ◎モモンガコンプレックス本公演「タイトル未定」10年2月◎キラリ☆ふじみ ◎「神(仮)」◎「神里雄大(岡崎藝術座)×白神ももこ(モモンガコンプレックス)の新ユニット」第1回公演「輝け、人間!」(仮)」10年春◎アトリエ春風舎

Q...最近気になっていることは?

A...「自分の今後」が一番気になります。どうしよう?みたいな(笑)。あたし、大学でマネージメントを勉強した割には、そこらへんの悩みが手を使えないんです。webとかの技術もないし。まあ、出来ないことは出来ませんって気持ち持ちは元々あるんですけど、自分に出来ないことが多い分、出来る人ともっと出会って、共有させていきたいです。……まあ、他力な感じですが(笑)。



白神ももこ、振付、構成、演出によるダンス公演。出演者たちがふらりと現れると、各々がばらばらの動きで揺れ始める。それぞれが自己アピールをしているかのような、でも、勝手に振る舞っているだけのような、そんな空間が繰り広げられる。しばらくすると、そのばらばらだった動きが、小さな固まりとして集まりはじめ、徐々にダイナミックな流れが生まれていき――。



振付・構成・演出◎白神ももこ(モモンガコンプレックス)
出演◎川崎寄織 池田義太郎 石松太一 重岡漢 清水嘉邦(SpaceNoid) 千田英史(Rotten Romance)
4/16~5/6◎こまばアゴラ劇場

すごくない

演出に繋がっていったりもしました。

僕は入だけ京都から出てきて、俳優さんもスタッフさんも初めての方はかりだたんですが、みんな僕のやりたいことにきちんと対応してくれて、今回、本番が始まってからも演出をどんどん変えていたんです。初日と楽日では別物みえたりなんていて、でも誰も文句も言わず、みんなでデイスカッションしながら作品作りができたんです。6ステージ全部やってやっと「14歳の国」をやり切ったという感じで、毎回ドラマがありましたね。



1997年、とある中学校では、先生たちが生徒たちに無断で持ち物検査をしているが、無駄話ばかり聞いてなかなか進まず、先生同士の対立も浮かび上がってゆく。そうこうするうちに、生徒の靴や机の中から、様々なものが見つかる。「自分史」が書かれたノート、なにも入っていない靴、刑法をコピーした紙……。やがて、ある生徒の持ち物のなかからナイフが見つかる。ナイフを手にした若手教師・アキラ(山崎暲司)は、思いがけない行動に出る――。

1997年とある中学校では、先生たちが生徒たちに無断で持ち物検査をしているが、無駄話ばかり聞いてなかなか進まず、先生同士の対立も浮き上がりかねている。そうこうするうちに、生徒の靴や机の中から、様々なものが見つかる。「自分史」が書かれたノート、中には入っていない靴、刑法をコピーした紙……やがて、ある生徒の持ち物のなかからナイフが見つかる。ナイフを手に入れた若手教師・アキラ(山崎皓吉)は思いつけないう行動に出る。

劇場に吸い寄せられるように
人が集まってきた

京都造形芸術大学出身で、故・太田省吾に師事した杉原邦生・イヨネスコなどの前衛劇から現代戯曲、歌舞伎、ダンスと、様々な分野の作品を手がけ、現在ではこまばアトリ劇場（サミット）のディレクターでもある。『プロファイル 見るとちよと堅いイメーজだが、「目標は紅白歌合戦とオリンピックとシルクドゥ・ソレイユとEXILEのライブの演出をすること」と大胆不敵に語る杉原は、どこから見ても今時の若者。その彼の挑発的な演出が大きな反響を巻き起こした「14歳の国」は、6作品中一番の問題作であるとも言える。

自分にとっての「14歳の国」

件」『14歳の国』になるんじゃないかと、簡単なノリで「14歳の国」をやろうと決めた。最初に何度か脚本を読んだときは、宮沢さんが描いている「14歳の国」というのはもちろん普遍的な14歳というのもあるけれど、明らかにその当時14歳だった僕らの世代のことが書かれてから、共感できると思ったんです。でも実際稽古に入ってから細かく見ていくと、まったく共感できない自分がでて。たとえば僕はバタフライナイフなんて持ち歩いてなかったし、酒鬼薔薇聖事件が起きたときに衝撃は受けたけど、ここに描かれているような14歳で僕はなかったなと思って。宮沢さんの「14歳の国」も、僕にとっては一種のメディアではないかと思えてきたんですよ。

様々な刺激を受けた場

企画を振り返ると、ほんとにお祭り騒ぎでしたね(笑)。
なか毎日、気づいたら電車に乗ってアヲに向かっているみたいな感じでした。稽古だけの日はかの人の作品を観たり、なにもなくてロビーに居るだけの日もありました。なんだからあの劇場自体に吸い寄せられるような人が集まってきたていました。お客さんから直接作品の感想を聞いたりしたのもよかったです。僕の作品を観て泣いた人がいたり、怒って帰ったという人がいたり。そんないろんな反応が起っていたこと自体も僕は面白くて。

あとはやはり6人の同世代の演出家が同じ空間を
使って全然違う作品を作るというはずだし、刺激になりま
すよね。ほんとにみんな方向性がバラバラです。あやうば
りみたいなでも面白いくちやってくるヤラって結構いいな
ど。関西で活動していただけたと絶対に得られない刺激を
得たんだというか、とにかく、僕的にはほんとにいいとい
い経験させていただきました。

14歳の国

結果的に自分が一番楽しんでた

主宰する劇団「岡崎藝術座」では、演劇という枠組みからはみ出した、なにが起きているか予想できない驚きに満ちた刺激的な舞台を作り出している神里雄大。上演中に突然観客を外へ誘導したりと、劇場から飛び出すこともしばしば。今回の「グアフー」時間がつばいでは自らの出自に真摯に向き合った。私的な経歴を、演劇という道具を目の目標使って、「コミュニケーション」に対する普遍的な問いと広げてみせた神里。最初は今回の企画に対してやや距離を置いていたという彼だが、実際やってみてどんな発見があったのだろう。

次第に親近感が沸いて

今回の企画に誘われるらしいということは、ある知り合いから事前に聞いてまして。最初は「そんな仲良し企画に参加したらつまるか」と思ってたんです。でも「これはぜひ断ろうと思っただ」と制作に相談したら、「受けた方がいいでしょう」と言われまして、僕よりも明らかに企画者の3人のほうが知名度があるので、そういうところに乗った方がいだろうと。そう言われるとそれこそうただいという気がしてきて、実際に連絡が来たときにはほぼ即答でやります」と。

企画のテーマは、酒乱薔薇事件がまるるんですが、自分のなかでどうやってもるんのか、切り口がなかなか見つからず先を変えたときに、あの当時、僕に件よりも大事なことがあった。その話になっていったんです。自分の生気しないようにしていただくと気になすかと思いついて、自分が南米で生活してかなと。

観た人からは「伝的な内容だね」とは、やっぱり恥ずかしさもあるもので、全ではないんです。素直に自分をさらけ出す男が過去を回想してひたすらしゃべる部分は自分で観ていて結構恥ずかしさ観客のことを念頭に置く

今回は作品を誰に見せたいかというました。南米に住む日系の方に特に観

観客のことを念頭に置く

なかを決めるときにリーダーがいなかったり、企画者とゲストの枠もほとんどなくて。どうも演出家6人が勝手に盛り上げられてるだけなんじゃないかと、なとなく引かかってましたね。オーディションも、始まるまではほかの5人と意見が食い違ったりしてました。でも実際やってみると、役者に対してバランスよく6人の指示が飛んで、連帯感を覚えましたね。同じ年くらいで同じ演出家という立場ということで親近感が沸いたりとかもありませんでした。全体を通して、よくよく考えてみると結果的に今回一番楽しんだのは僕なんじゃないかと思えますね(笑)。

観た人からは「自伝的な内容だね」と言われるんですけど、やっぱり恥ずかしさもあるので、全部が自伝的なわけではななんです。素直に自分をさらけ出した部分は、前半、男が過去を回想してひたすらしゃべるところですね。その部分は自分で観ていて結構恥ずかしかったです(笑)。

観客のことを念頭に置く

今回は作品を誰に見せたいかということを意識して作りました。南米に住む日系の方に特に観してほしいなど、今回の企画のおかげで、人の作品を観る面白さがわかつたんです。普段はあまり好んで人の芝居を観に行ったりはしないんですけど、今回は公演期間中にほかの人の作品を結構積極的に、しかも複数回観ることができて、いろいろ刺激になったし、自分の作品作りへの反省も生まれました。たとえば、自分はあまりにもいろんなことを俳優に任せてすぎているなとか、もつとできることがいっぱいあるはずなのに怠けているなとかで、演出家としてではなく、単に「観客として観る」ことができた作品もあって、ただ面白く作品を作るというだけではなく、それが観る人にどう作用するかということが大切だなと。稽古場でも観客のことをもつと考えるようになるというふうに思いましたね。

神里雄大

かみさとゆうだい○82年生まれ、ペルー共和国リマ市生まれ。03年に岡崎藝術座を旗揚げ。主宰として全公演の演出を手がけるほか、一部の公演では脚本も担当している。06年、第7回利賀演出家コンクール最優秀演出家賞を最年少で受賞。

次回予定◎青年団若手自主企画 vol.42「昏睡」(演出)
8/17～26◎アトリエ春風舎◎岡崎藝術座「ヘアカットさん
(仮)」(作・演出)10/16～25◎こまばアゴラ劇場◎神里雄
大×白神ももこ新ユニット「神」(仮)第一回公演「勤け、人間
(仮)」10年4・5月◎アトリエ春風舎

Q...最近気になっていることは？

A... 今バイトしてるんですけど、いつ辞めようかな
 ということ(笑)。開業医のホームページを作ってるん
 ですけど、バイト先が最近新宿から浜松町に移転し
 て、遠い。あと、対人関係とかもいろいろ……。でも
 いい仕事場なんで、辞めてもいいものなのかどうかう
 しょうもないですね(笑)。

グアラニー 時間がいっぱい

作・演出◇神里雄大(岡崎藝術座) 出演◇杉山圭一(北区つかこうへい劇団) 菊島かずは 高須賀千江子 宇田川千
珠子(青年団) 上田遙 坂倉奈津子 寺田千晶
4/16～5/6◎こまばアゴラ劇場

ENBUゼミナール サマースクール開講

2009年8月
短期集中

8月のひと月間、初心者の方から経験者まで幅広い方を対象とした様々な短期集中ワークショップを開催します。
一度、チャレンジしたいと思っていた「俳優」や「映像作家」、「脚本家」への第一歩を踏み出してみませんか？
第一線で活躍中の映画監督や演出家、脚本家などから直接指導を受けるチャンスです。

演出家とじっくり向き合い、直接指導を受けよう！

【演劇ワークショップ】

福原充則 講座

全6回・18時間

「発想や価値観の幅の広げ方」や「自分の魅力の使い切り方」をテーマに天才じゃなくても舞台上で輝ける方法を探ります。

日程 8月13日(木)～15日(土)、24日(月)、26日(水)、28日(金)
すべて19:00～22:00

講師



福原充則 [ピチチ5]

ふくらはみつのり●脚本家、演出家。02年に「劇団ピチチ5」旗揚げ。様々な仕掛けで展開する舞台は、多くの観客を魅了する。劇団の他にもTVやラジオドラマの脚本を執筆。09年2月には宮崎あおい主演の舞台「その夜明け、嘘。」を手がけ話題に。

【演劇ワークショップ】

三浦大輔 講座

全6回・18時間

ボツドールの過去の上演台本を使って、「リアルなコミュニケーション」とは何かを考え、実際どのように舞台作品にしていけるか体験してもらいます。

日程 8月17日(月)～19日(水)、21日(金)～23日(日)
すべて19:00～22:00

講師



三浦大輔 [ボツドール]

みうらだいすけ●脚本家、演出家。96年に演劇ユニット、ボツドールを結成。「リアル」を徹底的に追求した舞台作品は常に観るものに衝撃を与え続ける。来春には初監督作品となる「ボーイズ・オン・ザ・ラン」(原作:花沢健吾/主演:塚田和伸 (銀杏BOYZ))が公開予定。

【演劇ワークショップ】

きだつよし 講座

全6回・18時間

芝居における「コミュニケーション方法」を学び、コミュニケーションに必要な柔らかい頭と身体を作るトレーニングを実践します。
(※過去にきだつよし氏によるサマースクールを受講された方は今回受講できません事をご承ください。)

日程 8月18日(火)～23日(日)、すべて19:00～22:00

講師



きだつよし

きだつよし●劇作家、演出家、俳優として各メディアで活躍中。嵐の大野智主演、「風(フー)」シリーズ「アマツカゼ」(作・演出・出演)他、様々なプロデュース公演を手がけており活動の場を広げている。

俳優としての 基礎技術を 身につけよう！

演技基礎 講座

全6回・18時間

俳優トレーナーの指導のもと、俳優としての自分自身の魅力や、売りとなる要素に気づき、「表現の引き出し」を増やす術を学びます。

日程 8月5日(水)～7日(金)、10日(月)～12日(水)
すべて19:00～22:00

講師



横山仁一 [東京オレンジ]

よこやまみかず●舞台演出家、俳優トレーナー、東京オレンジ主宰。原田、高橋洋と劇団東京オレンジを結成。自らの俳優経験と元々理論化された方法で、職業俳優としての価値ある「自分らしさ」の獲得を目指す。

楽しく踊って 身体の動きを 学ぼう！

珍しい キノコ ダンス講座

全6回・18時間

「身体の会話」(聞く+話す)をテーマに、自分の身体を観察します。初めての方も、身体を動かしながらダンスの楽しさを実感できる、人気の講座です。

日程 8月3日(月)～8日(土)、すべて14:30～17:30

講師



伊藤千枝

[珍しいキノコ舞踊団]

いとうちえ●振付家、演出家、ダンサー。珍しいキノコ舞踊団主宰。作品、発表の他、映画、映像作品、演劇への振付、出演等その活動は多岐にわたる。03年～04年NHK教育「ドレミノテレビ」、07年映画「めがね」(森上直子監督)、UA「黄金の線」等の振付を担当。

※講座内容、日程等は都合により変更となる場合がございます。予めご了承ください。

舞台に立つ! 映画に出る! 映画監督になる!

ENBUゼミナール

ENBUゼミナールは、俳優、映画監督を目指す方のためのスクールです。

「演劇ぶっく」や「ピクトアップ」といった、演劇や映画に関する雑誌づくりの中から学んだ経験とネットワークをもとに1998年に設立いたしました。演劇・映像業界の最前線で活躍する演出家や映画監督、プロデューサー達が講師をつとめています。現役、かつ第一線で活躍する講師陣の豊富な経験談や生きた知識、ノウハウを直接吸収できることが、ENBUゼミナールで学ぶ最大のメリットです。

〒164-0012

東京都中野区本町2-28-11-2F

URL <http://www.enbu.co.jp/zemi/>

MAIL zemi_info@enbu.co.jp

TEL 03-5358-5211 (10:00～22:00)

映画監督から プロの演出を 学ぼう!

映画監督 演出講座

全3回・18時間

「演出」について実践的に考える3日間。事前に受講生それぞれに5分程度のシナリオを書いていただき、それをもとに授業を行う予定です。

日程 8月5日(水)～7日(金)、すべて10:30～17:30

講師



山下敦弘

やましたのぶひろ●脚本家・映画監督。「リンドリンドリンド」(05年)「松ヶ根乱射事件」(06年)「天然コケッコー」(07年)などを手がけ、短編映画賞を最年少で受賞。いま最も目が離せない監督の1人。最新作は「めっちゃ怖」。

短編映画の シナリオを 書いてみよう!

シナリオ 講座

全5回・18時間

「与えられたお題にそって短いシナリオを書く」という作業の積み重ねから、脚本の構造を知りコツをつかんでいきます。

日程 8月1日(土)10:30～17:30(休憩1時間程度)、
8月8日(土)、15日(土)、22日(土)、29日(土)
8日以降は14:30～17:30

講師



高橋泉

たかはしいずみ●脚本家・映画監督。脚本作の「ある朝スウェーデン」(04年)「鼻唄」(05年)「14歳」(06年)「むすんでひらいて」(07年)に国内外が注目。最新作は2010年公開予定の宮崎あおい主演「ソラニン」。

映画監督から演技の直接指導を受けよう!

【俳優ワークショップ】

熊切和嘉 講座

全3回・18時間

頭で計算してどうこうってタイプよりも、本能的というか直感的、いくなれば動物的な俳優と出会いたいです。ひと夏、共に狂いましょう!

日程 8月10日(月)～12日(水)
すべて10:30～17:30(休憩1時間程度)

講師



熊切和嘉

くまざいかずよし●映画監督。「空の穴」(01年)「寺島進・菊地凛子主演」「アジナ」(04年)「加瀬亮主演」「アジニア」(07年)「玉山鉄二・西島秀俊主演」「ソチ36歳(家事手伝い)」(08年)「坂井貞紀主演」などを監督。

講師



熊澤尚人

くまざわなと●映画監督。「ニライカナイからの手紙」(05年)「菅原康・上野樹里主演」(06年)「市原隼人・上野樹里主演」などを監督。最新作「おとなり」(岡田准一・麻生久美子主演)が絶賛公開中。

【俳優ワークショップ】

熊澤尚人 講座

全3回・18時間

人に何かを感じてもらおう。とても難しいかもしれないけど、それが出来たら、何て幸せなのだろうと思う。お芝居はそれが出来るから素敵なんです。

日程 8月13日(木)、15日(土)、17日(月)
すべて10:30～17:30(休憩1時間程度)

講師



古厩智之

ふるまやともゆき●映画監督。「ロボコン」(03年)「長澤まさみ主演」。「奈緒子」(08年)「上野樹里主演」。「ホームレス中学生」(08年)「小池徹平主演」など、話題作を次々と監督。最新作は「武士道シックスティーン」(2010年公開予定)「成海璃子・北乃きい主演」。

【俳優ワークショップ】

古厩智之 講座

全3回・18時間

「自然な演技」って何ですかね?矛盾した物言いだ。だけど相反することの両立が難しいからやりがいもあるんでしょう。エチュードを中心に「やり過ぎない」そこに「いる」お芝居を目指します。

日程 8月25日(火)～27日(木)
すべて10:30～17:30(休憩1時間程度)

※講座内容、日程等は都合により変更となる場合がございます。予めご了承ください。

お申し込み | 募集要項

- 対象 性別、年齢不問。未経験の方でもOKです。
- 料金 各講座 35,000円(税込)
- 時間 各講座 18時間
- 定員 各講座 25名
- 申込 2009年6月15日(月)より受付開始。各講座定員になり次第締め切ります。定員に達していない場合、開講前日までお申し込みを承ります。

お申し込み方法

Webサイトの専用フォーマットまたはお電話にて承ります。

URL <http://www.enbu.co.jp/zemi/>

TEL 03-5358-5211 (10:00～22:00)

- 希望講座名、2)氏名、3)住所、4)電話番号、5)年齢をお知らせください。
- お申し込み後、1週間以内に銀行振り込みにて受講料をご入金ください。
- お振込確認後、1週間ほどで受講票がお手元に届き、お申し込み完了です。
- ※定員に達していた場合、ご連絡の後、全額ご返金いたします。
- 受講開始後のお申し込み者都合によるご返金はできませんので、ご注意ください。

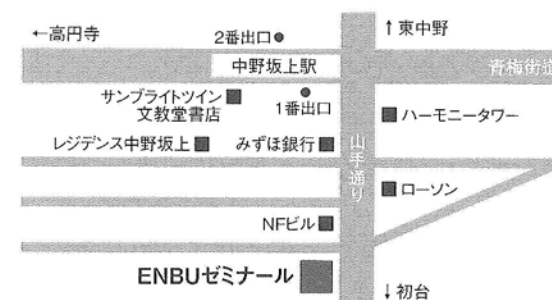
お振込先

三菱東京UFJ銀行 中野支店 普通 0012004
カ)エンブゼミナール 株式会社ENBUゼミナール

舞台に立つ! 映画に出る! 映画監督になる!

ENBUゼミナール

会場 | お問い合わせ



東京メトロ丸ノ内線、都営大江戸線「中野駅」より徒歩3分

特典1

2講座以上
受講の場合は、
受講料が2講座目から
5,000円引き
になります!

特典2

中高生の方は、
すべての講座で
10,000円引きに
なります!

※特典1と特典2の併用はできません。



このコーナーにある、
すべてのメッセージは主催者の皆さんに
書いていただいたものです。

よくよく読んでいただきますと、
それぞれの公演の面白さが
にじみ出てくる仕掛けになっております。
お楽しみいただけますと幸いです。

編集担当 矢崎亜希子、坂口真人

2009年7月9日から9月10日分を掲載

つくり手
からの
メッセージ

えんぶ情報館

情報の人



墓場狂志郎

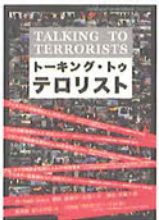
劇団時感募集中「努力と神様」

●はじめて、劇団時感募集中です。旗揚げ公演です。この公演はいろいろな恋や愛のお話です。終演後、何かはじめてみようかなんて思ってくれるような人がいたら本望です。そして今後は自分が何を創りたいかではなく誰のために何を創りたいかと世の中のニーズに合ったもの創り続けたいと思っています。お時間ある方は是非! お待ちしております。(墓場狂志郎 役者)

作・演出◇長野恵美
出演◇墓場狂志郎 窪寺奈々瀬 松川彌子 小浪優子 龍道照海 他
7月31日(金)〜8月2日(日) ブローダーハウス(京王井の頭線東松原駅)
＜料金＞前売・当日共¥1500
＜お問合せ＞090-4599-7471
a-trip-without-the-end.1983412@docomo.ne.jp

前売・当日共一般¥5250 学生¥3675
＜お問合せ＞
劇団俳優座 03-3405-4743
http://www.haiyuza.co.jp

GaiaDaysFunctionBand 『トーキング・トゥ・テロリスト』



●本作は「テロリズム」をテーマに、実行犯組織のメンバー、被害者、一般市民などへ取材を敢行し、実際に得られた証言を基に作られた「ドキュメンタリー・シアター」。様々な視点からテロと向き合った社会派戯曲。(広報)
●7/5〜12◎あうるすぽっと
作◇Robin Soans
演出◇古城十忍
出演◇松田洋治 占部子 土屋良太 沢田冬樹 他
＜料金＞一般¥4500 学生¥2500
(問合せ先のみ取扱い)
＜お問合せ＞
ガイアデイズファンクションバンド
03-3470-0396
http://www.gaiafunctionband.com/

手塚プロダクション・扉座プロデュース
劇団扉座第43回公演新浄瑠璃
『百鬼丸
〜手塚治虫「どろろ」より〜』



●手塚治虫作品の舞台化で話題作を残して来た横内謙介が、2004年初めて劇団公演として手塚作品に取り組み、好評を博した『新浄瑠璃 百鬼丸』待望の再演です。今回、名場面はそのままに、新たに改訂を加えました。手塚治虫生誕

新宿梁山泊 第40回公演 『ベンガルの虎』



●唐十郎の代表作『ベンガルの虎』、新宿梁山泊初の上演。前作「唐版風の又三郎」で風に乗って飛び去って行った物語が、獅猛な虎を従えて帰ってきます。唐作品には欠かせない名優、十貫寺梅軒をはじめ、田村泰二郎、奈佐健臣、さすらいの流しの役に中山ラビを迎え、重厚なキャストで贈る唐ワールド、夏の夜、虎が咆哮する三鷹の森にぜひ出かけください。(制作部)
●7/3〜12◎井の頭恩賜公園・西園特設テント ※7/7のみ休演
作◇唐十郎
演出◇金守珍
出演◇金守珍 十貫寺梅 田村泰二郎 奈佐健臣 他
＜料金＞前売一般3800 学生¥2800
＜お問合せ＞
新宿梁山泊 03-3385-7188

劇団俳優座 第299回公演 『コルチャック』



●1942年夏――。医者で教育者、作家でもあったヤヌシ・コルチャックはソ連プリンク収容所で子供たちと共にその生涯を閉じた。創立65周年記念公演として加藤剛がコルチャックの生涯を基に生演奏にのせて、リーディングという形式でお伝えします。(制作部)
●7/4〜14◎シアター-X
原作◇近藤二部 近藤康子
台本・演出◇安川修一
出演◇加藤剛 他
＜料金＞

は5年ぶりの新橋演舞場出演となる大地真央、シャネルが唯一愛した男性アーサー・カペルには今井翼が出演。豪華な衣裳・舞台装置、歌やダンスにもご期待下さい。(宣伝担当)



●7/3〜27◎新橋演舞場
脚本◇斎藤雅文
演出◇宮田慶子
出演◇大地真央 今井翼 高橋恵子 他
＜料金＞一等席¥12600 二等席¥8400 三階A席¥4200 三階B席¥2520 機数席¥13650
＜お問合せ＞
チケットホン松竹 03-5565-6000
http://www.shochiku.co.jp

世田谷パブリックシアター 『奇っ怪』



●劇団イキウメを主宰する前川知大が、小泉八雲の「怪談」から想を得て紡ぎ出す現代の怪談話。近代と現代、伝承と都市伝説、超常現象と妄想が交錯する、理屈では計り知れない不可思議な世界が描き出されます。前川作品に出演経験のある仲村トオルをはじめ、池田成志、小松和重らが奇怪な前川ワールドに挑みます。(世田谷パブリックシアター 広報)
●7/3〜20◎シアター・ラム
原作◇小泉八雲
構成・脚本・演出◇前川知大
出演◇仲村トオル 池田成志 小松和重 他
＜料金＞一般¥5800(全席指定・税込)
＜お問合せ＞世田谷パブリックシアター
チケットセンター 03-5432-1526



●7/2〜12◎本多劇場
作・演出・出演◇池田鉄洋
出演◇表現・さわやかメンバー 伊藤明賢 柳沢なな 佐藤雄一 中山祐一朗 他
＜料金＞前売一般¥4500 大学生¥3500 高校生以下¥2500 当日一般¥4800 大学生¥3800 高校生以下¥2800
＜お問合せ＞猫のホテル 03-3485-9565
http://www.nekohote.com

野田秀樹芸術監督 就任記念プログラム 『プロペラ』



●この夏、東京芸術劇場は生まれ変わります! その幕開けに登場するのは、今イギリスで最も旬な劇団「プロペラ」。歌舞伎や宝塚にヒントを得て誕生したオトコばかりの劇団が、シェイクスピアの二大喜劇をひっさげて、ニギヤカに日本初上陸です!(制作担当)
●7/2〜12◎東京芸術劇場・中ホール
演出◇「ヴェニスの商人」【夏の夜の夢】
演出◇エドワード・ホール
＜料金＞S席¥6500(65歳以上¥3250) A席¥4500(25歳以下¥2250) セット券S席2作品同時購入で¥10000
＜お問合せ＞
劇場チケットサービス 03-5985-1707
http://www.tgg-ts.jp/

新橋演舞場7月公演

『ガブリエル・シャネル』
●トップブランドとして輝きを放ち続けシャネル。その出発点であるひとりの女性、ガブリエル・シャネルの激動の生涯を舞台化したオリジナル作品です。シャネルに



初日が
7月2日〜7月8日の公演

新国立劇場 『現代能楽集 鶴(ぬえ)』



●『平家物語』の「源頼政の鶴退治」の伝説から、退治された鶴の亡霊が現れ成仏する過程を描いた能「鶴」を題材に、世阿弥が現代に生きていたらどんな演劇を書くか、大胆な問いを胸に坂手洋二が書き下ろす新作。"鶴"的な不思議なものが時空を超えて響いてくる。鎮魂の劇。現代に潜む様々な鶴が浮かび上がる。(新国立劇場 広報)
●7/2〜20◎新国立劇場・小劇場
作◇坂手洋二
演出◇鶴山仁
出演◇坂東三津五郎 田中裕子 たかお 農 村 上 淳
＜料金＞A席¥5250 B席¥3150 ※当日学生半額
＜お問合せ＞
新国立劇場03-5352-9999
http://www.nntt.jac.go.jp/play/

猫のホテルプレゼンツ
表現・さわやかが第6回公演
『ザ・ベスト オブ 表現・さわやか』
●猫のホテルの池田鉄洋が主宰するユニットユニット「表現・さわやか」が、この夏本多劇場に進出します。表現・さわやかフルメンバーに加え、豪華ゲストを迎えての気取らない、くだらない、おとなげないコートのベスト盤。どうぞご期待ください!(制作)

ライブイベントや graf のギャラリーなどで単発の公演を打まり、いろんなジャンルの人から「気になる存在扱い」をされる俳優。まず読み方ですが「こどもきじん」が正解です。ちなみに筆者は当初「こどもきじん」と読んでました(恥)。でも「こどもきじん」と言った人もいます(笑)。と主宰の益山も語って、たのて、案外読み方がわからない人は多いのかも。でもって劇団名と同じく、彼らの舞台もわかりやすい」とは言いづらいモノ。とらえどころのないストーリーと音楽が乱舞する奔放な演出……テーマやコンセプトなどは謎だけど、でも理屈抜きでワクワクできる世界なのも確か。それはオモチャ箱から珍らしい遊具を次々に引っ張り出している時の、子供の気分に近いだろう。入に見てもらう以上最低でも楽しいかと思ってもうえなきやダメですね。そこは関西人というか、水商売気質(笑)。知人の喫茶店「マタ」は、うちは夢を売る商売」と言ってるんですけど、こどもきじんは演劇も水商売と同じかな。と言いつつも彼らの芝居は、いわゆるエン

タメ系の楽しさとは異なる、むしろ音のサーカスや見せ物小屋のような滑稽な楽しさを感じられる。たとえブリークのような、そうぞしかいられないという哀愁から生まれる笑いか、根底に哀しさが見える表現が好き。哀しみが笑いや物語には、僕は面白みを感じないです。



益山貴司

ますやまがし○82年生まれ、大阪府出身。高校時代に演劇を始め、05年に「子供巨人」を結成。自身の妄想や夢を具現化した、フリーキーかつアバンギャルドな劇世界で、幅広いジャンルから注目を集めている。02年より営業する「ボコベン」では、時に思わぬ大物のシークレットライブが行われることも。あなたの街に来るその時までに「こどもきじん」とこの名前しかと正確に覚えておきましょう。



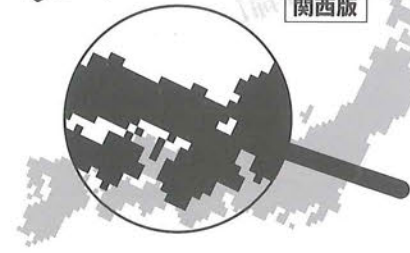
次回公演は、彼らの十八番である生演奏を取り入れたパフォーマン色の強い舞台となる予定。来年には二度目の海外公演を行い、その後で行けるのなら東京公演を実現させたいとも。まるでジプシーの旅楽団のような自由さ、ベネチスをあわせ持つ、摩訶不思議な舞台があなたの街に来るその時までに「こどもきじん」とこの名前しかと正確に覚えておきましょう。

【NEWS!】

「特捜! エンブスコープ」関西版では、皆さまからの依頼をお待ちしています。「あの公演が見えなかったのレポートして欲しい」というものから「役者の皆さんの素顔が知りたい!」「▲▲劇場の近所にある○○という店が気になるので調べて下さい」というものまで、ミナーなネタ、くだらないネタでもOKです。ただし、関西地方限定! 巻末ハガキにて「エンブスコープ」まで。

特捜! エンブスコープ!

関西版



撮影◇橋本大和



子供巨人「キッチンドライブ」
作・演出・出演◇益山貴司 出演◇薩山龍 益山寛司 樹木花香 BAB 小中太
5/2・3・9・10・16・17・23・24・31◎カフェバー「ボコベン」

が、お茶飲んでくついているのが普通で笑)。でもそこに人間が本来持つ大らかさや楽天性を感じたんです。億億期のカッパルが住む家の台所に、元モデルの女益山の弟「やカメラ小僧」などが次々に押しつけてくる。この上なくにぎやかで、享乐的で、ラフな一時期。しかしそこからは根無し草として生きる者のやるせなさや過去の傷が、言葉ではなく気配としてフツと浮かび上がってくる。最後には、カッパルの女が男を家に残したまま静かに消えるが、彼女もキッチン・ドライブになったのか? それに連生を生き方を求めて出て行ったのか? 彼の元に帰る気はあるのか? というろんな? で頭がいっぱいになった「観客の前にいるんなモノ」を投げ出したままで終わりたいんです。演劇って舞台中だけで完結し過ぎるものが多いけど僕は終わらないまま投げ捨てるでもって、こっちの方が、いろいろと想像できて面白くないかなと思いが、様々な疑問が出るでしょうがそれを解くのがお客さんの仕事ですよ。というこで笑)。



【ArtTheater dB神戸】
神戸市長田区久保町6-1 アスタくにつか4番館4F(JR新長田駅南へ6分)
TEL:078-646-7044
http://www.db-dancebox.org/



「trip〜夢みるカラダと夢みないカラダについての考察」
出演◇きたまり×森川弘和 宮北裕美 東野祥子SOLO Performance+Musician
アンサンブル・ゾネ セレノグラフィカ 岩下徹
5/17・18・23・24◎ArtTheater dB神戸



依頼

「DANCE BOX」の
新しい劇場が
神戸にできたそうですね!
それは嬉しいけど、
なぜ神戸なんでしょう?



将 蓮葉竜太 古山憲太郎 津村知与支
小椋殷
出演◇古川悦史 室伏ひかり
＜料金＞前売¥3500 当日¥4000
※M10割引(17.24日のみ¥3000)
学生割引¥2500 M10/バズ¥10500
＜お問合せ＞
Habana
03-5489-3740
(平日11:00-18:00)

劇団M.O.P. 第44回公演 『リボルバー』



●2010年の解散が決定し、M.O.P.とし
ての公演は残り2作品。キムラ緑子・三
上朗・小市慢太郎をはじめとする劇団
員に、北村有起哉氏、キャメルボックス
の岡田達也氏、片岡正二郎氏の3人の
客演が加わり、今年もM.O.P.ワールド全
開の作品をお届けします。ご期待ください
(劇団M.O.P.制作)
●7/18～20◎松下IMPホール(大阪公
演)、7/29～8/9◎紀伊国屋ホール(東京
公演)
作・演出◇キムノノミ
出演◇キムラ緑子 三上朗 小市慢
太郎 北村有起哉 岡田達也(演劇集団
キャメルボックス) 片岡正二郎 他
＜料金＞¥5500(全席指定)
＜お問合せ＞
<http://www.g-mop.com/>

子供のためのシェイクスピア 『マクベス』



●子供のためのシェイクスピア15周年
記念公演は、四大悲劇上演の最後を飾
る『マクベス』。石田圭祐、伊沢磨紀は
か魅力あふれるキャストと、シェイクスピア
の面白さを引き出す山崎清介の演出で、
今までに見たことがない『マクベス』を体
験できることでしょう。お見逃しなく!(華の
ん企画制作)
●7/18～7/26◎紀伊国屋サザンシア
ター
作◇ウィリアム・シェイクスピア～小田島
雄志翻訳による～
演出・出演◇山崎清介
出演◇石田圭祐 伊沢磨 彩乃木崇之
戸谷昌弘 他
＜料金＞大人¥4800 子供(中学生以下)
¥3000 学生(当日のみ)¥4300
＜お問合せ＞
華のん企画 03-5917-4845
<http://www.canonkikaku.com/>

劇団たいしゅう小説家 『SYURABA』



●「COMEDY TRAIN」が今年も始動。昨
年好評だった「サダオのサダメ」。新たに
キャストを加え、更に進化して帰ってくる。
恋愛の愛、友情の愛、家族愛、見守る愛
…「愛」それだけ? 人間関係に本当に大
切なものは信用性か、それともそれ以上
の何か…。男たちの、複雑で温かい愛と
友情のラブコメディに乞うご期待下さい。
(出口/制作部)
●7/18～26◎東京芸術劇場・小ホール
2
作◇伊沢勉
作・演出◇井田國彦

●7/17～8/9◎世田谷パブリックシア
ター
作◇デビッド・ハロワー
演出◇栗山民也
翻訳◇小田島恒志
出演◇内野聖陽 伊藤歩
＜料金＞S席¥9000 A席¥6300
＜お問合せ＞
ホリプロチケットセンター
03-3490-4949
ホリプロオンラインチケット
<http://hpot.jp>

play unit-fullfull 第16回公演 『罪とハネムーン』



●「女は男が信用出来る。男は不器用
で…途な愛を捧げ続けた」流れかけた下
宿屋を舞台に、大人たちが愛を廻って泥
仕合。「ネガティブに前向き!」とばけた人
達の悲喜交々。のんびり、せつなく、時に
は激しく稽古中。だっさい愛をぜひ観にき
て下さい。(広瀬喜実子/役者)
●7/17～20◎せんがわ劇場
作・演出◇七ヒコエリ
出演◇広瀬喜実子 遠藤友美賀 堀文
明 齋田吾朗(ベケカン) 鹿野良太 他
＜料金＞前売¥3000 当日¥3400学習
前売・当日共¥2500(受付に学生証提
示・劇団のみ取扱い)
＜お問合せ＞
090-4200-1256
<http://www.fullfull.info>

ペンギンブルベイルバイルズ #14 『cover』



●30年前に行方知れずとなった姉のいる
兄弟と、謎のつる草に絡め上げられて
倒壊寸前の家に暮らす姉弟を軸に、物
語はミステリアスに展開します。今の世
の中、キレイゴトを糾弾するより、キレイゴ
トをキレイゴトのまま描き切ることの方が
難しい気がして、そこに挑む今作はある
意味新しい物語だと思います。どうぞご
期待下さい。(倉持裕/主宰・作・演出)
●7/17～26◎本多劇場
作・演出◇倉持裕
出演◇鈴木砂羽 小林高広 ぽくととき
こ 玉置尊臣/谷川昭一朗 他
＜料金＞前売¥4700
当日¥5000(全席指定)
＜お問合せ＞
ペンギンブルベイルバイルズ
03-5499-2739
<http://www.penguinppp.com>

モダンスイマーズ 『血縁』



●十周年記念モダン祭「時空を超え、噴
火するんだ五兄弟」。長男、西條を筆頭
に劇団の縮図かとも思わせる兄弟
の絆を描いた『赤木五兄弟』(2006年)を
ベースに、モダンスイマーズ史上発にし
て最後のフルメンバー・出演によって新た
な物語が誕生します。(宣伝担当)
●7/17～8/2◎赤坂RED/THEATER
作・演出・出演◇モダンスイマー(西條義

銀河劇場チケットセンター
03-5769-0011
<http://t.pia.jp/spellingbee/>

劇団TIME LIMITS Vol.16 10周年記念公演 『緑の箱船』



●劇団TIME LIMITSが旗揚げ10周
年記念公演としてお贈りする、近未
来サスペンスストーリー。高性能アン
드로이드が開発され、人の心が無機
質に慣れて行く近い未来を舞台に、
人が人である為に守らなければならない
大切なものを描きます。どうぞご期待く
ださい!(高木盛子/主宰・脚本)
●7/17～20◎相鉄本多劇場
脚本◇高木盛子
演出◇野島拓也
振付◇井上陽平
出演◇ちかみれい 岩永裕代 久保圭
介 他
＜料金＞前売¥3000 当日¥3500 高校
生・シニア¥1800(東京公演) 予約・当
日共一般¥1000 学生・シニア・関西日仏
学院会員¥800(京都公演)
＜お問合せ＞
TIME LIMITS制作部
090-3814-1389
timelimits@hotmail.co.jp
<http://www.timelimits.net>
●チケット情報
7/17(金)19:30、7/18(土)14:00、19:
00、7/19(日)14:00、19:00、7/20(祝)
13:00の回 各回5組10名様

ひよっとこ乱舞 第21回公演 『旅がはてしない』



●2005年初演の『旅がはてしない』を大
幅改訂。人間の孤独をテーマにした脚本
本、講義とボエムが入り混じるセリフ、そし
て乱舞…。劇団の特徴がギュッと詰まっ
た作品。出演者にも恵まれ、満を持して
の再演となります。見逃せません。(柏戸
綾/制作)
●7/17～21◎東京芸術劇場・小ホール1
作・演出◇広田淳一
出演◇チョウソンハ 中村早香 橋本仁
笠井里美 他
＜料金＞前売¥3200 当日¥3500
※劇団初見の場合の無料モニター制度
他、各種割引あり
＜お問合せ＞
ひよっとこ乱舞
090-2936-2116
<http://hyottoko.sub.jp/>
●チケット情報
7/18(土)14:00の回 2組4名様
7/18(土)19:00の回 2組4名様

ブロードウェイミュージカル 『スプリング・ビー』



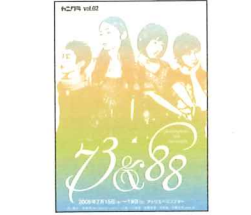
●全米から小・中学生が参加して行われ
る、英単語のつづりを競う大会「スプリン
グビー」をモチーフにした作品が日本初
上演。ユモアに富んだ脚本と、愛らし
い楽曲で愛情あふれる作品にご期待く
ださい。大人が子供を演じるのもみどころ
のひとつです!(宣伝)
●7/17～8/2◎天王洲 銀河劇場
※名古屋、大阪、福井公演あり
作詞・作曲◇ウィリアム・フィン
脚本◇レイチェル・シェインキン
翻訳◇寺崎秀臣 佐々木真美
訳詞・演出◇寺崎秀臣
出演◇藤井隆 新妻聖子 他
＜料金＞S席¥9500 A席¥8000
＜お問合せ＞

フジテレビアナウンサー・ 演劇倶楽部「座」 愛と情念の朗読ライブ朗読Legend 『源氏物語「宇治十帖」』



●フジテレビ・アナウンサーが演劇倶楽部
「座」とタッグを組んで、新しい「朗読ライ
ブ」をお届けします。25名のアナウンサー
が出演。日本の恋愛小説の原点『源氏
物語・宇治十帖』を題材に、今までにない
朗読パフォーマンスに挑戦します。耳
で、目で、心で楽しんでください。(吉崎典
子/フジテレビアナウンサー)
●7/11～12◎四谷区民ホール
原作◇紫式部
構成・演出◇塚崎彦
出演◇吉崎典子 奥寺健/高野力哉
平尾陽三郎 他
＜料金＞前売S席¥4500 A席¥4000
当日S席¥5000 A席¥4500
＜お問合せ＞
演劇倶楽部「座」事務局
03-6431-0377
(平日11:00～18:00)

カニクラ vol.2 『73&88』



●川田希と宝積有香によるユニット、カ
ニクラの第三弾。青年団演出部に所属
する柴幸男さんを作・演出に迎えて新作
を上演します。是非ご覧下さい! お待ち
しています。(カニクラ)
●7/15～19◎アトリエヘリコプター
作・演出◇柴幸男
出演◇川田希 宝積有香 坂本爽 玉置
玲央
＜料金＞前売・当日共 ¥2500 平日マチ
ネのみ¥2000
＜お問合せ＞
<http://ameblo.jp/canicula88/>

Project Natter 『赤色エレジー』



●「赤色エレジー」は、劇作家・別役実の
80年代を代表する作品です。林静一の
同名劇団にイメージを受けながらも、独自の
別役ワールドがじわりと展開されていき
ます。汚い歴史もみにくい過去も、すべ
て記憶の向こうに流し去った日本人へ、
今こそ突きつけられる魂の叫びがここに
はあります。抱きしまれなくなるくらいにスト
イックにつつましく生きる、主人公ウチダ
とサチコ。これは二人の辛く哀しい愛の
物語です。(制作部)
●7/15～22◎ザ・サズナリ
作◇別役実
演出◇ベーター・ゲスナー
プロデューサー◇綿貫凜
出演◇寺十吾 小山萌子 瓜生和成 他
＜料金＞一般前売¥3800 当日¥4000
学生¥2500(コトラーネのみ取扱) 前売・
当日共 ¥2500(プレビュー公演)
＜お問合せ＞(南オフィス コトラーネ)
03-3411-4081 <http://www5d.biglobe.ne.jp/~cottonne/>

●7/11～8/9◎サンシャイン劇場(東京
公演)、8/14～16◎名鉄ホール(名古屋
公演)、8/20～25◎イオン化粧品 シ
アターBRAVA!(大阪公演)
脚本・演出◇成井豊十真柴あずき
出演◇左東広之 大内厚雄 西川浩幸
/栗野史浩(文学座) 他
＜お問合せ＞
演劇集団キャメルボックス
03-5342-0220
<http://www.caramelbox.com/>

椿組09年夏・花園神社野外劇 『新宿ジャガジャガ』 ～その日、ギターは武器になったのか?～



●椿組恒例の夏の風物詩・花園神社野
外劇。今年は淳彦・作・演出の音楽劇!
1969年、新宿西口広場を占拠したフォー
クゲリラ達。「青春」という言葉がまだキ
ラキラと輝いていた時代。「若さ」とは?
「人生」とは? フォークソングの音色に
乗せて「生きる」と言うことのあれこれ、
「熱っぽく」「馬鹿っぽく」「切なく」描き
ます!(外波山文明)
●7/11～21◎新宿花園
社境内特設ステージ
作・演出◇中島淳彦
出演◇春風亭昇太 山田まりや 草野
徹 浅野雅博 辻親八 外波山文明 他
＜料金＞指定席¥4500(限定60席・
椿組のみ) 前売自由席¥4000 当日
¥4300(日時指定・整理番号付き)
＜お問合せ＞椿組 03-3202-1350
080-5464-1350
tubakigumi.1350@ezweb.ne.jp

楽屋で密室の状態で死んでいた。容疑
者はその部屋に立ち尽くしていたストー
カー。明らかに有罪裁判に集められた裁
判員の面々。しかし真相は思いもよぬ
方向へ。ついに施行された裁判員制度
を舞台に7人の芸人と2人の女優が繰り
広げる新感覚コメディにご期待くださ
い。(大熊啓彦)



●7/10～12◎ウッディーシアター中目黒
作・演出◇大熊啓彦
出演◇今泉稔(18KIN) 安井順平 大
熊啓彦(シヤカ) チャンカワイ(Wエンジ
ン) 長田奈麻(ナイロン100℃) 他
＜料金＞前売¥3500 当日¥4000
＜お問合せ＞
ワタナベエンターテインメントライブ事務局
03-3746-1154
(平日16:00～17:00)

演劇集団キャメルボックス 2009サマーツアー 『風を継ぐ者』



●幕末という激動の時代を「誠」の旗
の下に結集し、滅びゆく幕府に殉じた新選
組。そんな彼らが、元気に無器用に賑や
かに必死に生きる姿を描いた青春群像
劇です。8年ぶりの再演にあたって、キャ
ストを一新し、新しい「風を継ぐ者」をお届
けします。(製作部)

構成・演出◇喰始
出演◇梅垣義明 杉浦哲郎(pf)
＜料金＞前売SS席¥6000 S席¥5000
A席¥4500(全席指定・税込)
当日¥8007upp
＜お問合せ＞
サンライズプロモーション東京
0570-00-3337

かわせみ座 『まぼろしのこだま』



●人形に命を宿らせる、芸術性の高さに
定評のあるマリオネット劇団かわせみ座
による公演。物語の主役は伝説や民話
に登場する生き物、精霊、魔物や自然…。
日本の伝説、民話をモチーフに夢・現・幻
を綴っていく。構成・演出はスタジオジブ
リの映画監督の高畑勲。国内外で公演
を重ねるかわせみ座の代表作。(かわせ
み座/制作)
●7/10～11◎赤坂区民センターホール
作・原案◇山本由也 益村泉
構成・演出◇高畑勲
出演◇山本由也 益村泉 河南有香 飛
翠
＜料金＞一般¥3500 ユース割引¥2500
(学生または20歳未満)
※前売各¥500引き 未就学児童の入場
はご遠慮下さい。
＜お問合せ＞
かわせみ 03-3315-3102
information@kawasemiza.com

『トライアル』

●カリスロック歌手「EJJI」が武道館の

送りするこの作品。運命さえ、たぐりよせ
る女。ヘッダ・ガブラー。(古川貴義/演出)



●7/8～14◎赤坂RED/THEATER
作◇ヘンリック・イブセン
上演台本◇笹部博司
演出◇古川貴義
出演◇小沢真珠 伊達暁 町田マリ
小野哲史 山本亨
＜料金＞前売¥4500
＜お問合せ＞
ゴーチ・ブラザーズ 03-3466-0944
<http://www.hedda-gabler.net/>

初日が 7月9日～7月15日の公演

WAHAHA本舗 PRESENTS 『梅ちゃんの青いお正月』



●言わずと知れたワハハ本舗の「歌
姫」、梅垣義明の「梅ちゃんの青い○
○」シリーズ21作目が始動します。今回
のテーマはお正月。ワハハ本舗を介して
梅ちゃん流お正月を、いかに表現するの
か…。お馴染みのネタから新作まで、惜し
みなく披露します。(サンライズプロモ
ーション東京)
●7/10～11◎日本青年館・大ホール

80周年の今、満を持して、決定版として
魅了ます!(原座制作)

●7/8～12◎紀伊国屋サザンシアター
作・演出◇横内謙介
出演◇岡森諒 平栗あつみ(演劇集団
円) 中原三千 有馬自由 山中崇史 他
＜料金＞前売¥4200 当日¥4500 学生
¥3000(原座のみ取扱い)
＜お問合せ＞原座 03-3221-0530
<http://www.tobiraza.co.jp>

ブルドッキングヘッドロックvol.17 『ケモノミチ』



●夏、首都大壊滅。見渡す限りの瓦礫
の山。僕たちの毎日は、いとも簡単に吹
き飛ばされたんだ。ブルドッキングヘッ
ドロック渾身のクライシス悲喜劇『ケモノ
ミチ』、どうぞご期待ください。(制作部)
●7/8～12◎ザ・ポケット
作・演出◇喜安浩平(ナイロン100℃)
出演◇西山宏幸 篠原トオル 永井幸子
寺井義貴 小島聡 他
＜料金＞前売¥3500 当日¥3800
＜お問合せ＞
ブルドッキングヘッドロック制作部
080-3526-9587
(受付時間12:00～20:00)
<http://www.bull-japan.com>

『ヘッダ・ガブラー』

●ヘッダ・ガブラーは、ずっと、悲劇の女
性として描かれてきました。本当に、そう
か? あなたが好き勝手に生きたいと願う
様に、彼女も、好き勝手に生きていただ
けではないだろうか。今までのイブセンの
イメージを覆す、新しい視点の演出でお

束から1枚!

0 2 3

久住昌之

くすまさゆき◎泉昌之(泉
静一との合作ペンネーム)、
Q.B.B.(実弟・弟也との合作で
知られる漫画家、泉昌之の称号
「天食」(音読み)が7月上旬
発売予定。そして、「孤独のグルメ」
ドラマCD(株式会社キャラニ)
が、9月に発売決定! CD内の楽
曲制作・演奏も担当しています。
雑誌・エレガンスイブ(秋田書店
/毎月26日発売)にて「花のスポ
ンサー」(原作◇久住昌之、作画
◇水沢俊子)が好評連載中です。
<http://www.qasumi.com/>

栗根まことの

99

人物ウォッチング

あわねまこと劇団☆新感線の理数系知性派役者。
演劇ぶっく協力携帯サイト・演劇モバイルでもコラムを好評連載中。
近況「片つかない部屋に業を煮やして大きな本棚を買ったこと」
次回予定◎『斎藤幸子』8/14～30◎ル テアトル銀座

中村まこと

先日「冬の絵空」で共演させて頂いた中村まことさん。私にとってダブルまことだったのですが、皆が「中村さんの事を「まことさん」と呼ぶのが私に「まことさん」と呼んでいいます。だが、この問題なのは、実はまことさんは「まこと」ではないのである。昔知ったのである。本来まことである私が、本来はまことじゃないまことさんをまことさんと呼ぶのはおかしくないだろうか? まことと連発しすぎないだろうか? 「冬の絵空」とは同じ畳屋でずいぶん仲良くさせて頂いた。そのせいで、私がひいてしまった悪質な風邪をうつしてしまった。その節は申し訳ありませんでした。地理が得意で鉄道ファン。ラーメン好き、と趣味が近く結構マニアックな会話ができたのが嬉しいです。しかし、まことさんが一番好きなのは野球でして、猫が中心の草野球チーム「レスターズ」の監督でもある。猫が初期には舞台監督や美術、行司なども担当し、多様な所見があるが、実は柴田恭兵に似ているか、実は時々役立ちます。実は市場不二夫似。あと、池田明也か。最近ではかなり丸くなっていますが、またトンガったまことさんを見たいです。

頭が小さい。そのおかげで子供の頃にシングルジムの後頭部を打ったのが原因。
ワキ毛がない。ツルツル。
猫のモデルの古株中村まことエキセントリック俳優
実は漫画が上手い。ところが、実はアニメで川に落ちて活躍。
靴下をはかない。そして、酒を飲むと靴をはく。

でもやってみての方がいいなんて。自分にがっかりするほどになるのだ男も女も。そんな6人の物語。(西川公絵/演出)



●8/7～9◎参宮橋TRANCEMISSION
演出◎西川公絵
脚本◎正田幸大
出演◎小澤雄志 斎藤英恵 白井悠太 谷内里美 他
＜料金＞前売¥1500 当日¥1800
＜お問合せ＞
[NoName0093]製作委員会
noname0093@hotmail.co.jp
●チケット情報
2名様(期間中有効)

初日が
8月13日～8月19日の公演

下町ダニーローズ 第11回公演
演劇くらぐ『鉄拐』



●古典落語と芝居のコラボレーション
「演劇くらぐ」。私が語る落語「鉄拐」の直後、その登場人物達が演劇として蘇る。上海租界に留まった鉄拐仙人が大暴れる物語。今回の志らくワールドには、柳亭市馬、竹本孝之、タンバリン芸人ゴンゾーらが新参加。夢のパラダイス・上海まで、どう鉄拐に逢いに来て下さい。(立川志らく/下町ダニーローズ主宰)
●8/13～17◎紀伊國屋ホール
演目◎一部:志らくの古典落語「鉄拐」
二部:下町ダニーローズ「上海極楽(パラダイス)～鉄拐後日談～」
作・演出◎立川志らく
出演◎立川志らく なべおさみ 竹本孝之 北原佐和子 森口博子 入江若葉 他
＜料金＞前売¥5000 当日¥5500
＜お問合せ＞
立川企画 03-3754-6811
http://www.shiraku.net

PARCO presents
『狭き門より入れ』



●演劇界で今最も新進鋭で期待される脚本・演出家前川知大が、佐々木蔵之介とタッグを組みパルコ劇場に登場。「世界の更新」をテーマに、より良い世界を目指す希望を求めてそれぞれの覚悟を見出すまでを描く現代SF劇。共演は、現代劇初挑戦となる市川亀治郎、ベテランの浅野和之、手塚とおる、有川マコト、そして若手俳優の中尾明慶といった豪華出演者が結集。(公演広報)
●8/17～9/6◎PARCO劇場
※倉敷・大阪・広島・福岡公演あり
作・演出◎前川知大
出演◎佐々木蔵之介 市川亀治郎 中尾明慶 有川マコト 手塚とおる 浅野和之 他
＜料金＞
東京公演¥7500(全席指定・税込)
＜お問合せ＞
PARCO劇場 03-3477-5858
http://www.parcoplay.com/

にゆかりの深いキャストと水谷龍二との最強タッグでお贈ります『六月燈の三姉妹』。是非ともご期待ください。(制作スタッフ)



●8/5～11◎赤坂RED/THEATER
作・演出◎水谷龍二
出演◎辺見えみり はしのえみ 重田千穂子 井之上隆志 梅山明子 西田聖志郎
＜料金＞
前売¥5000 当日¥5300(全席指定)
＜お問合せ＞
ジェイクリップ 03-3352-1616
http://ameblo.jp/rokugatsudo/

初日が
8月6日～8月12日の公演

シス・カンパニー公演
『怪談牡丹燈籠』



●「劇団☆新感線」主宰・演出家のいとうえひでのリガシアターコウケンに初見参!! 待望の初舞台を踏む瑛太をはじめとする豪華キャストとともに、真夏の日本を震わせる怪談話に挑む。本当に恐ろしいのは幽霊なのか、愛憎と因果が絡み合う人間の業なのか。妖しくとも「牡丹燈籠」が照らし出すものは?(シス・カンパニー/広報)
●8/6～8/31◎Bunkamuraシアターコウケン
作◎大西信行
演出◎いとうえひでのり
出演◎段田安則 伊藤蘭 瑛太 秋山菜津子 千葉哲也 柴本幸 他
＜料金＞S席¥9500 A席¥7500 コーナー¥5000 当日券詳細は主催者HP参照
＜お問合せ＞シス・カンパニー
03-5423-5906
http://www.siscompany.com/

虚構の劇団
『ハッシャ・バイ』



●「虚構の劇団」は劇団第三舞台の衝撃作「ハッシャ・バイ」の再演に挑みます。ミステリー仕立てで送る「ハッシャ・バイ」のテーマは、希望です。この時代に、このやっかいな暗い時代に、僕たちはどんな希望を持てるのか。現在の希望とは、どんな形のものなのか。よろしければ、希望に溢れた新しい劇場でお会いしましょう。(虚構の劇団/制作部)
●8/7～23◎座・高円寺1
作・演出◎鴻上尚史
＜料金＞
前売・当日共¥4500(全席指定)
＜お問合せ＞
サンライズプロモーション東京
0570-00-3337(10:00～19:00)
サードステージ
03-5772-7474(平日12:00～18:00)

『NoName0093』製作委員会
『NoName0093』(仮)

●結婚すれば何が変わると思いついてアズプロボースた男。けれどちゃんと彼女と結婚しようとする女。嫌いな人にちゃんとお前が嫌いだと言う男。面と向かって嫌いと云われ悲しい女。何もなしより何

本谷有希子の受賞後第1作は、約1年半ぶりの劇団公演。超豪華キャストのある6大女優と、今年いよいよ30代へと突入する本谷有希子の一般即発状態を、どうぞお見逃し無!!(劇団、本谷有希子/制作部)



●7/31～8/16◎本多劇場
※新潟、大阪、北九州公演あり
作・演出◎本谷有希子
出演◎りょう 佐津川愛美 松永玲子 羽鳥名美子 吉本菜穂子 木野花
＜料金＞¥5800(全席指定・税込)
＜お問合せ＞
ヴィレッジ 03-5361-3027
(平日12:00～19:00)

青年団リンク 青組vol.10
『花とアスファルト』



●うららかな春のある日、小さな町の小さな団地に「とても珍しい人」が引っ越してきて…。他者との微妙な距離感に揺れる＜年頃の大人達＞の日々を“痛気”持ちよく滑らかに描き出す新作。前回公演「雨と猫といくつかの嘘」に続く、青組の持ち味の繊細な戯曲を、演劇的な切り口であえて大胆に飛躍させるシリーズの第2弾。(吉田小夏/主宰)
●8/1～9◎アトリエ春風舎
作・演出◎吉田小夏
出演者◎羽場睦子 藤川修二 小林亮子 (青年団) 福寿奈央 林竜三 他
＜料金＞
予約前売¥2700 当日¥3000
ヘアチケット¥5200(予約・前売のみ)
学生・シニア¥2500
＜お問合せ＞
マスカ 080-3580-3103
www.aogumi.org

流山児★事務所
『めんどなさいばん
～歌入り楽屋篇～』



●「ひとと元気で楽しいものを見ると元気で楽しくなる」をモットーに12年目を迎える中高年劇団・楽屋(らくじゅく)が、果敢に挑むのは、初の「セリフ劇」! それでも、やっぱり歌います。踊ります。とある日本ではナイどこかの国の、現在ではナイ法廷。ここに集いし12名の裁判員、これから審議をば始めます。(楽屋)
●8/5～12◎ザ・ズナリ
作◎北村晴
演出◎流山児祥
出演◎いそゆき 小森昌子 杉山智子 めぐるあや 他
＜料金＞
前売¥3300 当日¥3500
学生割引¥2800
＜お問合せ＞
流山児★事務所 03-5272-1785
http://www.ryuzanjii.com
●チケット情報
8/6(木)19:00の回 4組8名様

パティハウス
『六月燈の三姉妹』

●舞台は鹿児島のある家族経営の和菓子店。夏祭りの夜に、ハチャメチャ家族が奏でる心温まる狂想曲! 鹿児島

たかった。面倒だから早く帰って寝たいと思った。要するにこの演人は、今夜ばっさり誰かを斬るつもりらしい……。 (殷様ランチ制作)



●7/29～8/4◎サンモールスタジオ
作・演出◎板垣雄亮
出演◎杉岡阿希子 平塚正信 南あゆ美 藤堂敦 小久保剛志 他
＜料金＞前売一般 ¥2800
当日一般 ¥3300
＜お問合せ＞
殷様ランチ 080-6660-7442
http://www.tonosamalanlunch.com/

muro式.3
『算』サン



●俳優ムロツヨシが「好きな役者、好きな脚本家と舞台がやりたい」というで始まった企画「muro式」が3回目となる公演を行います。ゲストには、京都を中心に活動を広げ個々の活動も目立つ劇団「ヨーロッパ企画」の(永野宗典)・(本多力)を迎えます。昨年行ったmuro式.1「幾」に続き同じキャストでの公演になります。(制作スタッフ)
●7/29～8/3◎シアターグリーン BIG TREE THEATER(東京公演)、8/29～30◎HEP HALL(大阪公演)
出演・脚本◎永野宗典(ヨーロッパ企画) 本多力(ヨーロッパ企画) ムロツヨシ
演出◎ムロツヨシ
＜料金＞¥3300 当日¥3500(全席指定・税込)
＜お問合せ＞
ASH&D 03-5456-8130
http://murotsuyoshi.net/

初日が
7月30日～8月5日の公演

こまつ座 第八十八回公演
『兄おとうと』



●兄は大正デモクラシーの旗手、吉野作造。弟は高級官僚、吉野信次。いとわし懐かしで親を合わせる、ちょっとした事件を発端に、国家のあり方に議論が発展、始終喧嘩別れに終わる兄弟。その兄弟を愛してしまっただけは、二人の仲良し姉妹だった。愉快で痛切な兄弟喧嘩と、それを包む大なる愛のドラマ、好評を得ての再演(制作)
●7/31～8/16◎紀伊國屋サザンシアター
作◎井上ひさし
演出◎鶴山仁
出演◎辻萬長 剣幸 大鷹明良 高橋礼恵 小嶋尚樹 宮本裕子
＜料金＞一般¥2500 学割¥3150
＜お問合せ＞
こまつ座 03-3862-5941
http://www.komatsuza.co.jp/

劇団、本谷有希子
『来来来来』

●「幸せ最高ありがとマジで!!」(パルコ劇場)で第53回岸田戯曲賞を受賞した

してる間にいつのまにか立派な不条理ファンタジーに仕立て上げる手腕が好評のナトカ世代の原作モノ。今回は近代文学の巨匠・梶井基次郎を取り上げます。基次郎ゆかりの地・京都で特別な演劇体験はいかがですか?(制作担当)
●7/24～26◎アトリエ劇団
原作◎梶井基次郎『冬の日』『闇の書』『檸檬』
作・演出◎北島淳
出演◎浦島生 延命聡子 こみちみち 他
＜料金＞前売¥1500 ヘア前売¥2500(他当日券・学割有)
＜お問合せ＞
ナトカ世代 075-771-8099
http://sedai.main.jp

巻組印
『ピースの煙』



●原田宗典、2年ぶりの新作書き下ろし! 作者の父親の実体験を元に、終戦直後のある家族のひと夏の姿をリアルに描く本作。平成21年の下北沢に、昭和21年に魅了します。ゲストにはテレビや映画でも活躍する、中西良太、半海一晃など多彩な顔ぶれがそろいました。どうぞご期待ください(制作)
●7/25～8/2◎ザ・ズナリ
作◎原田宗典
演出・演出◎大谷亮介
出演◎中西良太 鈴木一功 宮島健 半海一晃 他
＜料金＞ベンチ自由席¥3800 椅子指定席¥4000
＜お問合せ＞
プリエール 03-5333-6590
http://priere.jp
●チケット情報
7/28(火)14:00の回 3組6名様
7/30(木)14:00の回 3組6名様

アトリエ・ダンカンプロデュース
ミュージカル
『オペラ・マランドロ』
リオデジャネイロ1941



●プレヒトの「三文オペラ」を下敷きに描かれた1979年ブラジルで上演された「オペラ・マランドロ」は、日本では1990年に日生劇場で初演されました。今回の公演は、別所哲也、マルシア、石井一孝ら個性豊かな俳優陣と、脚本に鈴木勝秀、演出に萩田浩一を迎え、新しい「オペラ・マランドロ」を上演します。(公演広報)
●7/25～8/2◎東京芸術劇場・中ホール ※地方公演あり
原曲・作曲◎シコ・ブアルキ
脚本◎鈴木勝秀
演出◎萩田浩一
出演◎別所哲也 マルシア 石井一孝 他
＜料金＞S席¥7500 A席¥6000(全席指定・税込) ※当日は各¥500増し
＜お問合せ＞
東京芸術 03-3201-8116

殷様ランチ
『ねずみの夜』

●幕末の京都に、とある義賊がいた。その晩彼らの隠れ家に迷い込んだ浪人は、ある使命を持つ鳥、とある醤油屋を探していた。それは日本がひっくり返る、えらい壮大な計画らしい……。正直早く帰

原作◎ジェームズ・M・バリ
演出・訳色・訳詞◎松本祐子
出演◎高畑希希 橋本じゅん
神田沙也加 他
＜料金＞ドリームシート¥6600(おとな・子ども同一料金) S席おとな¥7500 S席子ども(3～12歳)¥4800 A席(おとな・子ども同一料金)¥3000
＜お問合せ＞
ホリプロチケットセンター 03-3490-4949
http://hpot.jp/peter/

初日が
7月23日～7月29日の公演

おとなになに?奥山眞佐子ひとり芝居
『樋口一葉の世界』
『奥山眞佐子ひとり芝居・われから』



●樋口一葉作品をひとり芝居で上演して12年目。今年は、一葉が最後に書き残した作品「われから」で、母と娘の二役を演じます。脚本演出は阿部照義、パイオリン演奏は板谷若子。母娘が巻き込まれる因果の世界をお楽しみください。(奥山眞佐子/主演)
●7/24～25◎相鉄本多劇場
原作◎樋口一葉
脚本・演出◎阿部照義
出演◎奥山眞佐子
パイオリン演奏◎板谷若子
＜料金＞
前売一般¥3500 当日一般¥4000(全席指定・学生は各¥1000引き)
＜お問合せ＞
いちまるよん 045-290-5877
http://hw001.gate01.com/otonattenweb/
●チケット情報
7/24(金)20:00の回 10名様

りゅーとびあ能楽堂
シェクスピアシリーズ第六弾
『テンペスト』



初日公演
『～聖夜をかけた風～
物言わぬヒーローたち』



●のんびり大学生・渡の部屋は最近何かおかしい…。決して人に気付いては貰えない宿命を背負った「物たち」の視点で人間の在り方を描き、地球規模で深刻化する環境問題にメスを入れる。池袋演劇祭で豊島区長賞受賞の前回公演(写真)から約一年、(橋渡井企画)の高橋孝輔ら多彩な顔ぶれで送る10周年記念公演(指寿川妙子/制作・役者)
●7/24～26◎彩の国さいたま芸術劇場・小ホール
作・演出◎鷹青由加子
出演◎佐藤弘幸 角島太郎 高橋孝輔 春木生 菊池康弘 他
＜料金＞前売¥2000 当日¥2500(日時指定・全席自由) ※未就学児入場不可
＜お問合せ＞
劇団生命座 048-593-0204
http://www.seimeiza.net/

ナトカ世代 第7回公演
『ボツレモン』



●原作を読み込んでの暗い暗い、吐き出

出演◎IZAM 富田翔 早田剛 Takuya
加藤良輔 他
＜料金＞¥6000(全席指定) ※未就学児童入場不可
＜お問合せ＞
キティフィルム 03-5428-0477
http://www.h4.dion.ne.jp/~tai-setu/

ブロードウェイミュージカル
『フロックとトード がま君と
かえる君の春夏秋冬』



●小学校の教科書にも採用されている名作絵本「ふたりはともだち」を原作としたミュージカルが、この夏に再登場! がま君とかえる君のはのぼりの心温まるお話は、子供から大人まで大人気。2匹のおかしき切ないやりとりを、素晴らしい楽曲とともに楽しみください。夏休み、家族揃って劇場へ!(宣伝担当)
●7/18◎王子北とびあさくらホール、8/15～23◎サンシャイン劇場※地方公演あり
原作◎アノルド・ローベル
上演台本・訳詞◎高橋亜子
演出◎鈴木裕美
出演◎石丸謙二郎 川平慈英 おかやまはな 他
＜料金＞大人¥6000 子供¥4000 親子ペア券¥9000(子供3才～小学6年生まで)
＜お問合せ＞
CATチケットボックス 03-5485-5999

りゅーとびあ能楽堂
シェクスピアシリーズ第六弾
『テンペスト』



●2008年、5カ国7劇場のヨーロッパツアーで喝采を浴びたシリーズ待望の最新作。和の精神と手法で、シェクスピアのイマジネーションが能楽堂にのみがえります。異才の能楽師・津村禮次郎、文学座の実力俳優・廣田高志、そして新潟の俳優たちが創り上げるシェクスピア最晩年の傑作です。(りゅーとびあ事業課)
●7/18～20◎誘仙会能楽研修所(東京公演)
構成・演出◎栗田芳宏
翻訳◎松岡和子
衣裳デザイン◎時田真吾
演出◎津村禮次郎 廣田高志(文学座) 山賀晴代 他
＜料金＞¥4500(全席自由)
＜お問合せ＞
ゴーチ・ブラザーズ 03-3466-0944
http://www.gorch-brothers.jp/

ブロードウェイミュージカル
『ピーターパン』



●1981年に神原都恵主演による日本初演から、今年で29年目。二度とない子供時代の素晴らしい思い出、大人たちには忘れかけていた大切なものを思い起こさせる不朽の名作が、今年の夏もやります。顔ぶれも新たに、また新しい魅力をお届けします!(ホリプロ制作)
●7/22～8/3◎東京国際フォーラム・ホールC

you have a great experience. (Enric Castaya / 作・演出)



●8/10～11、8/24～25
作・演出◇
Enric Castaya & Experience
<料金> 予約¥2800 当日¥3000 全ス
テージ通し券¥8000
<お問合せ>
CASTAYA project 080-3360-2180
http://castaya.exblog.jp
●チケット情報
8/10(月)、8/11(火)、8/24(月)、8/25
(火) 19:30の回 各回5名様

肉体関係

『48』



●肉体関係は、四十八手をもとに最高にエネルギーなダンスを立ち上げるべく結成された。京極は京都で山田せつ子、きたまり、らのもとダンサーとして活躍し、富松は「輝く未来」に在籍後フリーで活動の幅を広げている。東西で駆使し続けた肉体が今、夏のサミットに参戦! 肉体関係の四十八手は、一手たりとも見逃さない! (木村 / 制作)
●8/14～16
振付・演出◇京極明彦
<料金> 前売・当日共 一般¥1800 25歳以下¥1500 「肉体関係」ペアチケット ¥2000 (肉体関係をお持ちのお客様同土限定)
<お問合せ>
肉体関係 080-3780-0677
http://nikutai-kankei.blogspot.com
●チケット情報
8/14(金)、8/15(土) 19:00、8/15(土)、8/16(日) 14:00の回 各回2組4名様

初期型

『The Pop』



●初期型のモットーは愛すべきバカ、という。主宰のカワムラは愛すべきバカだ。これに出演するダンサーは愛すべきバカだ。これを観に来る人は愛すべきバカだ。初期型は初期型に関わる全ての人を愛すべきバカにする。これは大変危険な集団で、本当に面倒くさい奴らなのである。(スミ / 制作)
●8/18～19
構成・振付◇カワムラアツノリ
<料金> 前売¥2500 当日¥3000 (平日マチネは¥500割引)
<お問合せ>
初期型 090-7689-4756
http://shokigata.jugem.jp
●チケット情報
8/18(火)、8/19(水) 15:00の回 各回2名様

振子びん

『あの世』

●新作「sygyzy」で好評を博したダンサー・振付家の振子びんが、国内では一年半ぶりとなるソロ公演を行います。音楽にニルロー、MEI等での活動するスカンクを迎え、ダンサーと観客との交感を引き起こし、身体と肉体の交換を目論む、ダンス作品をつくります。この世の果

http://www.seinendan.org
※9/11～27◇アゴラ劇場公演あり

こまばアゴラ劇場主催・
舞台芸術フェスティバル
『夏のサミット2009』



●「地域のカンパニーが当たり前のように東京公演できる環境作り」を目的とする、こまばアゴラ劇場が主催による舞台芸術フェスティバル。フェスティバルディレクター杉原邦生 (KUNIO/木ノ下歌舞伎) により厳選された多彩なラインナップにご期待ください!
(サミット実行委員会)
●8/1～8/30◇こまばアゴラ劇場主催◇
南アゴラ企画・こまばアゴラ劇場
<お問合せ>
こまばアゴラ劇場 03-3467-2743
http://www.agora-summit.com

ザ・プレイボーイズ
『ばべるの塔の僕とガイジン』



●ザ・プレイボーイズなんでものをやります。モチたいからやります。今回は、なんだか世の中では「外国の人」ってだけでモチてるような気がしたので、どこの国の男もそんな変わんないよ、みたいな感じのお芝居にできたらなと思っています。モチる人を蹴落とすことで、自分がモチよう、みたいな魂胆です。(堀善雄 / 作・演出)
●8/1～5
作・演出◇堀善雄
<料金> 前売¥2000 当日¥2300
<お問合せ>
ザ・プレイボーイズ 090-3768-2958
http://the-playboys.net
●チケット情報
8/1(土) 15:00、19:30の回 各回2名様

F's Company
『マチクイの詩』



●「水」という生命の源。水が必要なものになってしまふ病に冒された人々。そしてその人々の魂を浄化する「詩」が、じつくりと染み込んでいく。この物語は、被害者である祖母から聞いた話を元に、被爆地・長崎と基地の街・佐世保をモチーフにした寓話で、今の長崎に住む僕から見た長崎の横顔を描いています。(福田修志 / 作・演出)
●8/8～9
作・演出◇福田修志
<料金> 前売¥2500 当日¥3000
<お問合せ>
フーズカンパニー事務局
095-848-9391
http://www.fs-company.com
●チケット情報
8/8(土) 14:00の回 2名様

CASTAYA project
『Are You Experienced?』
●Are You Experienced? is to be composed of some pieces created by the members of the Enric Castaya & Experience. We hope

●初老の夫婦が病気で失職し、家賃が払えずに公団を強制退去させられ、唯一残された車で四か月生活した後に衰弱死した13年前の事件を元に、小さな幸せの横溢する環境の中でさまよわずにいらぬ人々の暮らしを現すことにより、私達の脆さと脆弱さや焦燥を描いていきます。(焚火の事務所)
●8/6～9
作・演出◇三枝希望
出演◇工藤俊作 木村保 (兵庫県立ピッコロ劇場) 原真 (水の会) 全リンダ 山口晶子 他
<料金> 一般前売¥2800 一般当日¥3000 学生¥2000 (前売・当日共、要証明)
<お問合せ>
焚火の事務所 06-6647-8243
office-takibi@yahoo.co.jp
http://www.office-takibi.jp

青年団・南河内万歳一座
共同企画 南河内万歳一座公演
『S高原から』



●1980年大阪芸術大学有志により結成。「劇団」という演劇集団での実験を模索する。本公演は、青年団・南河内万歳一座、東西を代表する両劇団が4年がかりで実現した共同企画である。平田オリザの代表作「S高原から」を南河内万歳一座の集団アンサンブルと内藤裕敬のダイナミックな演出により、やかましい「S高原から」を上演する。(南河内万歳一座)
●8/18～23
作◇平田オリザ
演出◇内藤裕敬
出演◇鴨鈴女 藤田辰也 荒谷清水 三浦隆志 他
<料金> 一般前売¥3500 一般当日¥4000 学生・シニア (65歳以上) ¥3000 (劇団メール予約のみ取扱、要証明)
青春18歳差切符 (年齢差18歳以上のペア割引) ¥5500 (劇団メール予約のみ取扱、要証明)
セットチケット「青年団「青木さん家の奥さん」公演もご覧いただけます」¥6000 (青年団 03-3469-9107 電話のみ取扱)
<お問合せ> 南河内万歳一座
06-6935-0332 kawachi@banzai1za.jp
http://www.banzai1za.jp
※9/2～8◇アゴラ劇場公演あり

青年団・南河内万歳一座
共同企画 青年団プロジェクト公演
『青木さん家の奥さん』



●平田オリザを中心に1982年に結成。平田が提唱した「現代口語演劇論」を通じて新しい演劇様式を追求し1990年代以降の演劇界に大きな影響を与え続けている。即興芝居の名作と言われる内藤裕敬の「青木さん家の奥さん」を平田オリザの緻密な演出で織り成す青年団の世界へと生まれ変わらせ、「世界一静かな」青木さん家の奥さん」を目指します。(青年団)
●8/26～30
作◇内藤裕敬
演出◇平田オリザ
出演◇申瑞季 村井まどか 山本雅幸 宇田川千珠子 他
<料金> 一般¥3500 (前売・予約・当日共) 学生・シニア (65歳以上) ¥2500 (前売・予約・当日共、要証明) 高校生以下¥1500 セットチケット「青年団「青木さん家の奥さん」・南河内万歳一座「S高原から」の2公演をご観願いただけます」¥6000 (劇団電話のみ取扱)
<お問合せ> 青年団 03-3469-9107

体感・体験する＜場＞の演劇への起爆装置として接続を試みたい。のっぺらぼうたちが見張る監視社会、「光(欲望)の檻」に閉じ込められた人々、そのたどり着く先は……。 (林英樹 / 構成・演出)



●7/18～20
構成・演出◇林英樹
<料金> 前売¥2800 当日¥3000
<お問合せ> 090-6020-7391
taf2525@softbank.ne.jp
http://www.taf2.com/

『精華演劇祭vol.13
企画委員推薦! 演劇祭』



●二回目となる「企画委員推薦! 演劇祭」。精華演劇祭の企画委員は、舞台芸術の「現場」で活躍する、劇作家・演出家、プロデューサー、ライターなどで構成されています。その企画委員が自信を持って「今、ここ(精華)で、観て欲しい!」と推薦する5作品を、2ヶ月間に渡って連続上演します。(精華演劇祭実行委員会)
●7/17～8/30◇精華小劇場
<お問合せ>
精華小劇場
06-6643-7692 (11:00 18:00)
info@seikatheatre.net
http://www.seikatheatre.net

千日前青空ダンス倶楽部
『アカイノハナ』



●<身体>を予め用意されたイメージを表現するための媒体として考えるのではなく、<身体>それ自身に記憶されている風景や歴史を引き出すことにより作品を創作。静謐さとユーモアをポップに感覚させる作品は、舞踏を身体性の基におきながらも独自の表現として注目されている。(千日前青空ダンス倶楽部)
●7/17～19
作・演出◇紅玉
出演◇福吉 あやめ 小つる ばたん かがり 他
<料金> 一般前売¥2800 一般当日¥3000 学生・障がい者前売¥2500 障がい者十介券¥3000
<お問合せ>
千日前青空ダンス倶楽部
072-873-0162
sen-azozora@hotmail.co.jp
http://hwm7.gyao.ne.jp/sen-azozora/

焚火の事務所
『硝子の声』



劇団暇だけドステキ 第18回公演
『ビッグスター ブルース』



●光り輝くスターがある日パッキリ割れてしまった! 1つの光だけでは世の中にハッピーは望めない! 何としても割れちゃったスターを元通りにするのだ! 混迷極めるミッション! にあの男達が立ち上がった! その名も正義のストーカー-ASSC!! アンニイハッピーなアイツ等がスターを救う! 旗揚げ11年目の劇団暇だけドステキがお送りする新しいヒーロー達のお話! この夏はアイツ等を見逃すな! (井上キホー / 作・演出・出演)
●7/18～20
作・演出・出演◇井上キホー
出演◇飯島和敬 おさみさ 白井宏幸 野村千寿子 堀真也 大賀俊朗 他
<料金> 前売¥2000 当日¥2300
<お問合せ> 劇団 090-3973-2966

第三回岸田理生
アバンギャルドフェスティバル
『リオフェス2009』



●20代、30代、40代、50代、60代、世代を超えた5劇団、岸田理生の生に集結!
●7/14～20◇日暮里d-倉庫
主催◇理生さんを偲ぶ会
共催◇参加各劇団
助成◇芸術文化振興基金(申請中)
提携◇南アゴラ企画・こまばアゴラ劇場 d-倉庫
<お問合せ>
045-663-3082
http://www1.ocn.ne.jp/~munakata/rio/

害獣芝居
『火学お七』



●害獣芝居は、演出・浅沼ゆりあを中心に、2006年12月、「銀河鉄道」の上演を以て旗揚げされた。「言葉」「肉体」「空間」の三要素に重点を置き、それら一つ一つを深める作業。そしてこの三つを一つの極みへと持っていく作業。この二つが重なる事で、独自の世界観を持った作品が生み出されている。演劇の無限の可能性を信じ、戯曲だけに捕われぬテキスト選び、肉体を用いた独自の表現方法の探求など柔軟な姿勢で、様々な角度から精力的に活動を行っている。(浅沼悠里亜 / 構成・演出)
●7/14～16
構成・演出◇浅沼悠里亜
<料金> 前売・当日共¥2500
<お問合せ>
090-9321-1344
gaijyu500@hotmail.co.jp
http://gaijyu.com

テラ・アーツ・ファクトリー
『マテリアル／糸地獄』

●「糸地獄」は近代日本形成期の最下層で、奴隷のように働かされる女性たちを前提に展開される。記憶を失った人の匿名少女の自己探索物語である。私たちは原作の筋骨や物語から離れ、そこから発せられる匂いと触感を頼りにくいま、ここに在る私たち自身の「生」を

B席¥5000(東京公演) ¥4000(大阪公演) (全席指定・税込)
<お問合せ>
梅田芸術劇場 06-6377-3800
www.umegei.com

and so on
『memory』



●昨年8月に続き「and so on」プロデュース公演第2弾。舞台は1975年のとある下宿屋。急速祖母の代わりに管理人を任されることになった美結。無駄に個性の強い6人の住人とそこに入り出する人たちの憧れとくもどこか温かみのある一つ屋根の下の物語。(蜂須賀智隆 / 脚色・演出)
●9/9～13◇築地本願寺ブディストホール
脚色・演出・出演◇蜂須賀智隆
出演◇西舘さきり 後藤英樹 岸哲生 船戸慎士 嵯崎しづま 他
<料金> 前売¥3500 当日¥3800 (日時指定・全席自由)
<お問合せ>
and so on 080-4124-6111
http://andsoon.jp/



一心寺シアター倶楽

『7・5・3企画』



●7・5・3企画とは一心寺シアター倶楽が企画する劇団支援プログラムです。若手劇団に限らず、今一番アツい劇団を広く募集・発掘し、倶楽の広い舞台で思う存分暴れてもらうことが狙いです。一昨年より一般審査員による演劇賞を設け、どこの演劇祭にも負けないレベルな公演を行っているのが強み。(7・5・3企画プロデューサー 藤原治基)
●7/10～20◇一心寺シアター倶楽
<お問合せ>
一心寺シアター倶楽 06-6774-4002

感動Factory
『百花繚乱～夏の夜物語～』



●いにしえより燃え続ける火があるという。「幸せをもたらす火」その火を求め江戸からやって来た二人の男。そして三河の花火師二人。一方、その火を守る者達もいる。幸をもらす火とは? 求める者とする者達の行く末は? 百花繚乱、豪華演出でお届け致します。(咲華 / 作・演出)
●7/10～12
作・演出◇咲華
出演◇内川篤郎 坪井尚 上中裕之 熊田洋司 田中智香子 他
<料金> 前売¥2500 当日¥2800
<お問合せ>
劇団 090-8454-4689

さくらさくらカンパニー 第10回公演
ミュージカル
『プリンセス・ダイアナ
The Eternal Rose』
●人々の「心の王妃」になりたい。今も多くの人の心に生きるイギリス元皇太子妃ダイアナ。1997年8月31日、36歳という若さで逝った彼女が、短い人生の中で見つけたものは何だったのか……。今まで誰も焦点を当てなかった、ダイアナ元皇太子妃の心の真実の葛藤と成長を新しい観点で描く、さくらさくらカンパニーがお届けする珠玉のミュージカル。……そして彼女は伝説となった……。 (FA企画)



●8/23◇もと飛鳥人權文化センター
脚本・演出◇中野圭子
出演◇大浦薫 車月風夢 夢月帆 八田幸恵 葵かずき 他
<料金>
前売・当日共¥2500 (全席指定)
<お問合せ>
FA企画 sakura@fakikaku.com
http://fakikaku.com
●チケット情報
8/23(日) 14:00の回 5組10名様

初日が
8月27日～9月9日の公演

元祖演劇乃素いき座 第30回公演
『阿房列車』



●物語りは無い。公園の隅だまりで刻を過ごす初老の夫婦と通りすがりの若い娘がふとした好奇心で交す言葉の織成す人生の機微と深淵の蜃気楼。1991年度初演の「阿房列車」は以来19年間に亘り、毎年繰り返し上演され、数百年のステージ数を重ねる中で、その作品の生命力を潤らす事なく再生し続ける世紀末演劇の傑作です。(土井通堂 / 演出)
●8/27～30◇アトリエ春風舎
作◇平田オリザ
演出◇土井通堂
出演◇郎重美 森下真理 土井通堂
<料金>
前売¥2800 当日¥3000
<お問合せ>
元祖演劇乃素いき座事務所
09-7711-7424

『The Musical AIDA』



●2003年、宝塚歌劇で上演され、演劇シーンに大旋風を起こした「王家に捧ぐ歌」が、新たにオリジナル・ミュージカルとして上演されます。本年4月、惜しまれつつ宝塚を退団した安蘭いけが、女優デビュー作品としてアイダ役に挑みます。この秋、ブロードウェイミュージカルを超える日本のミュージカルが姿を現します。(広報宣伝担当 梅田芸術劇場)
●8/29～9/13◇東京国際フォーラムホールC(東京公演)、9/18～10/4◇梅田芸術劇場 メインホール(大阪公演)
出演◇安蘭いけ 伊礼彼方 ANZA 他
<料金> S席¥12000 A席¥8000



●8/21～24◇劇団シアターOMスタジオ「桜川三丁目劇場」
原作◇藤田和日郎
脚本◇村田吉穂 (はあとぷりっじ)
脚色・演出◇福森誠
出演◇福森誠 たむらめぐみ 北和輝 他
<料金>
前売¥1500 当日¥1800 (全席自由)
<お問合せ>
劇団シアターOM
06-4392-8515
om@art.email.ne.jp
http://theater-om.com/
●チケット情報
8/23(日) 18:00の回 3組6名

TSミュージカルファンデーション
『天翔る風に』



●野田秀樹さんの「眞作 罪と罰」に携わった時、これはミュージカルになるという予感がありました。演劇とミュージカルは楽しみ方がまた違うものです。音楽や振付を足すことで野田さんの作った舞台とはまた違う味が出たと思います。ええじゃないかの踊りを踊る大衆を背景に、幕末の江戸を疾走した若いエネルギーを堪能して下さい。(謝珠栄 / 演出・振付)
●8/21～30◇東京芸術劇場 ※地方公演あり
原作◇野田秀樹
演出・振付・ミュージカル台本◇謝珠栄
音楽◇玉麻蘭
出演◇香寿たつき 山崎銀之丞 戸井勝海 今拓哉 阿部裕 他
<料金> S席¥9000 A席¥6000
<お問合せ>
TSミュージカルファンデーション
03-5738-3567
東京芸術劇場
03-5985-1707

『ドリアン・グレイの肖像』



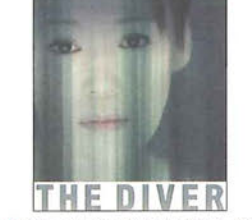
●若者を中心に人気を博す伊坂幸太郎の小説を初舞台化。ウォーキング・スタフでおなじみの和田憲明が脚色、演出を担当。出演者には香川照之、ラサール石井、中川晃教ら魅力的で異色な顔ぶれが揃いました。人間界に降り立ったミュージック好きな「死神」と人間とのやりとりをクールに時にはコミカルに描きます。(石井光三オフィス制作)
●8/21～31◇シアターラム
原作◇伊坂幸太郎 (文春文庫刊)
脚本・演出◇和田憲明
出演◇香川照之 中川晃教 鈴木省吾 ラサール石井
<料金>
前売・当日共¥6300 (全席指定・税込)
<お問合せ>
石井光三オフィス
03-5428-8736 (12:00 18:00)

劇団シアターOM
『うしろ』プロジェクト 第五弾
『うしろとら』
『第六章あやかし海』
●大阪の劇団シアターOMが原作者・藤田和日郎先生の認可のもと、なんと漫画「うしろとら」をど んと完全舞台化! 昨年12月からスタートした本企画も大好評の第五弾! 今回の演目は、「あやかし海」! 集え! 獣の槍のもとへ!! 走れ! 桜川三丁目劇場へ!! (うしろとら) プロジェクト制作部)

客演◇真那胡敬二
<料金>
指定席¥5000 自由席¥3500
<お問合せ>
結城座 042-322-975
http://www.youkiza.jp

初日が
8月20日～8月26日の公演

『ザ・ダイバー』



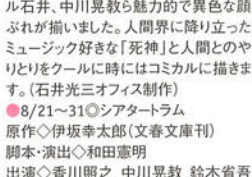
●昨年、ロンドンと東京で上演され、好評を博した野田秀樹「THE DIVER」が、希望の日本人キャストで生まれ変わる! 能曲「海人」や「源氏物語」を現代の事件にとり込んだ重層的なサスペンスは、芸術監督・野田としての初上演作品。多重人格的な難役を演じる大竹しのぶを始め、実力派キャストからも目が離せない!! (芸劇広報担当)
●8/20～9/20◇東京芸術劇場・小ホール1
作・演出◇野田秀樹
出演◇大竹しのぶ 渡辺いっけい 北村有起哉 野田秀樹
<料金>
一般¥6500 サイドシート¥3000 (25歳以下¥1000 劇場チケットサービスのみ取扱)
<お問合せ>
東京芸術劇場チケットセンター
03-5985-1707
http://www.geigeki.jp.

石井光三オフィスプロデュース
『7Days Judgement (ジャッジメント) 一死神の精度一』



●若者を中心に人気を博す伊坂幸太郎の小説を初舞台化。ウォーキング・スタフでおなじみの和田憲明が脚色、演出を担当。出演者には香川照之、ラサール石井、中川晃教ら魅力的で異色な顔ぶれが揃いました。人間界に降り立ったミュージック好きな「死神」と人間とのやりとりをクールに時にはコミカルに描きます。(石井光三オフィス制作)
●8/21～31◇シアターラム
原作◇伊坂幸太郎 (文春文庫刊)
脚本・演出◇和田憲明
出演◇香川照之 中川晃教 鈴木省吾 ラサール石井
<料金>
前売・当日共¥6300 (全席指定・税込)
<お問合せ>
石井光三オフィス
03-5428-8736 (12:00 18:00)

結城座
『乱歩・白昼夢』



●乱歩繚乱! 江戸糸あやつり人形結城座創立375周年記念第一弾は江戸川乱歩。乱歩自身も観たという結城座の「写し絵」で乱歩に挑む一大プロジェクト。斎藤樹に宇野亜喜良、そして、群集役には一般からエキストラを募集しました。記念の年にふさわしい、強力かつ実験的布陣でお届けします。真夏の午後、結城座の芝居で夕涼みしませんか? (詳しくは結城座HPをごらんください) (結城座)
●8/19～23◇東京芸術劇場・小ホール2
作・演出◇斎藤樹
意匠(人形美術・写し絵・画 / 舞台美術・衣裳デザイン)◇宇野亜喜良
音楽(生演奏)◇黒色すみれ
出演◇十二代目結城孫三郎(三代目両川船遊) 結城千恵 他 結城座

『風を継ぐ者』

さて、その『風を継ぐ者』。8年振りの再演です。初演からは13年も経ってしまいました。今回はキャストをほぼ「新し（すみません僕だけが同じ役です）」、21世紀の新しい『風を継ぐ者』を作ろうとみんなで大汗かきながら闘っています（8年前も21世紀じゃないのかっ！）……あつ（気づくのおせよ！）。

なにしろ、初演と再演に出演していた

彼らにしても、初演や再演の『風を継ぐ者』を入団前に観ていたり、ビデオで

特に20代や30代前半までは、それでいいんじゃないかと思えます。がむしろに

☆☆優勝しよう、浦和レズ2009☆☆

西川浩幸の 素晴らしい人生 2009 ギャグ人生

皆さん、お元気ですか？ もうすぐ夏です。花火大会が気になる季節になりました。この気持ち、毎年必ずやってくるんです。花火大会の特集の雑誌を買ったり、日程を調べたり……もう、もう、気が狂いそうです。なんだろう、この気持ち？ ところが今年、花火大会が開催される頃は「丁度『風を継ぐ者』の本番中なんです。あらら。せかしく武士の姿で見物に出掛けようと思っていたのに残念です（嘘つくなっ！）……実は一日だけ行ける大会があるんですがね！ 本番中だから花火大会と混雑するからなくどうしようかな（勝手に）行くんですよ。」

さて、その『風を継ぐ者』。8年振りの再演です。初演からは13年も経ってしまいました。今回はキャストをほぼ「新し（すみません僕だけが同じ役です）」、21世紀の新しい『風を継ぐ者』を作ろうとみんなで大汗かきながら闘っています（8年前も21世紀じゃないのかっ！）……あつ（気づくのおせよ！）。

彼らにしても、初演や再演の『風を継ぐ者』を入団前に観ていたり、ビデオで

特に20代や30代前半までは、それでいいんじゃないかと思えます。がむしろに

☆☆優勝しよう、浦和レズ2009☆☆



「半日な日々」

にしかわりゆき◎64年生まれ、東京都出身。85年に演劇集団キャラメルボックスに入団。以来看板役者として活躍。

次回予定◎演劇集団キャラメルボックス『風を継ぐ者』7/11～8/9 サンシャイン劇場、8/14～16 宝塚大劇場、8/20～25 シアターBRAVA!

水橋研二と町田マリーの運命の夫婦!!
『美代子阿佐ヶ谷気分』



●青春劇画の金字塔と呼ばれた同名漫画のほか、数ある短編をたどりながら、伝説の漫画家・安部横一の実像と漫画のモデルとしても彼を支え続けた妻・美代子との愛を描く。主演の水橋研二、そして町田マリーが運命の夫婦を熱演。主題歌はSPARTA LOCALS。70年代の光と影を経験しながら今を生きて表現者の姿が心に残る力作です。（細谷隆広／宣伝担当）
●7月4日（土）よりシアター・イメージフォーラムにてロードショー
監督◎坪田義史
出演◎水橋研二 町田マリー 本多章一 松浦祐也 あんじ 佐野史郎 他
＜配給＞ワイズ出版
http://miyoko-asagaya.com

竹中直人による娯楽大作
『山形スクリーム』



©2009 映画『山形スクリーム』製作委員会

●学生の頃から数えて映画作り、30年以上の竹中直人が、バカバカしいモノをつくりたいとついに本性本領発揮！とでもいふ映画を作ってしまった！（山形）設定は落武者と闘う女子高生たちの愛と友情の物語。シュール&ゆるいネタが満載の娯楽大作が今年の夏の曇りを和らげます。（宣伝ドロップ）
●8月1日（土）より全国ロードショー
監督◎竹中直人
出演◎成海璃子 AKIRA マイコ 竹中直人／沢村一樹 他
＜配給＞ギャガ・コミュニケーションズ
http://yamagatascream.gyao.jp

お父さん役は阿部サダヲ
『ぼくとママの黄色い自転車』



©2009 『ぼくとママの黄色い自転車』製作委員会

●「ママはきっと、ぼくを待ってる」愛犬アンと共に少年は小豆島目指して旅に出た。母が記憶を失っていることを知らずに……発売当初、「涙でページがめくれない」と話題になった新堂冬樹のベストセラー『僕の行く道』が待望の映画化！ 普段はコミカルな阿部サダヲさんのシリアスなお父さん役にも注目です。（宣伝ドロップ）
●8月22日（土）より全国ロードショー
監督◎河野圭太
出演◎武井証 阿部サダヲ 鈴木京香 他
＜配給＞ティ・ジョイ
www.bokumama.jp

五反田の前田司郎が脚色！
『童貞放浪記』

●五反田の前田司郎が脚色し、出演も古館寛治、松井周、内田慈、志賀廣太郎、綾田俊樹、木野花など演劇ファンには馴染みの顔が並びます。主演は山下敦弘監督作品の常連役者・山本浩司。彼が30歳、童貞、東大出身の男を



photo:Yoichi Tsukada

●8/7～9◎あうるすぽっと
振付・演出・出演◎KENTARO!!
＜料金＞前売一般¥3000 学生¥2500 当日¥3800 青春3人割引（20歳未満セット券）¥6000
＜お問合せ＞CAN 03-5457-3163
http://www.cancancan.co.jp/

CAN×東京ELECTROCK STAIRS
プロデュース公演
『対ダン!!』



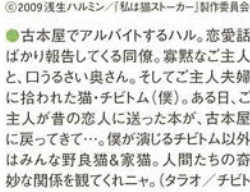
photo:Yoko Kida

●対ダン = 「対バン」のダンス版。記念すべき第一弾には、注目のダンサー・振付家KENTARO!!率いる「東京ELECTROCK STAIRS」が新作、話題のダンスカンパニー「KIKIKIKIKIKI」が関西より東京初演作品、マルチな活動で人気の劇団「ヨーロッパ企画」がショートピース集で参戦します！（CAN制作担当）
●8/22～23◎吉祥寺シアター
出演◎KIKIKIKIKIKI ヨーロッパ企画 東京ELECTROCK STAIRS
＜料金＞
前売一般¥3500 学生¥3000 当日¥4000
＜お問合せ＞CAN 03-5457-3163
http://www.cancancan.co.jp/



©2009 映画『true picture』製作委員会

徳井優と坂井真紀の夫婦が顔しています
『私は猫ストーカー』



©2009 映画『私は猫ストーカー』製作委員会

●古本屋でアルバイトするハル。恋愛話ばかり報告してくる同僚。寡黙なご主人と、口うるさい奥さん。そしてご主人夫婦に拾われた猫・チビム（僕）。ある日、ご主人が昔の恋人に迷った本が、古本屋に戻ってきて……。僕が演じるチビム以外はみんな野良猫&家猫。人間たちの奇妙な関係を観てくれニャ。（タラオ／チビム役）
●7月4日（土）よりシネマート新宿ほか全国順次公開
監督◎鈴木卓朗
原作◎浅生ハルミン
出演◎星野真里 江口のり 宮崎将 徳井優 坂井真紀 他
＜配給＞
http://nekostalker.jp/
●チケット情報
5組10名様

い活躍めざましい活躍をみせる川口ゆいのパレス。「港」をテーマに展開する朗読、音楽、ダンスのコラボレーション。（伊藤／制作）



●7/11～12◎横浜赤レンガ倉庫1号館3Fホール
出演◎多和田葉子（自作朗読）高瀬アキ（ピアノ）ルイス・スクラヴィス（バスケット）川口ゆい（ダンス）
＜料金＞一般¥3000 ペア券¥5000 学生（24歳以下）¥2000
＜お問合せ＞
神奈川県民ホールチケットセンター
045-662-8866
http://www.kanagawa-arts.or.jp

『3D』



photo:Hirofumi Daido

●パレエ×コンテンポラリーダンス×ストリートダンス。世界が注目するパレエダンサー・振付家・服部有吉が、コンテンポラリーダンサー・辻本知彦、プレイクダンサー・群青に出会う。ジャンルを超えて誕生する、新たなダンスのエネルギー。この夏、一番の話題作！（CAN制作担当）
●7/31～8/2◎あうるすぽっと
演出◎服部有吉 辻本知彦 群青 松永貴志（ピアノ）
＜料金＞前売¥6000 当日¥6500（全席指定）
＜お問合せ＞CAN 03-5457-3163
http://www.cancancan.co.jp/

『true/本当のこと』



©PLASTIC RAINS

●先端テクノロジーの分野で活躍するアーティストが集結し、インタラクティブな舞台空間を生み出した。2人のパフォーマーに装着された「筋電センサー」により、パフォーマーの動きは音・光・映像と同期する。舞台表現におけるテクノロジーと身体の関係性は、新たなステージを迎える！（true制作部）
●8/6～9◎シアター・トラム
振付・演出◎白井剛 川口隆夫
演出・照明◎藤本隆行
音響・振動・システムデザイン◎真鍋大度 デバイスプログラミング◎石橋素 他
＜料金＞一般前売¥3500 当日¥3800（全席指定）
＜お問合せ＞
http://true.gr.jp/

ダンバリ vol.2
KENTARO!! ソロ公演
『SADAME no MIKATA wa.』
●HIPHOPテクニックをベースにした自由な発想のコンテンポラリーダンス作品で注目を浴び、いま最速に乗るダンサー・振付家、KENTARO!!。1年ぶりとなる待望の新作ソロ公演では、独自のKENTARO!!ワールドが新たな展開をみせました！ KENTARO!!の新たな魅力を期待下さい。（CAN制作担当）

出演◎姉様キングス（桂あやめ・林家染雀）桂ばはん嬢 おしどり 他
＜料金＞前売¥2500 当日¥3000
＜お問合せ＞
一心寺シアター倶楽
06-6774-4002

中・高年ミュージカル劇団発起塾
『大復活 その気にさせないで編』

●発起塾（ほっきじゅく）は50歳以上のミュージカル劇団。最近ではシニア劇団といえる発起塾といわれるぐらいまでに成長。今年は新作『復活』を引っ提げての登場。発起塾の人気レポート『キャバレー』の続編で、前回からまたパワーアップしたショータイムとストーリー展開が楽しめる演出。（秋山シュン太郎／代表）



●9/18～27
作・演出◎秋山シュン太郎
出演◎発起塾選り抜きチーム
ゲスト◎高石紅白 安川晶子 中岡優介
＜料金＞前売¥2500 当日¥2800 学生¥1000（高校生まで）
＜お問合せ＞
中・高年ミュージカル劇団発起塾（NPO法人）0120-86-2615
hokkimaill2000@hokkijuku.net



じゅんじゅんSCINE
『D_E_S_K』



©PLASTIC RAINS

●機・機・機つきのダンス公演！『掌編ダンス集』などのレポートを持つダンスカンパニー モノクロームサーカス（京都）が、視覚をあやつる独自のムーヴメント演出で魅了する元「水と油」メンバーで振付家・ダンサー・じゅんじゅん（東京）と初のコラボレーションをする。舞台美術にはgraf、音楽製作に山中浩が加わり、新たなテーブルピースにご期待ください！（DESK制作）
●7/10～12◎アトリエ劇研（京都公演）、7/20～26◎こまばアゴラ劇場（東京公演）
上演作品◎3作品上演
『緑のテーブル』/じゅんじゅん×モノクロームサーカス×graf（舞台美術）×山中浩（音楽）
『deskwork』/じゅんじゅん×モノクロームサーカス
『さきほし水の家』/『掌編ダンス集』より日替上演
＜料金＞前売一般¥2500（当日+¥300） 学生¥2300（当日+¥200）（京都公演）、前売一般¥3000 学生¥2500（両券当日+¥300）（東京公演）
＜お問合せ＞
モノクロームサーカス 075-722-2878
www.monochrome-circus.com

多和田葉子×高瀬アキ
『横浜発 一鏡像』
●横浜開港150周年を記念した特別企画。芥川賞作家・多和田葉子によることば遊びに溢れるテキスト、ジャズピアニスト・高瀬アキの弾むピアノと即興音楽の鬼才・スクラヴィスのクラリネット、そして

Dance Project / 制作部）
●9/5～6
演出・構成◎飯干未奈
出演◎飯干未奈 Dance Company
BLUE ROSE 新世界ゴールデンファイナンス マユリ・ユキコ tama 舞踏派詩人 マーベラス Miss Cabaretta 他
＜料金＞テーブル席前売¥4000 当日¥4500（テーブル席は各公演限定24席）
前売¥3500 当日¥4000
＜お問合せ＞
BLUE ROSE Dance Project
080-6149-2582

Low Powers プレゼンツ
『伝説の司会者としての福山しゅんろう』



●名が体をあらわすとの脱力系コント集団「LowPowers」。ノリと勢いでキャバレー ラルージュに登場!! せっかく舞台がキャバレーならコントなんかにかこたわってられない!? 出来ない楽器も練習せねば!! 出来ないダンスも練習せねば!! もう若手と呼んでもらえない体をして、一心寺シアターでどうはじけるか!? 1回だけのプレミアム公演。さてはて、どうなりますことやら。（チャーハン・ラモーン／構成・演出）
●9/9
構成・演出◎チャーハン・ラモーン
出演◎福山しゅんろう（まじくらじお）井田貴仁 大宮将司 桂正樹 片岡百萬両（ミンコト・ボ）他
＜料金＞前売・当日共¥2000
＜お問合せ＞
Low Powers事務局
lowpowers@gmail.com

真紅組プロデュース
『N・E・O・N』



●1920年代、魔都と呼ばれた上海の片隅に、小さなキャバレーがあった。夜の帳が降りると、国も世界も仕事も違う男たちが集まって来る。そこには美しく艶やかに踊る女たちの別世界があった。魔都の裏で生きる、美しくもたくましく、惨い女たちの夢と愛が交錯する大河浪漫物語。（真紅組／制作部）
●9/11～13
演出◎阿部達子
演出◎諏訪誠
出演◎愛机男 阿部達子 野村ますみ 山本美和子 他
＜料金＞前売¥3000 当日¥3500 学生前売¥2000 学生当日¥2500
＜お問合せ＞真紅組 090-8201-4620
akagumics@yahoo.co.jp
●チケット情報
9/12（土）、9/13（日）18:00の回
各回2組4名様

BLUE ROSE Dance Project
『La Revue de Cabaret』



●BLUE ROSE Dance Project がお届けするキャバレー ラルージュも今回で3回目。今年は、世界のレヴィンショーをメインに、キャバレーの夢の世界と娯楽を兼ねていただける内容です。セクシーは物陰、アートなキャバレー、コメディ、そして、歴史に残っている数々のセクシーダンスも登場。豪華で華やかなキャバレーショーをお楽しみ下さい。（BLUE ROSE

二代目を継いだ支配人のアキラはボーイたちとともにかつての栄光を取り戻すべく打開策を考える。果たして、ショーはできるのか。そして、竜崎の正体は。店の行く末は。夢を叶えるために、苦しみを乗り越えて成長しゆく若者たちの姿を描いた爽快青春ミュージカル。（OSK日本歌劇団／制作部）
●8/28～30
作・演出◎吉峯孝子
出演◎桜花界ほる チェリー・ガールズ（珂達こころ 恋羽みう 白藤麗華 瀬乃明日華）他
＜料金＞テーブル席前売・当日共¥5500（テーブル席は各公演限定24席）
前売・当日共¥5000（全席指定）
＜お問合せ＞
OSK日本歌劇団事務局 06-6362-8838

音楽ライブ in キャバレー・ラルージュ
『俺たちのセクシー』
～それぞれのバンドがそれぞれのやり方で「セクシー」を競おう～



●出演バンドが動員人数に合わせて150分をシェアする! 動員人数30名なら演奏時間は30分、動員3名なら演奏時間は3分……さてさて、予定の演奏時間を使えるのか?（倶楽／制作部）
●9/2～3
出演（9/2）◎ゴスベル伊藤ひろみ 中・高年バンドおやじバンド ThanQ Blas Orchester hanji 他
出演（9/3）◎アカバグループStock×Stock 発起塾おげんきバンド Sexy& Funkyデュオもしかしーズ 重夢&篠音（和太鼓・篠音）他
＜料金＞前売・当日共¥2500
＜お問合せ＞
一心寺シアター倶楽 06-6774-4002

南樹里&SOUTH WIND
『BOY meets GIRL』



●キャバレー企画の定番ともなったジャズライブ。今回は南樹里と嶋村光彦を中心に構成。男女のボーカルで大人の雰囲気を感じて頂きます。秋の夕べを素敵な歌声と共に酔いしれてください。（倶楽／制作部）
●9/4
出演◎南樹里（vo）嶋村光彦（vo）岩崎恵子（pf）樋口英一朗（bs）佐藤ひでり（ds）安次直樹（key board）みなね二郎（sax）高見浩之（tp）
＜料金＞前売・当日共¥3000
＜お問合せ＞
一心寺シアター倶楽 06-6774-4002

BLUE ROSE Dance Project
『La Revue de Cabaret』



●BLUE ROSE Dance Project がお届けするキャバレー ラルージュも今回で3回目。今年は、世界のレヴィンショーをメインに、キャバレーの夢の世界と娯楽を兼ねていただける内容です。セクシーは物陰、アートなキャバレー、コメディ、そして、歴史に残っている数々のセクシーダンスも登場。豪華で華やかなキャバレーショーをお楽しみ下さい。（BLUE ROSE

てにある舞踊を踊ります。（振子びじん／振付・出演）



●8/21～23
振付・出演◎振子びじん
＜料金＞前売¥2500 当日¥2800
＜お問合せ＞
振子びじん 090-9841-4621
http://www.geocities.jp/neijipijin

コマツ企画
『新釈 ヴェニスの呆人2009』



●気がついたら結成7年くらいです。今回はちょっとビョーキっぽい話ですが、いつもではありません。今回の演出の目標は「感覚の言語化」です。意味不明ですね。身体とアイデンティティがテーマ。人の心は何処にあるのか。頭か。心臓か。右手か。眼か。男性器か。数年前の公演『ヴェニスの呆人』新釈版です。昔は、エロくて、突き抜けてバカバカしかった。今回はどうなるでしょう。（こまつみちる／作・演出）
●8/27～30
作・演出◎こまつみちる
＜料金＞前売¥3000 当日¥3200
＜お問合せ＞
コマツ企画 090-4385-557
http://komatsukikaku.com
●チケット情報
8/28（金）14:00の回 6組12名様

一心寺シアター倶楽
特別エンターテイメント企画
ショー キャバレー
『ラルージュ』第3弾OPEN!!



●「一か月間限定のちょっと大人な空間」一心寺シアター倶楽5周年記念事業として開催したこの企画も好評のうちに3年目を迎えることとなりました。劇場でこんな贅沢な一日を過ごすことができました!とお褒めの言葉をいただきました。秋の夕べを素敵な歌声と共に酔いしれてください。（倶楽／制作部）
●9/4
出演◎南樹里（vo）嶋村光彦（vo）岩崎恵子（pf）樋口英一朗（bs）佐藤ひでり（ds）安次直樹（key board）みなね二郎（sax）高見浩之（tp）
＜料金＞前売・当日共¥3000
＜お問合せ＞
一心寺シアター倶楽 06-6774-4002

OSK日本歌劇団
『Dream Again!』



●とある歌謡曲にある古びたキャバレーは過去の栄華にすぎず現在は閑古鳥。

えんぶ エンタメ計画

この計画は「つくる人」と「みる人」をつなぎ、演劇の楽しさをより多くの人たちに伝えたい“観劇活性化キャンペーン”です。もちろんその中で、わたしたちもたくさん楽しみつつ、(少しだけ)たいへんな思いもしてみようと思っています。

演劇エンターテインメントサイト

演劇キック 7月中旬オープン!

演劇の現場やその周辺でめざましく活動している人たちは日々どんなことを考えているのでしょうか? 演劇人のコメントからその源を探るコーナーなど、見てると勇気がわいてくるようなHPにしていきます。



<http://www.enbu.co.jp/kick>

enTRANCE



演劇系フリーペーパー

enTRANCE 10月創刊!

近々公開を控えた公演や旬の演劇人の魅力について、ダイレクト&シャープに迫る演劇系フリーペーパー。もちろん、公演情報や関連情報、コラム等も多彩に企画。主に首都圏の劇場にて配布予定です。

えんぶ特選チケット販売システム えんぶチケット 9月初旬発売開始!

演劇ぶっくが入手した、枚数限定の特選チケットを会員の皆様に割引で販売いたします。ラインナップは9月9日発売の演劇ぶっく誌上や、HP演劇キック、モバイルなどお知らせいたします。

演劇ぶっくオフィシャル携帯サイト

演劇ぶっく[携帯版] リニューアル!

お得な特選チケット情報や、演劇人たちの日々のつぶやき、演劇ぶっく編集長のコラムなどを掲載。編集長曰く「何はともあれ、やってみることが大切です。なんとかなりますって」……ご期待ください。

直接アクセス

<http://kmaga.jp/engekibook/>

空メールで

eb@kmaga.jp

QRコードで



あらゆるジャンルの音楽と演劇が
ディープに錯綜する!
Piper First Live 2009
『Deep Piper in Rock』



●演劇集団Piperメンバーによる音楽ライブが、ついに実現! 自らのバンドを率いる山内圭哉、デュエット歌手「後藤二人(ふたひと)」として歌手デビューを目論む後藤ひろひと、「芝居バンド」経験のある川下大洋、ダンスはもちろん音楽への造詣も深い竹下宏太郎。果たして腹筋善之介は一体なにをするのか? 今こそ期待!(川下大洋・Piper)
●7/22◎BICCAT(大阪)/7/30◎LIQUIDROOM(東京)
構成◎後藤ひろひと
出演◎Piper(川下大洋 後藤ひろひと 山内圭哉 竹下宏太郎 腹筋善之介)他ゲスト多数
＜料金＞前売¥4900(ドリンク¥500 付き、整理券番号付き、税込) 当日 ¥5300
＜お問合せ＞キョードーチケットセンター 06-7732-8888(大阪)、サンライズプロモーション東京 0570-00-3337(東京) <http://www.piper-z.com/>

～近藤良平、コンドルズ、池袋大作戦!!池袋の街で盆踊り大会開催～
おどっておどって盛り上げよう!
『「にゅ〜盆踊り」大会』



●青木司 2008あうるすぽっとにゅ〜盆踊りより
●近藤良平、コンドルズと一緒に池袋の街で盆踊り大会に参加しませんか? 浴衣歓迎・老若男女OK! 参加無料・事前予約不要・雨天要問。当日、ぶらっと遊びに来てください! コンドルズオリジナル盆踊り(にゅ〜盆踊り)をメンバーと一緒に踊って、踊って池袋の街をジャックしちゃいましょう!!(広報宣伝担当)
●8/23◎池袋西口公園
出演◎近藤良平 コンドルズ 当日ご来場の皆様 他
＜参加費＞無料・予約不要
＜お問合せ＞あうるすぽっと 03-5391-0751 <http://www.owlspot.jp>

えんぶ情報館について

今回は9月9日～11月10日の公演を掲載します。この期間に公演をご予定の方は、7月20日頃までに編集部へ企画書などをお送りください。掲載をお願いする場合、担当よりメールにてご連絡いたします。

れない特典映像満載のDISC付。(メディアファクトリー宣伝担当)



●脚本・監督
◇ケラリーノ・サンドロヴィッチ
出演◎成海璃子 永山絢斗 段田安則 犬山イヌ子 大倉孝二
＜価格＞2枚組¥4935(税込)
＜発売日＞8/7
＜発売＞CCRE
＜販売＞メディアファクトリー
<http://www.mediafactory.co.jp>



演技だけでなく、人生のバイブルです
『魂の演技レッスン22
輝く俳優になろう!』



●マーロン・ブランド、ロバート・デ・ニーロ、ベネチオ・デル・トロが教わった! 自らの名を冠した演劇学校を設立し、多くの俳優を育てたステラ・アドラー。俳優を目指している人だけでなく、人々の日々の生活にも効く珠玉の言葉に溢れた、俳優の精神を鍛える22のエッセイサイズです。(編集担当)
●ステラ・アドラー 著
シカ・マッケンジー 訳
＜価格＞¥2415(税込)
＜発売＞フィルムアート社

劇団「ニコルソンズ」主宰
木下半太の最新作!
『東京バッティングセンター』



●“無欲で律義な吸血鬼”と“冷酷な美女”の復讐屋コンビが、悩める人間たちの依頼に命がけで応えるコメディ・サスペンス! 最後のどんでん返しに「まさか!」と叫ぶと、更なる「まさか!」が待っている。「悪夢のエレベーター」「悪夢の観覧車」など、大人気「悪夢シリーズ」の著者による超エンターテインメント。(袖山満一子/幻冬舎)
●木下半太 著
＜価格＞¥1470(税込)
＜発行・発売＞幻冬舎

●三谷幸喜の舞台最新作『グッドナイトスリープタイト!』がいよいよDVDに! ベッドルームを舞台に、30年間に渡る夫婦の物語を描きます。ごくごくありふれた人生の断片を限りなくドラマチックに描いた本作は、きっとあなたの心にも沁み入るような感動を呼び起こすことでしょう。特典映像+コメンタリー2種収録で7月中旬発売!(DVD担当)

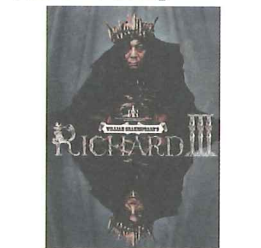
●作・演出◎三谷幸喜
出演◎中井貴一 戸田恵子
＜価格＞¥5800(税込)
＜発売日＞7月中旬予定
＜発売元＞株式会社バルコ
<http://www.parco-dvd.com>

戸次重幸が“嵐”の大野智と共演
『歌のおにいさん』



●大人気グループ“嵐”の大野智が、史上最凶(?)の“歌のおにいさん”に! 勘違いから子供番組の“歌のおにいさん”になってしまった主人公の、窮屈で不条理な世界での成長を描く、痛快サクセスストーリー! 戸次重幸(Team NACS)も出演。大野智のロングインタビューや秘蔵メイキング集など、特典も盛りだくさん。(メディアファクトリー宣伝担当)
●脚本◎永田優子
監督◎長江俊和 高橋伸之 梶山貴弘
出演◎大野智 千紗(GIRL NEXT DOOR) 片瀬那奈 木村佳乃
＜価格＞¥15960(税込)
＜発売日＞7/24
＜発売＞テレビ朝日
＜販売＞メディアファクトリー
<http://www.mediafactory.co.jp>

いのうえひでのり、
シェイクスピア劇初演出作
『リチャード三世』



●いのうえひでのり、シェイクスピア劇初演出! シェイクスピア全登場人物の中でも極め付けの悪党・リチャード三世を、俳優・古田新太が極悪に、かつチャーミングに演じます。豪華キャストでも話題を呼んだチケット完売の人気公演を、ハイビジョンカメラ24台で完全収録! 特典映像満載、コメンタリー付きで、この夏堂々発売!(DVD担当)
●演出◎いのうえひでのり
出演◎古田新太 安田成美 榎木孝明 三田和代 久世星佳 他
＜価格＞¥6800(税込)
＜発売日＞7月下旬予定
＜発売元＞株式会社バルコ
<http://www.parco-dvd.com>

ケラリーノ・サンドロヴィッチの映画
第3弾
『罪と罰とか』

●ケラリーノ・サンドロヴィッチの映画第3弾がDVDで登場。成海璃子演じる崖づぶちアイドルがひょんなことから1日警察署長に就任し、なぜか難事件の解決に乗り出す! KERAならではの、奇想天外なハイセンス・ブラック・コメディ映画です。KERA組常連キャストも集結。他では見

『オペレッタとロータスとビエーレ』



●今年で結成30周年を迎えたシティボーイズの2008年公演がDVD化。ゲストにもはや当ライヴに欠かすことのできない横刀・中村有志と、ただならぬ存在感を示す電気グルーヴのビエール瀧を迎え、莫迦々々しくも新しい笑いの絵図を繰り広げる! 芸人たちが深い尊敬と高い評価を集めるシティボーイズの枠に刮目せよ。(遠藤亮輔/コロムビア)
●作・演出◎細川徹
音楽◎TUCKER
出演◎大竹まこと きたらう 音木しげる(シティボーイズ)
中村有志/ビエール瀧
＜価格＞¥4935(税込)
＜発売元＞WOWOW
＜販売元＞コロムビアミュージックエンタテインメント

上田誠と井ノ原快彦のタッグマッチ!
『昭和島ウォーカー』



●ついに実現! 井ノ原快彦と人気劇団“ヨーロッパ企画”との夢のコラボレーション。『昭和島ウォーカー』はかねてより“ヨーロッパ企画”のファンであった井ノ原が、上田にラブコールを送り続けてようやく実現した作品です。
●出演◎井ノ原快彦(V6) 京野ことみ 松本まりか 要根まこと 福田航球 中山祐一朗 他
＜価格＞¥6800(税込)
＜発売元＞株式会社エース・ストーム
2008年11月に東京グローブ座、シアタードラマシティにて上演。

井上芳雄出演作品
『夢のまにまに』



●90歳の新人監督・木村成夫の長編監督デビュー作! 豪華スタッフ&キャストが集結。主人公木室創(長門裕之)と交流する学生・村上大輔役にミュージカル界のプリンスこと井上芳雄が出演。(宣伝担当)
＜価格＞¥4935(税込)
＜発売元・販売元＞ボニー・キャニオン

三谷幸喜の舞台最新作
『グッドナイト スリープタイト!』



撮影:阿部卓仁

哀感たつぷりに(しかもコミカルに)演じています。せつない大人の青春を描く児童映画の金字塔”です!(熊谷睦子/宣伝担当)

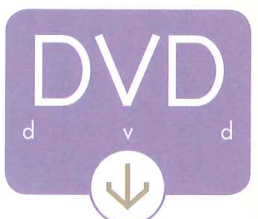


●8月8日(土)よりヒューマントラストシネマ文化村通りにてロードショー
監督◎小沼雄一
出演◎山本浩司 神楽坂恵
堤部圭亮 他
＜配給＞アルゴビジュアル
<http://www.doteihoroki.com>

堺雅人が料理人!
『南極料理人』



●ペンギンとウイルスさえも存在しない、南極ドームふじ基地で繰り広げられる、越冬隊の日々を描いた物語。料理人として赴任した西村(堺雅人)が作り出すのは、伊勢エビ、和牛などを使った豪華メニューから、日本と変わらぬ家庭料理。知られざる南極の姿に驚き、笑い、家族や友人が愛おしくなる”究極の単身赴任”映画が誕生!(ミラクルヴォイス)
●8月テアトル新宿ほか全国ロードショー
監督・脚本◎沖田修一
原作◎西村淳(面白南極料理人)(新潮文庫/春風社刊)
出演◎堺雅人 生瀬勝久 きたらう 高良健吾 西田尚美 豊原功補 他
＜配給＞東京テアトル
nankyoku-ryouri.com



永井愛の最高傑作、ついにDVD化
二兎社『歌わせた男たち』



●2005年にあらゆる演劇賞を独占し、演劇界の話題をさらった永井愛の最高傑作『歌わせた男たち』。熱いリクエストに応えて昨年再演されたバージョンがついにDVDに! 教育現場での「国旗・国歌強制問題」に果敢に切り込んだ異色の喜劇です。二兎社では今後再演の予定はないので、見逃した方はぜひ!(安藤ゆかり/二兎社)
●作・演出◎永井愛
出演◎戸田恵子 大谷亮介 小山萌子 中上雅巳 近藤芳正
＜価格＞¥5000(税込)
＜発売元＞二兎社 <http://www.nitoshina.net/>
2008年3月、紀伊国屋ホールにて収録

作・演出は細川徹!
大人の莫逆力を見よ!
シティーボーイズミックスRESENTS

【お問い合わせ先】

(株)えんぶ

〒164-0011 東京都中野区中央5-46-5 池田ビル2F
TEL:03-3229-2424 FAX:03-3229-2423

シバイのミカタでは読者の皆様からの投稿レポートを募集しています。面白い作品を観た感動を沢山の人のために伝えたい!と想っている演劇好きのあなた、ご応募お待ちしております。尚、投稿レポートを採用させて頂いた方には掲載誌を贈呈致します。

※投稿は、①公演名・劇団名、②レポートのタイトル、③レポート本文(300字以内)、④公演クレジット、⑤投稿者のお名前・住所・電話番号をご記入の上、封書にて受け付けております。本誌掲載の際にはこちらからご連絡を差し上げます。掲載に関するお問い合わせは応じかねますのでご了承下さいませ。

▶応募先
〒164-0011 東京都中野区中央5-46-5-2F
国産人形 演劇ぶっく編集部 シバイのミカタ投稿レポート係

『夏の夜の夢』 新国立劇場

心に残る“一夜の夢”

07年の初演が大好評だったジョン・ケアード演出『夏の夜の夢』。再演となった今回は、人間と妖精が入り乱れて繰り広げられる恋の大騒動がさらにパワーアップして、ワクワク。職人たちによる劇中劇のシーンでは、劇を観ている貴族たちがあれこれ野次を飛ばしたり、ときには観客のほうを向いてセリフを言ったりする。職人たちと貴族たち、それらを観ている観客とが一体となり、その後の歌と踊りのシーンでは客席から拍手が。ラストでは舞台裏が現れ、俳優たちが素の状態が登場する。チョウソウハがバックの扮装を取り去ってから述べる最後の口上は、役者が作った“舞台の夢”は、ひとときで終わってもいつまでも美しく心に残るものなのだと感じさせた。(渡辺)

DATA-----
作・ウィリアム・シェイクスピア 脚・松岡和子 演出・ジョン・ケアード 出演・村井国夫 麻実れい チョウソウハ 細見大輔 石母田史朗 宮藤純子 小山萌子 大島宇三郎 青山達三 吉村直 小嶋尚樹 水野栄治 大滝寛 酒向芳 神田沙也加 JuNGLE 倉田亜味 清家悠基 浅井信好 西田健二 森川次朗 柴一平 小山嶺/小島幸士(Wキャスト)
5/29~6/14◎新国立劇場中劇場



撮影◎谷古正彦

『女信長』

女信長が時代を動かした!

織田信長が実は女だった、という、奇想天外な設定のこのお話。歌や踊りやアクションも盛りだくさんの、一級のエンターテインメント作品だ。観ているうちに、女なのに“織田信長”であり続けなければならない女信長の苦悩がバシバシ伝わってきて、男女の違いや、女はどう生きるのが一番いいのかなど、いろいろ考えさせられた。女信長は男とは違い、地位も名誉も求めず、ただ“泰平の世”を作ろうと突き進む。しかし、「ただの女でありたい」という気持ちも心の奥にはあり、人知れず苦悩する。信長の思想に惚れ込み、心底慕っていた光秀は、女信長の苦悩を知り、愛ゆえにある行動を起こす――。女信長の持つ強さと弱さ、光秀が見せる本物の男の愛情が、心に刺さる。(渡辺)

DATA-----
原作・佐藤賢一 構成・演出・岡村俊一 脚本・渡辺和徳 出演・黒木メイサ 中川晃教 河合龍之介 TETSU市瀬秀和 黒川孝佑 細貝圭 真島公平 徳田光亮 松山メアリ 篠山輝信 錦井康介 松本有樹 久保田創 平田裕一郎 塚田知紀 中川浩行 木村智早 香子 清家利一/山崎銀之丞/有森也実/石田純一
6/5~21◎青山劇場、6/26~28◎シアターBRAVA!



撮影◎清田征剛

『チェリーボーイ・ゴッドガール』 ゴジゲン

くだらないのに泣きそうに……

リアル童貞である主宰の松居大悟が描く童貞芝居。汚れた学生寮にたまらぬ理工学部の大学院生、登場人物全員がチェリーボーイ。セックスについて議論し合い、「カップルがスノボをできるのは、俺たちが分子の研究をしているおかげだ」と言い訳し続ける。どこか懐かしい男子校のような会話から始まる。だが、笑っているうちに、気付けば嘘をついたり、泣いたり、しどろもどろに吐いたり……童貞の内的爆発がくだらなさで共存して描かれ、全員が愛おしくなる。ラスト、玄關の前に女性が訪れた時、彼らが「セックスするぐらいなら」と集団自殺していくシーンは圧巻。それまで笑いに包まれていた客席が凍りつき、終演後、一緒に来た同僚(女)と何も話さなかった。(港区/芹澤肇)

DATA-----
作・演出・松居大悟 出演・青木直也 加賀田浩二(飛ぶ劇場) 星野秀介(田上ハル) 堀善雄(ザ・ブレイボーイズ) 目次立樹 本折智史(青春事情)
5/2~10◎下北沢OFF-OFFシアター
次回予定◎ゴジゲン第7回公演『ハッピーエンドクラッシュ』(仮)9/9~15◎シアターブラッツ



撮影◎村田まゆ

シバイのミカタ

毎日毎日どこかの劇場で上演されているたくさんのお芝居たち。全部観ることはもちろん不可能だけど、時間とお金の許す限り、面白い芝居をたくさん観たい! このコーナーでは、本誌編集部員&ライターが観た「面白かった!」芝居をご紹介します!

『MEAT COMPLEX 1928』 男肉 du soleil

同じアホなら、踊らにや損損

これほど気持ちよく「お前ら全員アホじゃ!」と言い切らせてくれる集団が、近年あったでしょうか。なんでゴルフが自衛隊と戦うの? その全員ダンス、シリアスな一芝居の邪魔にならないうか? 『うめ×のなく頃に』と激しい推理劇の犯人は結局誰よ? というか、半裸で熱唱するメタボ男のレーザンデールって何? いやいや、こうなると芝居じゃなく“祭”ですね。やってくる人が一番楽しいだろうけど、そのトランス具合が端から見ている無性に笑えてきたり、グッと来たりする。だけど結局のところ一番のアホは、そのお祭ムードにまんまと踊らされて、すっかり本作の公式ガイドブック(¥200)なんぞを買っちゃった、このワタクシめかもしれません(苦笑)。(吉永)

DATA-----
出演・池田さだ夢 陸核 江坂一平 川北唯 菊池航 高阪勝之 小石直輝 近藤和輝 城之内ココロ すみだ 竹本圭吾 西植良寛 吉田みるく 鷺づかみの人
5/1~3◎アートコンプレックス1928
次回予定◎7月末にライブイベントを予定◎戦国大統領 ◎第8回公演『タイトル未定』10年2月◎アートコンプレックス1928
<http://oniku-du-soleil.boy.jp/>



『朝霧と夕霧と夜のおやすみ』 FUKAIPRODUCE羽衣

その、身体と心で応えてくれる

小劇場で活き活きた公演を観ると、すごく嬉しくなるのですが、この団体も正にそんな感じです。女優の深井順子がプロデュース、糸井幸之介が作、演出、音楽、振付を担当しているFUKAIPRODUCE羽衣は、「妙〜ジカル(みよ〜じかる)」という、妙な歌と踊りで、妙な世界を作り出している団体。客席との距離が近い、舞台が狭い、等の「小劇場の条件」で、水を得た魚のように跳ねる俳優たちを見ていると、条件反射の如く心がワクワクしてしまいます。糸井が作るキャッチーなメロディも、歌詞や台詞のアングラ加減も、そして“純に愛おしい”エロさも、まさしく妙にマッチ。寂しくなったら会いに行くので、またあなた達の悶える身体と熱い情熱を見せて下さい。(園田)

DATA-----
プロデュース・出演・深井順子 作・演出・音楽・糸井幸之介 出演・藤一平 日高啓介 寺門敦子 鯉和結美 高橋義和 伊藤昌子(劇団阿佐谷南南京小僧) キムユス(散歩道楽) 熊谷知彦 澤田慎司(劇団探出者) 西田夏奈子
5/9~20◎こまばアゴラ劇場
次回予定◎シアタートラム ネクストジェネレーション Vol.2参加作品『あのひとたちのリサイタル』10年1月◎シアタートラム



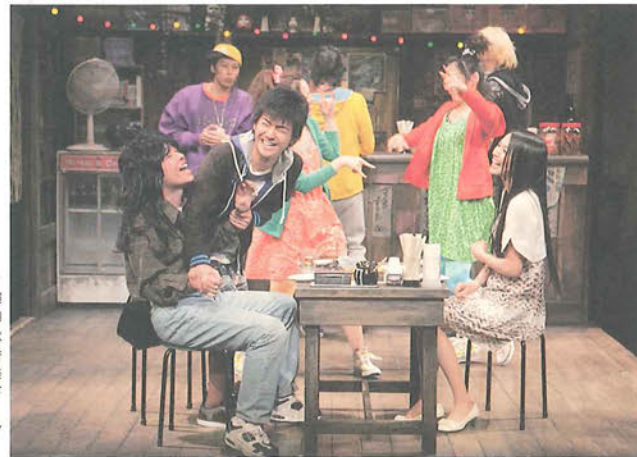
撮影◎田中流

『鴨川ホルモー』 アトリエ・ダンカンプロデュース

荒唐無稽のなかにあぶり出されるもの

京都の魑魅魍魎が跋扈しているような歴史的な古都だが、そんな場所ならではの「陰陽道」を取り込んだファンタジーである。人気作家、万城目学のデビュー作の舞台化で、同時期に映画版も公開されていたが、この舞台は脚本と演出を鄭義信が手がけ、エネルギーな青春群像劇に仕上がった。主人公が足を踏み入れたのは、謎のサークル「京大演劇会=オニ二」で、その「代替わり式典」の間に挑むことになる。そんなプロセスのなかで繰り広げられる恋と友情の人間模様。「ホルモー」というのは競技者の口から出される断末魔の叫びだが、その言葉に代表される“バカバカしさ”と、あぶり出される“人間らしさ”、それが荒唐無稽な物語の中で確かな手応えを伝えてきた。(榎原)

DATA-----
原作・万城目学 脚本・演出・鄭義信 出演・石田卓也 芦名星 中川真吾 秋山奈々/上田悠介 上原香代子 白井義将 高畑こと美 根本大介 札内幸太 松下大亮 山口龍人 見上寿製
5/15~6/7◎吉祥寺シアター他



撮影◎加藤孝

2009年10月生募集中!

夜間部 | 1年コース

早期申込割引実施中!

8月31日(月)までに応募された方は、早期申込割引として31,500円を授業料から割引いたします

舞台に
立つ!!

演劇コース

プロの演出家指導で舞台に立つ!

舞台で活躍する演出家指導のもと、一つの舞台作品をつくり、実際に劇場で上演します。舞台監督、照明、音響などもプロのスタッフが担当し、舞台に立つことの楽しさ、表現の可能性を体験します。



07年秋卒業公演「TANGO」



卒業公演担当講師

岩井秀人 [俳優・作家・演出家]
いわいひでと ●ハイハイ主宰。東京であり東京でない小金井の持つ「大衆の流行やムーブメントを備えつつ引いて眺める視線」を武器に、家族、引きこもり、集団と個人、個人の自意識の渦、等々についての描写を続けている。

カリキュラム

- ◆演技基礎
- ◆台本の読み解き方
- ◆演出家ワークショップ
- ◆発表付ワークショップ 他

その他講師

- ◆平田オリザ
- ◆土田英生
- ◆成井豊
- ◆後藤ひろひと 他

俳優に
なる!!

映像俳優コース

出演作品が映画館で上映される!

現役の映画監督が実践的な演技指導を行い、そのオリジナル作品に生徒が出演する。年2回の実習カリキュラム。完成した作品は、実際に映画館で上映します。



07年秋卒業作品「東京都・レイアウト」



卒業作品担当講師

高橋景 [脚本家・映画監督]
たかはしけいすけ ●脚本作「ある朝スウは」(04年)「鼻明泥棒」(05年)「14歳」(06年)「むすんでひらいて」(07年)に国内外が注目。最新作は2010年公開予定の宮崎あおい主演「ソニン」。

カリキュラム

- ◆演技基礎
- ◆俳優基礎
- ◆俳優ワークショップ
- ◆コラボレート講座 他

その他講師

- ◆矢柴俊博
- ◆篠原哲雄
- ◆石川寛
- ◆佐藤二郎 他

映画を
つくる!!

映画監督コース

1人1本「本当に撮りたい映画」を監督し、上映する!

担当講師の指導のもと企画から撮影そして編集まで行い、卒業制作として1人1本「本当に撮りたい映画」を製作します。完成した作品は映画館にて上映します。



08年春卒業作品「光をたべて生きている」



卒業映画製作担当講師

富永昌敬
とみながまのり ●「バビロン山椒魚」(06年)「オダギリジョー主演」「シャリー」の転落人生」(08年)の俊英。最新作「パンドラの匣」(染谷将太、川上未映子、仲里依紗、窪塚洋介出演)は09年秋公開。

カリキュラム

- ◆撮影入門
- ◆脚本入門
- ◆編集入門
- ◆コラボレート講座 他

その他講師

- ◆中澤正行
- ◆山下敦弘
- ◆三木聡
- ◆久保田修 他

舞台上立つ! 映画に出る! 映画監督になる!

ENBUゼミナール

資料請求・説明会のお申し込みはこちら

〒164-0012 東京都中野区本町2-28-11-2F
東京メトロ丸ノ内線、都営大江戸線「中野坂上駅」徒歩3分

☎ 03-5358-5211 (10:00~22:00)

www.enbu.co.jp/zemi/

✉ zemi_info@enbu.co.jp

www.enbu.co.jp/mobile/

QRコード対応機種携帯からも資料請求・ご予約いただけます▶



『学校説明会』開催中!

映画監督コース
11:00~12:30演劇コース・映像俳優コース
13:30~15:00

★体験講座あり

7/12
(日)7/26
(日)8/9
(日)8/23
(日)無料
予約制

FROM HARDERS

中野に移転して早3ヶ月の編集部。すっかり新オフィスにも慣れました。目の前には、編集長が集めている(?)たくさんの植物が。大きな緑の葉っぱが生い茂る植物たちの一角はさながらジャングルです。……夏ですね! 夏は盛り上がるお芝居が目白押しですよ。面白いお芝居をたくさん観て、楽しい夏の思い出を作ってください♪

◆『雨の夏、三十人のジュリエットが選んできた』は本当に良い作品だと思います。蜷川さんのインタビューも、興味深いことがたくさんで、とても勉強になりました。ウエンツくん大好きなので、今回の演ぶは本当に最高です!! (東京都 アルバイト 真言)

◆蜷川さんが演ぶに登場するのはかなり久しぶりでしたので、表紙撮影のときはスタッフ全員緊張していました。蜷川さんがおっしゃることはさすがに深いです。ちょっと辛口なところ面白いですね。『雨の夏』は清水邦夫さんの詩的な素晴らしい脚本を、蜷川さんが独断にエネルギーに作り上げていましたね。初舞台のウエンツ瑛士くんが瑞々しくてよかったです。

◆買って、バラッと見ていたら……まさかラーメンズが載っているとは!! 憧れのラーメンズが2ページも占領していてとても嬉しかったです! 興奮しまくりです。賢太郎さんはよく、「できる努力はすべてした」とおっしゃいます。私の一番好きな言葉です。無理に自分の限界を超えようとはせず、自分のできる、今できる努力を本番初日から千秋楽まで続ける。彼らの永遠の目標なのではないと思います。TOWERよ積み上げられ!!

(東京都 学生 零)
◆全国のラーメンズファンの皆様、お待たせしました! 今回、ついにラーメンズのお二人が表紙に登場です! 東京タワーでの撮影は早朝に行われたのですが、なんか誰もいない朝の東京タワーって趣がありますね。そして遊び心満載のお二人が、いろいろ動いてくださいました。インタビューでは『TOWER』についてじっくり語っていただきましたので、ご堪能ください♪

◆『蜷川峰』の対談、面白かったです。お芝居を観てから読んだので、わからなかったことが「なるほど」と理解できたり、お気に入りのシーンの話はキャストの皆さんと同じように「あ〜っ!!」と共感してしまいました。『メタルマックス』のときは「クドカン、うあいな」と思いましたが、今回は「いい話だなあ」と思いました。面白だけでなく、なんかの悲しい、キュンとくるような人たちの話だったなあと思いました。(東京都 会社員 びよんこ)

◆『蜷川峰』のインタビューを読み、あの感動が蘇ってしまいました。中島かずきさんの作品のように“逆らえない運命に翻弄される悲しさ”ではなく、クドカンさんの“いくつもの

不幸な偶然がもたらす悲しさ”で、新しい新感覚線が楽しめました。それにしても古田新太さんと堤真一さんのクライマックスの立ち回りのシーンは、なんとも切なく美しい殺陣で、今でも目と心に焼き付いて離れません。

(東京都 会社員 三日月)
◆『蜷川峰』のインタビューにはたくさんの反響がありました。新感覚線ファン、クドカンファンはもちろんのこと、堤さんファンや勝地涼くんファンの方からも熱いおハガキをいただきました。ほんとに豪華キャストの、新感覚線ワールドな時代劇でしたね。

◆ほとんど毎号、演劇ぶっくを買って読んでいますが、Pachy小道具研究所コーナーは何度も見るし、ほとんど保存をしている。今回の「ウニコ」なんか、変で、面白い! 保育園の子供に見せたいわ!!

(香川県 保育士 kimu kimu)
◆新感覚線の小道具を一手に引き受けているインディ高橋さん。毎回リアルで丁寧で仕掛け満載な楽しい小道具をたくさん作っていらしゃいます。その数も半端じゃないし、きつと大変だろうな……と思います。小道具作りの秘密が垣間見える連載は、興味深いですね。

◆シアタートップスの記事の一つ一つを見て買いました。閉館はすごく切ないです。東京サンシャインボーイズ『returns』の記事も、楽しく読みましたが、想像すればするほどかなり行ききたかったし悔しいです。絶対にDVDにしてほしいです。レポートありがとうございます。(兵庫県 事務員 みんなみん)
◆シアタートップスの閉館はショックだし残念です。新宿という立地もよかったし、あの規模の劇場だからこそできることがたくさんあったのに……。東京サンシャインボーイズの『returns』のチケットは抽選方式でしたから、行けなくて悔しい思いをした人はかなり多いようです。今回見逃した方、2024年の東京サンシャインボーイズは絶対観たいですね!

毎度ながら、皆様、たくさんのおハガキありがとうございました。前号から表紙がツルツルになったり、カラーページが増えたりと、マイナーチェンジした演ぶ。今後読者の皆様の期待に応え、良き雑誌にしていきたいです。また皆様のおハガキ、お待ちしております。

プレゼント
広場!!

巻末のアンケートハガキに、希望するプレゼントをお書きの上お申し込みください。応募者多数の場合は抽選になります。発表は発送をもってかさせていただきます。締切は7月31日消印有効。どしどしご応募ください!!

演劇集団キャラメルボックス
『容疑者Xの献身』
サイン入りフォトブック/1名

西川浩幸と岡田達也の対談。担った役の重みを感じたからか、2人の話は終始真面目モード。普段は明るいキャラクターの2人だからこそ、その真摯な語り口がとても印象に残りました。そんな西川浩幸と岡田達也のサインが入った公演フォトブックを1名に。



大バルコ
『R2C2 ~サイボーグなのでバンド辞めます~』
サイン入りパンフ/1名

このインタビューは、本当に楽しいインタビューでした!! 誌面の都合上、全文掲載出来ませんが心底嬉しいです。3人とも気心の知れた仲というのには勿論ですが、何より皆さんの「頭の回転の早さ&サービス精神」を強く感じました。岡部サダヲ、皆川瑠璃、片桐はりのサインが入った公演パンフを1名に。



Editor
岡田希
渡辺敏恵
矢崎亜希子

石本真樹
榎原和子

Art Direction
釣巻敏康
Design
内山絵美
諸橋藍
木村早織

OFFICIAL HOME PAGE
http://www.enbu.co.jp

次号8月号は9月9日発売

演劇ぶっく 第24巻 第4号 通巻140号
2009年7月9日発売
定価750円(本体価格714円)
発行人 柴田勘司
編集人 坂口真人
発行 デジタルハリウッド株式会社
編集 演劇ぶっく編集部
〒164-0011
東京都中野区中央5-46-5
池田ビル2F
TEL:03-3229-2424
FAX:03-3229-2423
印刷 株式会社マルス



東京セレンデラックス
『流れ星』
サイン入りパンフ/1名
笑って泣いて、最後にほろほろ泣いて。うつつみ宮土理を迎えた『流れ星』も、セレンデラックスの温かさあふれるお芝居でした。作・演出・主演の宅間幸行のサインが入った公演パンフを1名に。

『My dear New Orleans』
サイン入りパンフ/1名

星組主演コンビとして活躍していた安蘭けいと遠野あすかのサヨナラ公演となった『My dear New Orleans—愛する我が街—』。新しい星組トプスターとなったのは柚木礼音。『My dear New Orleans—愛する我が街—』ではレニーを演じた柚木礼音のサインが入った公演パンフを1名に。



シス・カンパニー

『楽屋〜流れ去るものはやがてなつかしき〜』
サイン入りパンフ/1名

小泉今日子、香井優、村岡希美、遠山えりという4人の女優たちの競演が話題になった『楽屋』。女優Cを演じた村岡希美のインタビューは、舞台で見た激しさとはまた違う軽やかな語り口で、大人の女性という感じが魅力的でした。村岡希美のサインが入った公演パンフを1名に。



ラーメンズ『TOWER』
サイン入りフライヤー/1名

東京・本多劇場にはじまり、全国13カ所をめぐり、東京・グローブ座に終わった『TOWER』。グローブ座の初日、劇場へ行かないと手に入らないラーメンズのフライヤーに、お二人のサインを入れていただきました。小林賢太郎と片桐仁のサインが入った貴重なフライヤーを1名に。



RAHMENS
THE 17TH
PERFORMANCE
TOWER

愛の進化論。

USB

行き場のない今の日本で、
破滅と再生に向かう極限のラブストーリー

奥 秀太郎 監督作品

渡辺一志 桃井かおり 峯田和伸 大森南朋 小野まりえ 大杉漣 野田秀樹

監督・脚本：奥秀太郎 撮影：与那覇政之 音楽：藤井洋 編集：満上水緒 美術：平沢達朗 スチール：大山ケンジ デザイン：野寺尚子
製作：M6 TRANCE PICTURE WORKS 配給：NEGA 宣伝：樂舎 2009/日本/35mm/カラー/アメリカンビスタ/ドルビーSR/95分

usb-movie.com

絶賛公開中!! 全国順次公開!!

NEGA

